

令和 6 年度

水道事業統計年報

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

長野市上下水道局

目 次

第1章 機構と職員

1	上下水道局機構図	1
2	所属別・会計別職員配置状況	2
3	部門・性質別職員数、給与費の状況	3

第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

1	主な施設の状況	4
2	機械器具及び車両等の保有数	5
(1)	所属別車両保有台数	5
(2)	無線施設一覧表	5
(3)	給水タンク一覧表	5

第3章 水道事業

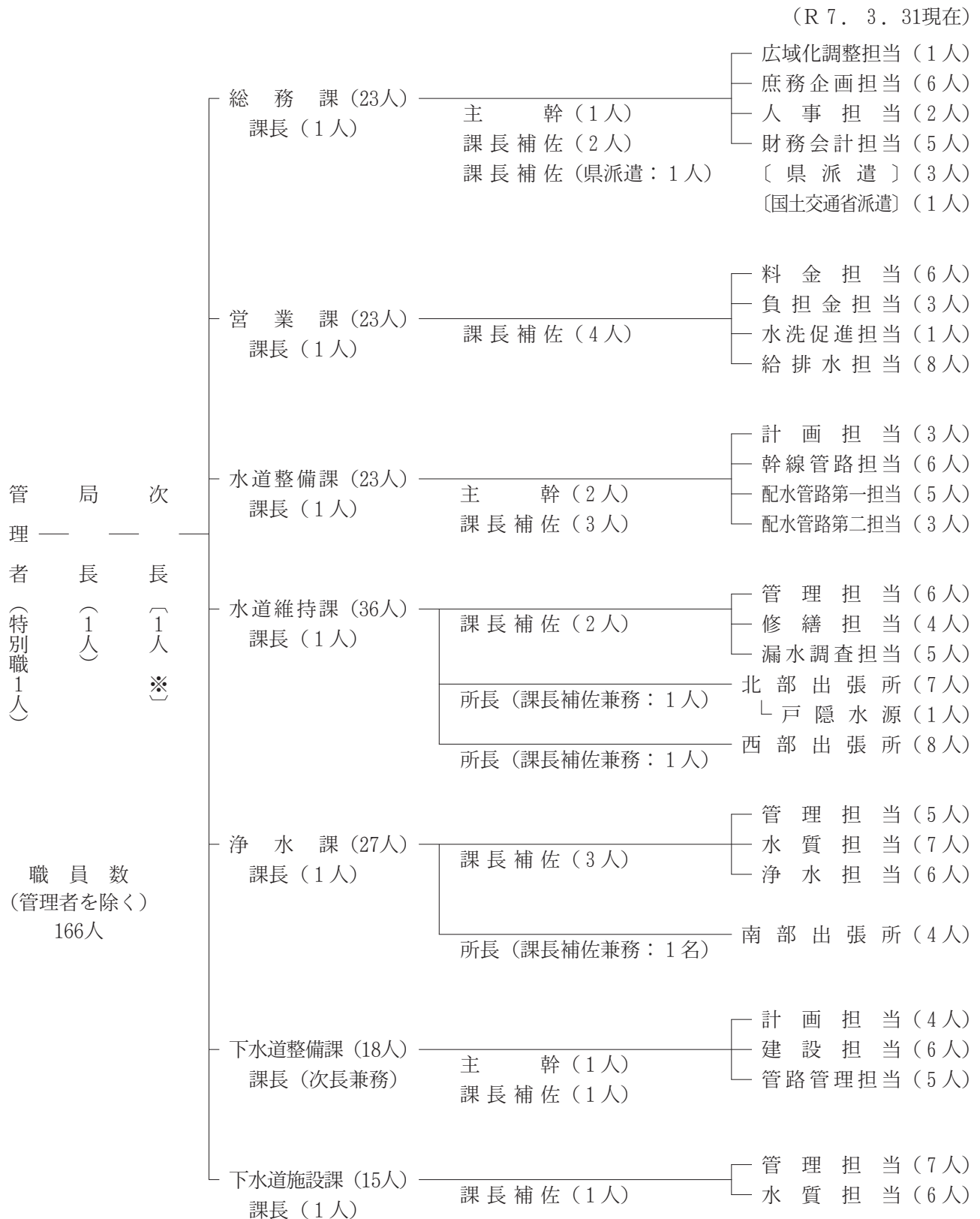
1	水道事業の概要	6
(1)	水道事業全体の概要	6
(2)	旧上水道事業の概要	7
(3)	旧簡易水道事業の概要	8
(4)	水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法	9
2	水道の沿革	11
(1)	長野市水道のあゆみ	11
(2)	沿 革	19
(3)	拡張事業の経過	21
(4)	送配水系統図	23
(5)	給水区域図	43
(6)	水系図	45
3	水道の維持管理統計	47
(1)	給水普及状況	47
(2)	各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）	47
(3)	各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水事業）	48
(4)	取水量及び配水量	49
①	取 水 量	49
②	配 水 量	50
1)	1日最大配水量及び平均配水量の推移	51
2)	月別1日最大・最小配水量	51
3)	配水量・有効水量・無効水量の内訳	52
4)	無収水量の内訳	52
5)	無効水量の内訳	52
6)	温度と配水量の関係	53
(5)	量 水 器	54
①	年度別量水器取付・取替工事	54
②	口径別設置個数	54

(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況	54
(7) 給水栓における苦情（処理）件数	55
(8) 漏水調査及び内訳	55
① 音聴調査	55
② 漏水調査・修繕状況	56
③ 「地下」漏水防止状況	56
(9) 薬品使用量	57
① パック年間使用量	57
② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量	58
③ 水道用消石灰年間使用量	59
④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量	59
⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量	59
⑥ 水道用活性炭年間使用量	59
(10) 動力用電力使用量及び料金	60
4 水道施設	61
(1) 導水管（路）布設延長（全地区）	61
(2) 導水管（路）布設延長（旧上水事業地区）	62
(3) 導水管（路）布設延長（旧簡易水道事業地区）	63
(4) 送・配水管布設延長（全地区）	64
(5) 送・配水管布設延長（旧上水道事業地区）	65
(6) 送・配水管布設延長（旧簡易水道事業地区）	66
(7) 各地区の水道施設	67
① 長野地区	67
② 松代地区	75
③ 若穂地区	78
④ 豊野地区	81
⑤ 戸隠地区	82
⑥ 鬼無里地区	85
⑦ 大岡地区	86
⑧ 信州新町地区	88
⑨ 中条地区	94
⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）	97
⑪ ポンプ場一覧	108
(8) 消火栓数	110
(9) ダムの概要	111
① 水源開発費（ダム負担金）とその財源	112
1）裾花ダム	112
2）奥裾花ダム関係	112
3）大町ダム関係	113
5 経営状況	114
(1) 財務状況	114
① 水道事業決算報告書	114
1）収益的収入及び支出	114
2）資本的収入及び支出	115

② 損益計算書	116
③ 貸借対照表	116
④ 水道事業固定資産明細書	118
1) 有形固定資産	118
2) 無形固定資産	119
⑤ 収益費用構成	119
1) 収益構成	119
2) 費用構成	119
3) 性質別費用構成	120
⑥ 経営状況の推移	121
⑦ 資本的支出とその財源の推移	121
⑧ 費目別原価構成	122
⑨ 性質別原価構成	122
⑩ 供給単価と給水原価の推移	123
⑪ 経常収益と料金収入の推移	123
⑫ 一般会計繰入金の推移	124
⑬ 企業債の状況	124
1) 現況	124
2) 企業債の推移	125
3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表	126
4) 建設投資額に占める企業債比率の推移	127
⑭ 経営比較分析	128
⑮ 経営分析	129
⑯ 財務分析	129
(2) 水道料金	130
① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）	130
② 1戸当たり1ヵ月平均使用水量及び水道料金（税込み）	131
③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）	131
④ 水道料金収納状況（税込み）	131
⑤ 検針件数（隔月検針）	132
⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）	132
⑦ 水道料金表	133
(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）	134
① 概 要	134
② 開催状況	134
③ 過去の答申内容（長野市水道料金等審議会時を含む）	135
(4) 主な委託業務（主として100万円以上）	140

第1章 機構と職員

1 上下水道局機構図



条例定数 (270人)

※次長の人数は課長を兼務している所属の人数に含む

2 所属別・会計別職員配置状況

(R 7. 3. 31現在)

補 職 種 名 課 担 当 名		局	技	次	事 務 職 員							技 術 職 員							技能職員					合 計	会計年度任用職員		
					課長	主幹	課長補佐	専門員	係長	主査	主事	主事補	課長	主幹	課長補佐	専門員	係長	主査	技師	技師補	技術主任	水道技能員	主任			水道技師	水道技手
上 下 水 道 局		①																						①			
総 務 課	管 理 職				①	1	1①																	2②			
	広域化調整担当												1											1			
	庶務企画担当							①	1②	2														3③	3		
	人 事 担 当							①		1														1①			
	財務会計担当								1②		②														1④		
	[派 遣 職 員]						(1)	(1)	(1)							(2)									5		
(小 計)					①	1	2①	1	2④	1②	3②				1		2							13⑩	3		
営 業 課	管 理 職				①		2①							①										2③			
	料 金 担 当							①	1①	①	1①													2④	①		
	負担金担当								①	①	①													③	1		
	水洗促進担当										①													①	①		
	給排水担当								①						2①	①			1②					3⑤	2②		
	(小 計)				①		2①	①	1③	②	1③				①		2①	①		1②				7⑩	3④		
水道整備課	管 理 職											1	2	3										6			
	計 画 担 当								1							1	1							3	1		
	幹線管路担当															1	4	1						6			
	配水管路第一担当															2	1	2						5			
	配水管路第二担当															1		2						3			
	(小 計)				①		2①	①	1③		②	1③			①		2①	①		1②				23	1		
水道維持課	管 理 職											1		4										5			
	管 理 担 当															1	5							6	3		
	修 繕 担 当						1									3								4	1		
	漏水調査担当															1	1		2		1			5			
	北部出張所															2	1	1		3				7	3		
	戸 隠 水 源																		1					1	1		
浄 水 課	西部出張所														1	2	2		2		1			8	1		
	(小 計)						1					1		4	1	9	9	1		8		2		36	9		
	管 理 職											1		4										5			
	管 理 担 当															3		2						5	1		
	水 質 担 当																4	3						7	2		
	浄 水 担 当								1							2	2	1						6			
下水道整備課	南部出張所														1	1	1		1					4			
	(小 計)							1				1		4	1	10	6	3		1				27	3		
	管 理 職			①									①	①										③			
	計 画 担 当						①									②	①							④			
	建 設 担 当														①	①	②	②						⑥			
	管路管理担当																①	④						⑤	④		
下水道施設課	(小 計)			①			①						①	①	①	③	④	⑥						⑩	④		
	管 理 職											①		①										②			
	管 理 担 当							①								②	③	①						⑦			
	水 質 担 当														①	②	②				①			⑥			
(小 計)								①				①		①	①	④	⑤	①			①			⑮			
水道事業会計職員							1	4	2	4	2	4		3	2	11	3	26	23	9		10		2		106	19
下水道事業会計職員		①		①	②		②	②	⑧	④	⑤		①	①	③	②	⑧	⑩	⑦		②		①		⑥⑩	⑧	
職 員 合 計		1		1	2	1	6	4	12	6	9		4	3	14	5	34	33	16		12		3		166	27	

※ ○書は、下水道事業会計負担職員

※ 次長の人数は課長を兼務している所属の人数を含む

3 部門・性質別職員数、給与費の状況

水 道

(R 7. 3. 31現在)

項 目 \ 年 度		2	3	4	5	6
職 員	損 益 勘 定 所 属 職 員 (A)	83人	81人	81人	80人	82人
	内 訳	原 水 関 係 職 員	3	3	3	2
		浄 水 “	24	23	23	22
		配水・給水 “	41	39	39	39
		検針・集金 “	0	0	0	0
		総務・管理 “	15	16	15	19
	資 本 勘 定 所 属 職 員 (B)	28人	26人	27人	26人	25人
	職 員 計 (A) + (B)	111人	107人	108人	106人	107人
	対 前 年 度 比 率	100.9%	96.4%	100.9%	98.1%	100.9%
	指 数 ・ 元 年 度 = 100	100.9	97.3	98.2	96.4	97.3
	非 常 勤	原 水 関 係 職 員	0	0	0	1
		浄 水 “	4	4	5	6
		配水・給水 “	5	7	7	6
		検針・集金 “	0	0	0	0
		総務・管理 “	2	2	4	6
		計	11人	13人	13人	19人
給 与 費	平 均 給 料	331,707円	328,860円	336,922円	340,110円	351,268円
	対 前 年 度 比 率	100.5%	99.1%	102.5%	100.9%	103.3%
	指 数 ・ 元 年 度 = 100	100.5	99.7	102.1	103.1	106.5
	職員 1 人当たり給与費年額	8,152千円	8,352千円	8,563千円	8,249千円	8,952千円
	対 前 年 度 比 率	98.4%	102.5%	102.5%	96.3%	108.5%
	指 数 ・ 元 年 度 = 100	98.4	100.8	103.4	99.6	108.1
平 均 年 齢		45才	45才	46才	46才	47才
平 均 勤 続 年 数		21年	21年	22年	21年	22年

※ 給与費年額（税込）は給料、手当、法定福利費及び退職給与。

※ 管理者を含む。

第2章 主な施設と機械器具及び車両等の保有数

1 主な施設の状況

(R7. 3. 31現在)

名 称	所 在 地	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	建 物 の 構 造	取得年月日
長野市上下水道局	長野市大字鶴賀緑町 1613番地	—	874.90	(市役所第二庁舎9階)	S62. 9. 1
水 道 維 持 課	〃 三輪1丁目2番49号	4,332	801.25	鉄骨陸屋根平屋・他3棟	H14. 9. 13
犀 川 浄 水 場	〃 差出南 3丁目10番1号	48,808	5,301.00	鉄筋コンクリート3階・ 他9棟	H13. 3. 31
夏目ヶ原浄水場	〃 大字平柴246番地	41,651.71	2,404.88	鉄筋コンクリート3階・ 地下1階・他3棟	S46. 3. 10
往 生 地 浄 水 場	〃 大字西長野往生地 1220番地2	19,240	172.46	鉄骨平屋 鉄板葺・他2棟	S53. 5. 15
飯 綱 浄 水 場	〃 大字上ヶ屋 2471番地1	27,428	211.25	鉄筋コンクリート平屋	S48. 3. 31
浄水課南部出張所	〃 松代町清野 332番地1	3,927	402.29	鉄骨2階	H元. 11. 30
西 条 浄 水 場	〃 松代町西条 3241番地1	799	67.86	鉄筋コンクリート平屋	H27. 7. 31
豊 栄 浄 水 場	〃 松代町豊栄 1400番地7	1,783	261.00	鉄骨平屋 カラー鉄板葺・他1棟	S59. 3. 31
寺 尾 浄 水 場	〃 松代町柴302番地	4,005	155.31	鉄筋コンクリート平屋	H28. 3. 31
山 内 浄 水 場	〃 若穂保科42番地1	1,318	92.87	鉄筋コンクリート平屋	H29. 3. 10
川 合 新 田 水 源	〃 大字川合新田 2981番地	12,903	765.00	鉄筋コンクリート2階	H22. 6. 28
戸 隠 水 源	〃 戸隠3105番地	155,377	68.98	木造平屋 鉄板葺	H13. 12. 18
堀 浄 水 場	〃 豊野町浅野 998番地3	1,347.49	316.71	鉄骨2階・他3棟	H 8. 3. 15
西 沖 浄 水 場	〃 豊野町浅野 1060番地4	911.00	159.56	鉄骨コンクリート・他2 棟	S63. 3. 31
戸 隠 浄 水 場	〃 戸隠字向林 2428番地6	3,082.00	420	鉄骨コンクリート	H25. 12. 26
穂 刈 浄 水 場	〃 信州新町里穂刈 115番地1	1,084.00	135.11	鉄筋コンクリート平屋・ 他3棟	H 5. 7. 1
三ヶ野浄水場	〃 中条日下野 984番地4	1,575.00	429.00	鉄筋コンクリート地下1 階・地上1階	H11. 3. 31

2 機械器具及び車両等の保有数

(1) 所属別車両保有台数

(R 7. 3. 31現在)

	乗用車	給水タンク車	ライトバン	軽	トラック	特 種	計
総 務 課	1 (※)						1
営 業 課				9 ⑦			9 ⑦
水 道 整 備 課			1	7 ⑥			8 ⑥
水 道 維 持 課	2	6 ⑥	3	19⑫	1 ①		31⑪
浄 水 課		1 ①	2	8 ②	1 ①		12④
下 水 道 整 備 課				6 ①			6 ①
下 水 道 施 設 課	1			3	4	2	10
合 計	4	7 ⑦	6	52②⑧	6 ②	2	77③⑦

(※) はリース車輛
○書は、スピーカー機能搭載の広報車の台数

(2) 無線施設一覧表

(R 7. 3. 31現在)

局 名	出 力	数 量	備 考
基 地 局	10 W	0 台	
移 動 局	10 W	0 台	
	5 W	0 台	
	1 W	0 台	
デジタルMCA 半 固 定	2 W	2 台	総務課、水道維持課
デジタルMCA 携 帯	2 W	34 台	総 務 課 1 営 業 課 5 水道整備課 2 水道維持課 14 浄 水 課 5 下水道整備課 5 下水道施設課 2
I P 無 線 機 携 帯	—	32 台	総 務 課 1 営 業 課 1 水道整備課 1 水道維持課 23 (北部 5、西部 6、戸隠 2) 浄 水 課 2 (南部 1) 下水道整備課 1 下水道施設課 3

(3) 給水タンク一覧表

(R 7. 3. 31現在)

容 量	材 質	数 量
3 m³	ステンレス製 (給水車)	4基
2 m³	〃	3基
2 m³	ア ル ミ 製	4基
1 m³	〃	2基
500 ℓ	ポリエチレン製	19基
280 ℓ	ステンレス製	1基

第3章 水道事業

1 水道事業の概要

(1) 水道事業全体の概要

(R 7. 3. 31現在)

事業創設認可年月日		明治45年 6 月14日		供用開始年月日		大正 4 年 4 月 1 日	
法適用年月日	昭和28年 4 月 1 日	計画給水区域面積		191.35km ²	計画給水人口		265,000人
項目	年度 単位	令和 4 年度	前 年 度 対 比	令和 5 年度	前 年 度 対 比	令和 6 年度	前 年 度 対 比
行 政 区 域 内 人 口	人	366,591	99.2%	363,343	99.1%	360,540	99.2%
〃 世帯数	世帯	163,928	100.4%	164,420	100.3%	165,081	100.4%
給 水 区 域 内 人 口 (A)	人	264,018	99.1%	261,616	99.1%	259,573	99.2%
〃 世帯数	世帯	120,843	100.3%	121,125	100.2%	121,555	100.4%
現 在 給 水 人 口 (B)	人	263,563	99.1%	261,167	99.1%	259,125	99.2%
〃 世帯数	世帯	120,644	100.3%	120,926	100.2%	121,358	100.4%
給 水 普 及 率 (B / A)	%	99.83	同率	99.83	同率	99.83	同率
配 水 能 力	m ³	190,548	115.5%	190,548	同率	190,548	同率
一 日 最 大 給 水 量	m ³	100,139	100.0%	95,298	95.2%	95,836	100.6%
一 日 平 均 給 水 量	m ³	90,375	99.1%	89,281	98.8%	90,110	100.9%
一人一日最大給水量	ℓ	380	101.1%	365	96.0%	370	101.3%
一人一日平均給水量	ℓ	343	100.0%	342	99.7%	348	101.7%
年 間 総 給 水 量 (C)	m ³	32,986,969	99.1%	32,677,196	99.1%	32,890,166	100.7%
年 間 総 有 収 水 量 (D)	m ³	28,149,496	98.7%	27,928,746	99.2%	28,074,334	100.5%
有 収 率 (D / C)	%	85.3	0.4減	85.5	0.2増	85.4	0.1減
年 間 有 効 水 量 (E)	m ³	29,081,732	98.4%	28,820,741	99.1%	29,009,958	100.7%
有 効 率 (E / C)	%	88.2	0.7減	88.2	同率	88.2	同率
供 給 単 価	円/m ³	213.36	100.7%	214.53	100.5%	215.57	100.5%
給 水 原 価	円/m ³	182.43	100.1%	186.38	102.2%	185.77	99.7%
総 収 益 (税 抜)	千円	6,838,017	98.4%	6,761,514	98.9%	6,745,090	99.8%
総 費 用 (税 抜)	千円	5,615,994	98.0%	5,670,972	101.0%	5,670,509	100.0%
企 業 債 残 高	千円	30,436,994	99.0%	29,454,195	96.8%	28,895,319	98.1%
職 員 数	人	108	100.9%	106	98.1%	107	100.9%

※ 職員数には管理者を含む。

(2) 旧上水道事業の概要

(R 7. 3. 31現在)

項 目	単位	令和 4 年度	前年度 対 比	令和 5 年度	前年度 対 比	令和 6 年度	前年度 対 比
給 水 区 域 内 人 口 (A)	人	254,947	99.2%	252,890	99.2%	251,110	99.3%
〃 世 帯 数	世帯	116,262	100.4%	116,635	100.3%	117,132	100.4%
現 在 給 水 人 口 (B)	人	254,598	99.1%	252,541	99.2%	250,761	99.3%
〃 世 帯 数	世帯	116,120	100.4%	116,493	100.3%	116,990	100.4%
給 水 普 及 率 (B / A)	%	99.86	0.01減	99.86	同率	99.86	同率
配 水 能 力	m ³	180,714	116.0%	180,714	同率	180,714	同率
一 日 最 大 給 水 量	m ³	94,908	99.7%	89,984	94.8%	91,066	101.2%
一 日 平 均 給 水 量	m ³	85,487	98.9%	84,384	98.7%	85,386	101.2%
一人一日最大給水量	ℓ	373	100.5%	356	98.7%	363	102.0%
一人一日平均給水量	ℓ	336	99.7%	334	98.7%	341	101.9%
年 間 総 給 水 量 (C)	m ³	31,202,725	98.9%	30,884,720	99.0%	31,165,735	100.9%
年 間 総 有 収 水 量 (D)	m ³	27,224,970	98.6%	27,041,891	99.3%	27,192,593	100.6%
有 収 率 (D / C)	%	87.3	0.2減	87.6	0.3増	87.3	0.3減
年 間 有 効 水 量 (E)	m ³	28,046,977	98.2%	27,837,252	99.3%	28,030,625	100.7%
有 効 率 (E / C)	%	89.9	0.6減	90.1	0.2増	89.9	0.2減
供 給 単 価	円/m ³	212.93	100.7%	214.12	100.6%	215.17	100.5%
給 水 原 価	円/m ³	162.79	99.9%	166.55	102.3%	166.74	100.1%
総 収 益 (税 抜)	千円	6,362,584	98.8%	6,370,621	100.1%	6,391,961	100.3%
総 費 用 (税 抜)	千円	4,845,629	97.8%	4,908,938	101.3%	4,933,369	100.5%
企 業 債 残 高	千円	26,245,618	101.7%	24,835,150	94.6%	24,451,777	98.5%

(3) 旧簡易水道事業の概要

(R 7. 3. 31現在)

項 目	単位	令和 4 年度	前年度 対 比	令和 5 年度	前年度 対 比	令和 6 年度	前年度 対 比
給 水 区 域 内 人 口 (A)	人	9,071	97.1%	8,726	96.2%	8,463	97.0%
〃 世 帯 数	世帯	4,581	98.9%	4,490	98.0%	4,423	98.5%
現 在 給 水 人 口 (B)	人	8,965	97.1%	8,626	96.2%	8,364	97.0%
〃 世 帯 数	世帯	4,524	98.9%	4,433	98.0%	4,368	98.5%
給 水 普 及 率 (B / A)	%	98.83	0.01増	98.85	0.02増	98.83	0.02減
配 水 能 力	m ³	9,834	106.7%	9,834	同率	9,834	同率
一 日 最 大 給 水 量	m ³	5,231	107.4%	5,656	108.1%	5,531	97.8%
一 日 平 均 給 水 量	m ³	4,888	103.6%	4,897	100.2%	4,724	96.5%
一人一日最大給水量	ℓ	583	110.4%	656	112.5%	661	100.8%
一人一日平均給水量	ℓ	545	106.4%	568	104.2%	565	99.4%
年 間 総 給 水 量 (C)	m ³	1,784,244	103.6%	1,792,476	100.5%	1,724,431	96.2%
年 間 総 有 収 水 量 (D)	m ³	924,526	100.6%	886,855	95.9%	881,741	99.4%
有 収 率 (D / C)	%	51.8	1.6減	49.5	2.3減	51.1	1.6増
年 間 有 効 水 量 (E)	m ³	1,034,755	101.8%	983,489	95.0%	979,333	99.6%
有 効 率 (E / C)	%	58.0	1.0減	54.9	3.1減	56.8	1.9増
供 給 単 価	円/m ³	225.93	100.5%	226.97	100.5%	227.94	100.4%
給 水 原 価	円/m ³	760.73	99.7%	791.00	104.0%	772.71	97.7%
総 収 益 (税 抜)	千円	475,433	93.9%	390,893	82.2%	353,219	90.4%
総 費 用 (税 抜)	千円	770,365	99.7%	762,034	98.9%	737,140	96.7%
企 業 債 残 高	千円	4,191,376	85.1%	4,619,046	110.2%	4,443,542	96.2%

(4) 水源・浄水場別水源水量、取水量及び処理方法

(R 7. 3. 31現在) (単位: m³/日)

地区	水 源	浄 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法
長野地区	犀 川 水 源	犀川浄水場	33,420	14,000	伏流水 消石灰＋塩素滅菌
			30,800	18,000	ダム水 急速ろ過＋塩素滅菌
			24,900	4,000	地下水 消石灰＋塩素滅菌
	裾 花 水 源	夏目ヶ原浄水場	54,250	42,000	ダム水 急速ろ過＋塩素滅菌
	川合新田水源		29,840	21,000	地下水 塩素滅菌
	戸 隠 水 源	飯綱浄水場 往生地浄水場	5,800	4,780	ダム水 緩速ろ過＋塩素滅菌
	小 計		179,010	103,780	
松代地区	寺 尾 水 源	寺尾浄水場	5,029	4,200	地下水 エアレーション＋塩素滅菌
	豊 栄 水 源	豊栄浄水場	2,000	700	湧水・表流水 急速ろ過＋塩素滅菌
	西 条 水 源	西条浄水場	500	200	湧水・表流水 膜ろ過＋塩素滅菌
	小 計		7,529	5,100	
若穂地区	塚 本 水 源	持者浄水場	2,000	1,400	地下水 塩素滅菌
	持 者 水 源		150	5	湧 水 緩速ろ過＋塩素滅菌
	笹 平 水 源		500	370	表流水 膜ろ過＋塩素滅菌
	高 岡 水 源		30	25	湧 水 膜ろ過＋塩素滅菌
	小 計		2,680	1,800	
豊野地区	堀 水 源	堀浄水場	7,000	1,650	地下水 紫外線処理＋塩素滅菌
	西 沖 水 源	西沖浄水場	5,870	1,650	地下水 紫外線処理＋塩素滅菌
	小 計		12,870	3,300	
旧上水道事業 計			202,089	113,980	
戸隠地区	戸 隠 水 源	戸隠浄水場	(長野地区に含む)	(長野地区に含む)	ダム水 活性炭吸着＋膜ろ過＋塩素滅菌
	越水第3水源		678	95	地下水 塩素滅菌
	越水第4水源		1,440	215	地下水 塩素滅菌
	宝光社第1水源		336	319	湧水 塩素滅菌
	上野第1水源		60	13	湧水 塩素滅菌
	上野第3水源		290	244	地下水 塩素滅菌
	上野第4水源		1,663	360	地下水 塩素滅菌
	水景苑水源		25	22	地下水 塩素滅菌
	山入水源		17	5	伏流水 塩素滅菌
	宮浦水源		576	137	地下水 塩素滅菌
	谷沢水源		309	299	湧水 塩素滅菌
	銚子口水源		200	107	湧水 塩素滅菌
	下祖山第1水源		22	18	湧水 塩素滅菌
	下祖山第2水源		30	28	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢1号水源		111	111	湧水 塩素滅菌
	小 計		5,757	1,973	
鬼無里地区	大清水水源		892	773	湧水 塩素滅菌
	タキノ沢水源		892	773	湧水 塩素滅菌
	ほとば沢2号水源		62	62	湧水 塩素滅菌
	ひのき沢水源		20	12	湧水 塩素滅菌
	財又水源		343	78	湧水 塩素滅菌
	小 計		2,209	1,698	

地区	水 源	浄 水 場	水源水量	取 水 量	処 理 方 法
大岡地区	四ヶ村・五ヶ村水源		880	75	湧水 塩素滅菌
	中 牧 水 源		115	112	地下水 塩素滅菌
	小 聖 水 源		426	116	湧水 塩素滅菌
	大岡南部水源		75	20	地下水 塩素滅菌
	梶内南水源		432	30	地下水 塩素滅菌
	聖 山 水 源		1,210	508	地下水 塩素滅菌
	小 計		3,138	861	
信州新町地区	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195	2,143	伏流水 急速ろ過＋紫外線処理＋塩素滅菌
	花 倉 水 源		100	29	湧水 塩素滅菌
	鹿 道 水 源		95	95	伏流水 塩素滅菌
	日 名 水 源		78	77	伏流水 塩素滅菌
	橋 木 水 源		95	45	伏流水 塩素滅菌
	吐 唄 水 源		26	26	伏流水 塩素滅菌
	牧田中水源		123	52	湧水 塩素滅菌
	味 藤 水 源	味藤浄水場	144	69	湧水 膜ろ過＋塩素滅菌
	塩 本 水 源	塩本浄水場	158	39	湧水 膜ろ過＋塩素滅菌
	左 右 水 源	左右浄水場	30	23	湧水 膜ろ過＋塩素滅菌
	中 尾 水 源	中尾浄水場	12	5	伏流水 急速ろ過＋塩素滅菌
小 計		3,056	2,603		
中条地区	念仏寺沢水源	三ヶ野浄水場	1,200	862	表流水 膜ろ過＋活性炭吸着＋塩素滅菌
	不 動 滝 水 源	清水浄水場	173	52	湧水 膜ろ過＋塩素滅菌
	清 水 水 源		86	34	
	臥 雲 水 源		51	13	湧水 塩素滅菌
	石 原 水 源		25	12	湧水 塩素滅菌
	下 条 水 源		45	26	湧水 塩素滅菌
	小 計		1,580	999	
旧簡易道事業 計			15,740	8,134	
合 計			217,829	122,114	
水源種別	ダ ム 水		90,850	64,780	
	表 流 水		1,700	1,232	
	伏 流 水		35,938	16,396	
	地 下 水		81,143	35,643	
	湧 水		8,198	4,063	
許可水量	犀 川 水 源	犀川浄水場	33,420		伏流水
			30,800		ダム水
	裾 花 水 源	夏目ヶ原浄水場	54,250		
	戸 隠 水 源	飯綱浄水場 往生地浄水場	5,800		
	穂刈第2水源	穂刈浄水場	2,195		
	鹿 道 水 源		95		
	日 名 水 源		78		
	橋 木 水 源		95		
	吐 唄 水 源		26		
合 計			126,759		

2 水道の沿革

(1) 長野市水道のあゆみ

年	月	日	事 項
(1908)	明治41.	7. 6	長野市水道調査部設置
(1911)	明治44.	3. 20	水源地決定の件について審議
		4. 25	戸隠を水源とすることを決定
(1913)	大正 2.	3. 14	工事実施認可（往生地浄水場を建設）
		3. 30	上水道（戸隠）着工 費用835千円
(1915)	大正 4.	4. 1	給水戸数2,615戸、給水人口13,100人で給水開始（全国で28番目に開始）
(1922)	大正11.	8. 7	上水道布設について松代町会議決
(1924)	大正13.	12. 30	上水道布設工事竣工
(1928)	昭和 3.	2. 17	第1期拡張認可（犀川伏流水）
(1929)	昭和 4.	7. 9	夏目ヶ原浄水場（緩速ろ過池）竣工（犀川水源取水開始）
(1932)	昭和 7.	5. 12	社団法人日本水道協会設立に伴い加入
(1945)	昭和20.	11. 8	第2期拡張認可（野尻水源、岡田水源新設）
(1946)	昭和21.	— —	往生地浄水場及び夏目ヶ原浄水場にて塩素滅菌開始
(1951)	昭和26.	11. 6	岡田水源竣工
(1952)	昭和27.	1. 14	野尻湖の河水利用に関する協定締結
(1953)	昭和28.	4. 1	地方公営企業法に基づき水道事業を営営するため長野市水道公社を設置
(1954)	昭和29.	2. 24	関川水系野尻湖並びに信濃川水系鳥居川の水の使用を承認される。
		11. 6	蚊里田浄水場竣工
(1955)	昭和30.	1. 1	町制を施行し豊野町水道計画を具体化
		9. 20	豊野町上水道（創設）事業認可 工事費59,000千円
(1956)	昭和31.	7. 20	七瀬水源竣工
(1957)	昭和32.	12. 12	第3期拡張認可（犀川水源、七瀬水源新設）
(1958)	昭和33.	10. 30	綿内村上水道竣工
(1959)	昭和34.	4. 1	道島浄水場沈澱池緩速ろ過池竣工
		9. 15	水道公社庁舎竣工（柳町）
		11. 20	川田村簡易水道竣工
		12. 5	保科村 ”
(1960)	昭和35.	3. 30	寺尾 ”
		4. 1	長野市水道局設置
		7. —	犀川浄水場急速ろ過運転開始（30,000m ³ /日）
(1961)	昭和36.	3. 20	西条簡易水道竣工
(1962)	昭和37.	2. 11	管理者 柳原正之 就任（S47. 7. 17退任）
		8. 22	第3期拡張変更認可（岡田水源廃止、更北、青木島、川中島拡張）
(1963)	昭和38.	12. 27	第4期拡張認可（犀川水源増設、川合新田水源、裾花水源新設）
(1964)	昭和39.	7. 14	戸隠水系導水路崩落による災害（有料道路関連）
		12. 26	里島発電所の水路を通じて取水することについての協定締結

年	月	日	事	項
(1965)	昭和40.	4. 1	夏目ヶ原緩速ろ過池使用中止	
		6. 1	裾花ダム建設に関する基本協定締結	
(1966)	昭和41.	3. —	川合新田水源揚水開始	
(1967)	昭和42.	3. 20	犀川浄水場急速ろ過拡張竣工	
		6. 1	四ヶ郷用水（善光寺土地改良区）から取水	
		12. —	メーター検満取替台帳電算処理開始	
		12. 20	長野市若穂上水道経営認可（保科、川田簡易水道統合）	
		12. 30	若松町加圧ポンプ場竣工	
(1968)	昭和43.	1. 1	若穂上水道給水開始	
		3. 30	夏目ヶ原浄水場配水池（P C タンク9,600m ³ /日）竣工	
			水道料金計算の電算処理委託開始	
		10. 5	長野大橋 橋梁添架竣工（φ500mm）	
(1970)	昭和45.	3. 31	裾花ダムの管理に関する協定締結（長野県88.6%、企業局8.7%、長野市 2.7%）	
		7. 20	日本水道協会長野県支部の長野県水道協議会への合併に伴い、同協議会へ加入	
(1971)	昭和46.	3. 31	第4期拡張変更認可（川合新田水源増量、芋井、浅川拡張）	
		6. 18	寺尾水源竣工	
		8. 9	犀川浄水場送水管φ600mm Y字管破裂（断水世帯数25,000戸）	
		10. 1	犀川浄水場前塩素処理開始	
(1972)	昭和47.	3. 31	第5期拡張認可（奥裾花ダム参画、松代、若穂拡張、七瀬水源廃止）	
		4. 1	水道料金改定平均70%引上げ	
		4. 20	西山四地区拡張事業着手	
		6. 1	夏目ヶ原急速ろ過開始（夏目ヶ原浄水場竣工）	
		6. 9	裾花川上流総合開発事業に関する基本協定締結 （長野県 $\frac{908}{1000}$ ・企業局 $\frac{11}{1000}$ ・長野市、鬼無里村 $\frac{81}{1000}$ ）	
		7. —	犀川浄水場硫酸バンドより、P A C に切替える。	
		7. 18	管理者 石川敏郎 就任（S59. 7. 17退任）	
		7. 20	豊栄水道配水池竣工（300m ³ ）	
		9. 30	寺尾第三水源竣工（480m ³ ）	
(1973)	昭和48.	2. 15	飯綱高原専用水道施設の買収（60,000千円）	
		3. 26	寺尾配水池竣工（300m ³ ）	
		5. 1	夏目ヶ原浄水場前塩素注入開始	
		11. 30	関崎橋配水管添架竣工、屋島橋配水管添架竣工	
(1974)	昭和49.	1. 21	大日池水源取水協定書締結	
		3. 30	第6期拡張認可（大町ダム参画 小田切・七二会・信更拡張）	
		3. 31	象山配水池竣工（722.5m ³ ）	
		4. 1	飯綱浄水場給水開始	
(1975)	昭和50.	3. 29	大日池水源竣工（500m ³ /日）	
		4. 1	水道料金改定平均50%引上げ	

年	月	日	事	項
		6. 21	湯の瀬ダム費用分担及び管理に関する協定締結	
(1976)	昭和51.	3. 28	川合新田水源増量竣工	
		4. 1	水道料金改定平均27.2%引上げ	
		5. 25	蚊里田浄水場高区配水池竣工	
(1977)	昭和52.	7. 1	綿内地区配水系統を川合新田水系に切替える。	
(1978)	昭和53.	5. 15	往生地浄水場配水池竣工 (4,160m ³)	
		7. 25	裾花ダム湖にカビ臭発生	
		9 (～10)	小田切地区及び七二会一部地域に給水開始	
(1979)	昭和54.	10. 6	綿内水源廃止、川田高区 低区配水池廃止	
(1980)	昭和55.	10. 1	水道料金改定平均38%引上げ	
(1981)	昭和56.	3. 2	湯ノ瀬～里島間隧道竣工	
		8. 27	松代西条地区水利使用覚書締結 (500m ³ /日)	
(1982)	昭和57.	3. 13	長野大通り共同溝築造に伴う配水管布設竣工	
		3. 15	湯ノ瀬取水施設竣工	
		3. 20	松代西条浄水場竣工	
		4. 1	水道料金改定平均20.25%引上げ	
		11. 26	豊栄地区水利使用覚書締結 (1,200m ³ /日)	
(1983)	昭和58.	4. 1	信更地区、七二会残地区給水開始	
		7. 12	第6期第1次変更認可 (大町ダムに伴う伏流水取水の新設、松代西条等の増量)	
(1984)	昭和59.	2. 10	豊栄浄水場竣工	
		3. 30	松代テレメーター設置	
			東寺尾配水池竣工 (1,500m ³)	
		4. 27	長野運動公園緊急貯水槽竣工 (1,000m ³)	
		7. 18	管理者 岡村 修 就任 (S61. 3.26退任)	
		9. 20	寺尾水源拡張竣工	
		10. 1	「使用水量のお知らせ」と「口座振替済のお知らせ」を併記し、検針員が配布する制度とする。	
		12. 13	西山地区拡張竣工	
(1985)	昭和60.	4. 1	機構改革により水道局を水道部、下水道部の2部制とする。	
			浅川総合開発事業 浅川ダム建設工事に関する基本協定締結	
			(工事費12,500,000千円 長野県 $\frac{972}{1000}$ 長野市 $\frac{28}{1000}$)	
		7. 13	梅雨及び台風6号により西部地区に災害発生	
		7. 26	地附山地滑りによる大災害 (湯谷配水池流出)	
		10. 16	大町ダム完成 (総事業費47,884,745千円)	
(1986)	昭和61.	3. 27	管理者 峯村富太 就任 (H4. 3.26退任)	
(1987)	昭和62.	2. 1	西裾花台団地、地蔵平団地各簡易水道を廃止し上水道化する。	
		3. 30	川合新田水源ポンプ増設 (8,000m ³ /日、4,000m ³ /日各1台)	
		4. 1	機構改革により水道建設課は、水道建設課と浄水管理課に、松代営業所、若穂営業所は松代若穂管理事務所となる。	

年	月	日	事	項
		12. 28	水道料金の郵便局自動払込み準備	
(1988) 昭和63.	1.	30	城山公園緊急貯水槽完成 (330m ³)	
	2.	20	地附山地滑りにより流出した湯谷配水池を新設 (700m ³)	
	3.	1	水道料金の調定事務処理オンライン化稼働	
	3.	10	若穂、松代連絡管布設 (φ400mm)	
	3.	31	犀川浄水場水道資料館完成 φ900mm配水本管裾花川伏越完成	
	4.	1	水道料金改定平均11.5%引上げ	
	4.	20	水道料金貯金口座 (自動払込) の取扱を開始 (9月納付分より実施)	
(1989) 平成 元	3.	20	公益事業サービスコーナー開設に伴い、同コーナーにて転出入者の水道給水申込及び水道使用休止届事務を受付 (毎年3/20～4/10)	
	4.	1	消費税導入に伴う水道料金改正 (基本料金及び超過料金の合計額に100分の103を乗じた額)	
	12.	31	道島浄水場廃止	
(1990) 平成 2.	3.	20	清野浄水場竣工	
	7.	11	第6期第2次変更認可 (犀川水源種別変更、取水地点変更)	
	12.	25	夏目ヶ原浄水場拡張工事竣工	
(1991) 平成 3.	4.	21	日曜日、祝日の工事店待機制度開始	
(1992) 平成 4.	3.	27	管理者 内田将夫 就任 (H10. 3. 31退任)	
(1993) 平成 5.	3.	31	第7期拡張変更認可 (浅川ダム参画、浅川拡張、犀川浄水場拡張)	
	4.	1	3階建て建築物直結給水開始	
	7.	27	駅東口～長野運動公園間配水幹線 (φ700mm) 供用開始	
	9.	7	第1回ひとり暮らし老人宅の水道、下水道設備点検サービス実施	
(1994) 平成 6.	3.	2	上野配水池から市東北部に給水を開始	
	3.	23	山内配水池増設	
	4.	1	松代、若穂地区の給水装置工事申請の受付事務を松代若穂管理事務所から業務課へ統合 修繕工事費に係る工事店に対する標準価格の指導を廃止 (上、下水道) 豊野町、戸隠村及び鬼無里村の水質検査を受託	
	8.	1	高温少雨による渇水のため、節水PRを実施 (チラシ全戸配布、ポスター、懸垂幕、屋外文字放送、節水コマの取付ほか)	
	8.	9	高温少雨による渇水 (裾花ダム貯水率20%を割る) のため渇水対策本部を設置 (9月14日まで)	
	12.	1	修繕等受付窓口を給水課へ一本化する。	
(1995) 平成 7.	1.	24	兵庫県南部地震による被災地神戸へ水道施設復旧班を派遣 (2月28日まで延べ36人)	
	3.	20	湯谷ポンプ場移設完了	
	4.	1	通水80周年を迎える。 機構改革により松代若穂管理事務所が廃止され、総務課、料金課、設備指導課、水道整備課、浄水課、サービス課の6課となる。 水道局財務会計オンラインシステム稼働	

年	月	日	事 項
	5.	1	水道料金改定平均8.62%引上げ（一般家事用及び業務用の用途区分及び基本水量を廃止し、口径別料金に改める）
	7.	11	梅雨前線豪雨による堀水源地水没事故
	7.	19	通水80周年記念式典挙行・通水80周年記念誌「暮らしの水の物語」発行 7. 28
	7.	28	通水80周年記念「毛利 衛さん講演会」開催
(1996) 平成 8.	3.	15	上・下水道ガイドブック発行
	4.	1	宅内修繕専門業者による24時間宅内修繕工事受付体制の導入
(1997) 平成 9.	1.	20	犀川系取水を表流水から伏流水に変更
	3.	1	パンフレット「長野市水道」発行
	4.	1	消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の105を乗じて得た額）
	6.	1	水道週間行事として「水道水源地見学とそば打ち体験バスツアー」実施
	6.	6	水道週間行事として「水道使用者の意見を聞く会」実施
	8.	29	80周年記念公園「夏目ヶ原親水公園」竣工
(1998) 平成10.	4.	1	管理者 西澤清一 就任（H14. 3. 31退任） 川合配水池竣工（5,000m ³ ） 水道料金据置
(2000) 平成12.	3.	31	蚊里田低区配水池竣工（4,000m ³ ）
	4.	1	水道部と下水道部が統合され上下水道部となる。 機構改革により、設備指導課と下水道計画課が統合され下水道業務課となる。
	7.	5	市役所前Y字管破裂事故
(2001) 平成13.	3.	30	犀川浄水場低区配水池竣工（20,000m ³ ） 犀川浄水場更新事業完了
	4.	1	水道料金据え置き
	10.	31（～11. 1）	日本水道協会全国総会が長野市で開催される。
(2002) 平成14.	4.	1	管理者 甘利富雄 就任（H18. 3. 31退任） 機構改革により水道整備課とサービス課を統合し、配水管理課と同課サービスセンターを設置
	11.	5	水道防災給水拠点整備事業によりサービスセンター事務所を旧日本たばこ産業(株)長野支店事務所へ移転
(2003) 平成15.	4.	1	水道局財務会計オンラインシステム更新
	5.	30	早坂水源廃止
	10.	－	上下水道料金のコンビニ収納及び郵便局窓口収納を開始（10月調定分から）
(2004) 平成16.	3.	31	機構改革により上下水道部を廃止
	9.	27	上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までを第一環境(株)に委託
	10.	1	機構改革により料金課を経営管理課と改称する。
	12.	27	第7期拡張事業認可変更届（豊野町水道の全部譲り受け）
(2005) 平成17.	1.	1	長野市と豊野町、戸隠村、鬼無里村及び大岡村が合併。豊野町水道を長野市水道に編入する。 戸隠村、鬼無里村、大岡村の簡易水道事業は市長部局（環境部環境管理課）で所管する。

年	月	日	事 項
	8.	14	野尻水源からの取水を廃止する。(蚊里田浄水場の浄水処理停止)
(2006) 平成18.	4.	1	長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例を改正し、水道事業及び下水道事業に管理者を置かないこととする。(管理者の権限は市長が執行する) 機構改革により配水管理課サービスセンターをサービスセンターに、下水道業務課を業務課に改称する。
(2007) 平成19.	1.	15	犀川浄水場の運転管理に関わる業務を㈱ジャパンウォーターに委託
	2.	14	水道水ペットボトル「戸隠の水」を製造
	3.	1	パンフレット「長野市水道」発行
	3.	29	夏目ヶ原送水ポンプ更新 (48,096m ³ /日、24,048m ³ /日 各1台)
	4.	1	条例を改正し、長野市水道料金等審議会を「長野市上下水道事業経営審議会」へ改称する。
	7.	20	7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」に際し、「日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定」に基づき、応援職員を柏崎市に派遣する。(漏水調査 7/20～7/30 延べ22名、復旧作業 7/23～7/31 延べ18名)
	7.	23	同地震に際し、「災害等緊急時における出動協力に関する協定」に基づき、長野市水道工事協同組合加盟事業者を柏崎市に派遣する。(復旧作業 7/23～7/31 延べ90名)
(2008) 平成20.	3.	19	東寺尾配水池から清野浄水場への緊急時対応送水ルートが完成する。
	4.	1	長野市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の改正により、水道事業及び下水道事業に上下水道事業管理者を設置するとともに、組織の名称を「長野市上下水道局」へ改称する。管理者 中村治雄 就任 (H24. 3. 31退任)
	8.	29	浅野配水池竣工
	10.	16 (～17)	日本水道協会中部地方支部合同防災訓練が犀川浄水場で開催される。 (富山県支部、新潟県支部、長野県支部合同)
	12.	9	小瀬配水池(高区・低区)を廃止し、浅野配水池に切替える。
(2009) 平成21.	2.		長野市水道ビジョン(H21～H30)を策定公表する。
	3.	31	第7期第一次変更認可(高岡浄水場膜ろ過設置)
	4.	1	戸隠簡易水道、鬼無里簡易水道、大岡簡易水道事業を上下水道局へ一元化する。
	7.	10	日本水道協会中部地方支部総会が長野市で開催される。
(2010) 平成22.	1.	1	長野市と信州新町、中条村が合併。信州新町簡易水道、中条簡易水道を上下水道局へ編入する。
	3.	17	高岡浄水場膜ろ過設備竣工
	3.	31	犀川浄水場 混合井・侵食性遊離炭酸除去設備竣工
	4.	1	夏目ヶ原浄水場の運転管理に関わる業務を㈱ジャパンウォーターに委託 機構改革により浄水課松代若穂出張所を浄水課南部出張所に改称する。
	6.	1	水道料金改定平均7.71%引上げ
(2011) 平成23.	3.	13	東日本大震災による被災地へ応急給水班を派遣(4月13日まで延べ18人)
	3.	14	川合新田水源ポンプ設備竣工
	3.	18	上野配水池次亜塩素酸注入設備竣工
	4.	1	パンフレット「長野市水道」「水の大冒険」発行

年	月	日	事 項
	4.	14	第7期第2次変更認可（堀水源と西沖水源に紫外線処理設備設置、及び西条浄水場と笹平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更）
	10.		長野市上下水道局イメージキャラクター「みずなちゃん」制定
	12.	21	川合新田水源配水池竣工（4,200m ³ ）
(2012) 平成24.	4.	1	管理者 高見澤裕史 就任（R2. 3. 31退任）
	4.	1	職員による宿日直業務を廃止し、シルバー人材センターに委託
	5.	31	西沖水源紫外線処理設備竣工。西沖浄水場に名称変更
	10.	1	犀川低区配水開始
	12.	1	上下水道局公式ホームページ開設
(2013) 平成25.	3.	31	岩野水源からの取水を休止する。（清野浄水場の浄水処理停止）
	4.	1	機構改革により経営管理課が廃止され、業務課を営業課に、配水管理課を水道整備課に、サービスセンターを水道維持課に名称変更する。
	6.	1	水道料金改定平均7.86%引上げ
(2014) 平成26.	2.	3	戸隠浄水場供用開始
	3.	31	川田水源を廃止する。
	4.	1	消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の108を乗じて得た額）
	9.		長野市水道ビジョン（改訂版）を策定し、公表する。
	10.	1	上下水道料金に係るメーター検針から料金の収納事務までをシーデーシー情報システム(株)に委託
	11.	22	神城断層地震により、上水道施設30箇所、簡易水道施設31箇所が被災した。
	11.	29	神城断層地震により被災した白馬村へ応急復旧班を派遣（12月5日まで延べ45人）
	12.	24	公益社団法人日本水道協会より「水道水質検査優良試験所規範（略称：水道GLP）」の認定を取得した。（JWWA-GLP115）
(2015) 平成27.	3.	31	「長野市水道百年史」刊行
	4.	1	通水開始100周年を迎える。 各種100周年記念事業を実施する。 100周年記念水道水ペットボトル「長野の命水」を製造（犀川浄水場井戸水使用）
	4.	1	「ながの水だより」創刊
	7.	31	西条浄水場膜ろ過設備竣工
	10.	28	長野市水道100周年記念式典
(2016) 平成28.	4.	26	平成28年熊本地震により被災した熊本市へ応急復旧班を派遣（5月6日まで延べ55人）
(2017) 平成29.	3.		長野市水道事業経営戦略（H29～H38）策定
	3.	10	笹平浄水場膜ろ過設備竣工
	3.	16	笹平浄水場を山内浄水場に名称変更
	3.	28	第7期第3次変更認可（長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）の事業統合及び犀川浄水場の粉末活性炭注入設備の追加）

年	月	日	事 項
	4.	1	長野市簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）を長野市水道事業に統合し一元化する。
	6.	1	水道料金改定平均5.49%引上げ
	11.	18	往生地浄水場が土木学会選奨土木遺産に認定される。
(2018) 平成30.	1.	29	寒波に伴う凍結被害に係る応援活動のため新潟市へ応急給水班を派遣（2月1日まで延べ54人）
	2.	22	第7期拡張第3次変更届（簡易給水施設等を給水区域に編入）
	3.	5	穂刈浄水場紫外線処理設備竣工
(2019) 平成31.	2.	13	西条配水池竣工（140m ³ ）
	3.	28	犀川浄水場取水施設竣工
令和元.	10.	1	消費税率の引き上げに伴う水道料金改正（基本料金及び水量料金の合計額に100分の110を乗じて得た額）
	10.	13	東日本台風により豊野地区の西沖浄水場が浸水、若穂地区の笹平水源から山内浄水場間で導水管の流出など施設が被災した。
	10.		東日本台風により浸水した地区（長沼・豊野・古里・柳原地区）の被災建物に係る水道料金の減免
(2020) 令和2.	4.	1	管理者 上平敏久 就任
	7.	1	堀水源紫外線処理設備竣工、堀浄水場に名称変更
	12.	28	平柴配水池更新工事竣工（300m ³ ）
(2021) 令和3.	3.	1	水道料金収納にてスマートフォン決済を開始（PayPay・LINE Pay）
	3.	10	犀川浄水場活性炭注入設備竣工
	4.	1	水道料金の口座振替WEB申込サービスを開始（対象は一部金融機関）
(2022) 令和4.	2.	10	大岡地区聖北水源・聖北配水池廃止
	3.	15	蚊里田低区2号配水池竣工（1,000m ³ ）
	4.	1	長野市水道事業経営戦略（R4～R13）策定
	12.	1	中部電力ミライズ㈱と連携し「引越しおまとめ便」にて開閉栓受付を開始
	12.	5	第7期拡張第4次変更認可（犀川浄水場内の地下水予備水源の常時水源化）
(2023) 令和5.	10.	1	水道料金のインボイス対応（適格請求書）の納付書発行開始
(2024) 令和6.	1.	4	能登半島地震の被災地（石川県羽咋市ほか）の応急給水・応急復旧に職員派遣（延べ16人）
	6.	18	新東寺尾配水池竣工（3,000m ³ ）
	12.	1	水道料金収納にてスマートフォン決済の範囲を拡大（auPAY・d払い）

(2) 沿 革

創 設

長野市の水道は、明治44年に布設を計画し、大正2年工事実施認可を得て市の北西戸隠村に貯水池を築造してこれを往生地浄水場に導し、計画給水人口60,000人、一日最大給水量5,800 m^3 /日で大正4年4月より給水を始めた。

第1期拡張

その後市勢の発展に伴い一人一日当りの使用量も増大し、大正12年7月より夏季には減断水を生ずる年が続いたため、昭和3年に拡張の認可を得て、犀川の伏流水を水源に6,800 m^3 /日の増を計画し、給水人口75,000人、一日最大給水量12,600 m^3 /日（既設戸隠水系5,800 m^3 /日、新設水系6,800 m^3 /日）で昭和4年3月に第1期拡張工事を完成した。

第2期拡張

昭和16年ごろから疎開工場等の設置により急激に使用量が増加し、水量不足を生じてきた。たまたま昭和18年長野県において鳥居川・野尻湖河水統制事業があり、本市もこの計画に参加したが、着工後2年で終戦を迎えたため、計画の練り直しが行われた。昭和27年1月9,600 m^3 /日の取水（ただし6月1日～9月10日は取水しない。）ということで関係者間の話し合いが付き、改めて工事を進め昭和29年11月に竣工した。その間、岡田にさく井して3,000 m^3 /日の確保をした。

第3期拡張

昭和29年近郊10ヶ村の合併があり、これを契機として拡張の必要を生じ、昭和32年12月、給水人口167,000人、一日最大給水量50,500 m^3 /日（既設戸隠水系12,000 m^3 /日、犀川水系12,000 m^3 /日、岡田水系3,000 m^3 /日、七瀬水系3,500 m^3 /日、新設犀川水系20,000 m^3 /日）で第3期拡張を計画し、昭和33年4月より昭和39年3月まで6ヶ年計画で、犀川浄水場、夏目ヶ原浄水場の拡張を行い、七瀬にさく井し水源を確保した。

第3期拡張変更

第3期拡張認可の数年後、長野市と隣接する更級郡更北村大字青木島及び川中島町大字四ツ屋（現在の犀川浄水場附近）地区より、給水の要望があったので、当該町村長の同意を得て区域拡張計画をした。また併せて、往生地、杏花台、地附山、大峰山地区の拡張も計画し昭和37年8月22日認可を得て、昭和37年9月より着手し、昭和39年3月完了した。

なお、岡田水源は水質悪化のため、昭和35年より取水を

停止していたがこの認可申請に合わせて廃止した。

第4期拡張

第3期拡張終了後、商工業の発展に伴い人口が増加し、また生活水準の向上のため使用量が伸び、現有施設では給水が危ぶまれる状態となったので、給水人口186,000人、一日最大給水量93,000 m^3 /日（既設戸隠水系10,000 m^3 /日、犀川水系30,000 m^3 /日、七瀬水系3,000 m^3 /日、新設犀川水系30,000 m^3 /日、裾花川水系20,000 m^3 /日）で昭和38年12月に認可を得て翌39年4月より昭和47年4月まで8ヶ年計画で着手した。さらに補給水源として川合新田にさく井し13,000 m^3 /日の確保をした。

第4期拡張変更

その後周辺部の市街化による給水量の増加は、著しいものがあり、昭和45年度給水実績では一日最大量90,000 m^3 /日を示し、第4期拡張計画の修正を必要とする状態となった。さらに旧来簡易水道であった西部山間部の芋井地区及び浅川地区の一部地域の給水区域への編入と、川合水系（第2水源）に20,000 m^3 /日の増加を図ることを計画し、昭和46年3月認可を得た。

給水人口は197,000人、一日最大給水量は126,000 m^3 /日（既設戸隠水系10,000 m^3 /日、犀川水系30,000 m^3 /日、七瀬水系3,000 m^3 /日、新設犀川水系30,000 m^3 /日、裾花川水系20,000 m^3 /日、川合水系33,000 m^3 /日）である。

第5期拡張

裾花川上流総合開発に伴う奥裾花ダム建設計画に参画して32,250 m^3 /日を取水し、昭和41年度に合併した松代地区及び若穂地区内の上水道施設及び簡易水道施設の統廃合を図りながら、全戸上水道化を進めるため昭和47年3月31日第5期拡張事業認可を得た。

なお、七瀬水源は配水システムの合理化により、この認可申請に合わせて廃止した。

第6期拡張

信濃川水系高瀬川総合開発に伴う大町ダム建設計画に参画して、上水道用水として100,000 m^3 /日を取水し、山間部簡易水道施設地区の小田切、七二会及び信更の大部分、浅川の一部の各地区を全市上水道の一環として統廃合を図りながら、給水区域の拡張と急増する水需要に対処するための施設の充実と管網整備を目的とし、昭和49年3月30日第6期拡張事業認可を得た。

第6期拡張第1次変更

過去順調な伸びを示していた水需要が経済不況や節水意識の高揚等により、昭和53年以降低下傾向を示してきたので、高度経済成長期に計画した第6期拡張事業の見直しを行い、大町ダムの100,000 m^3 /日は当面必要な30,000 m^3 /日を伏流水で取水することにした。また、松代地区の西条、豊栄、寺尾の各水源の増量を図るとともに、浅川の坂中、西平、台ヶ窪、小田切の地蔵平、裾花台団地、七二会の中組の各簡易水道と戸隠村の一部を上水道区域に編入し、計画給水人口278,500人、計画一日最大給水量143,300 m^3 /日で昭和58年7月12日認可を得た。

第6期拡張第2次変更

第6期拡張第1次変更で予定していた事業のうち、大町ダムの100,000 m^3 /日の一部30,000 m^3 /日の伏流水取水については、ダムの完成の遅れと建設省との協議に時間がかかり実施が遅れていた。

平成元年4月に、農業用水からの取水が社会問題化したことにより、この早期解決のため建設省との協議の上、この伏流水取水を断念し当面必要な30,800 m^3 /日の表流水を既設小田切ダム及び農業用水路を使用して取水すべく認可の変更を申請し、平成2年7月11日認可を得た。

第7期拡張

1998年に長野市で開催される冬季オリンピックに伴う大幅な水需要の増加に対処するため、大町ダム参画により確保した100,000 m^3 /日のうち、残る69,200 m^3 /日を取水するとともに、浅川総合開発に伴う浅川ダム建設計画に参画して5,400 m^3 /日を取水し、中曽根、本郷の両簡易水道を給水区域に編入し、施設の拡張と管網整備を図るため、計画給水人口296,100人、計画一日最大給水量207,500 m^3 /日で平成5年3月31日認可を得た。

第7期拡張変更（届出）

平成17年1月1日に行われた長野市と一町三村（豊野町、戸隠村、鬼無里村、大岡村）との合併に伴う豊野町水道事業の全部譲受けにより、長野市水道事業（第7期拡張）の見直しを行い、計画給水人口307,300人、一日最大給水量214,315 m^3 /日のうち当面の計画として、計画給水人口277,000人、一日最大給水量129,500 m^3 /日で、平成16年12月27日に事業変更を届け出たのち受理された。

第7期拡張第1次変更

企業のコスト削減、人口の減少、節水意識の定着などにより水使用量の減少が続くことから、水需要計画の下方修正をするとともに、クリプトスポリジウムにより原水が汚染されるおそれのある高岡水源への浄水施設（膜ろ過）の設置と、一部給水区域の拡張を含めた事業計画の変更を行い、計画給水人口270,300人、一日最大給水量118,900 m^3 /日として平成21年3月31日認可を得た。

第7期拡張第2次変更

クリプトスポリジウムによる汚染のおそれがある堀水源と西沖水源に浄水施設（紫外線処理）を設置し、並びに西条浄水場と笹平浄水場の浄水方法を膜ろ過へ変更し、計画給水人口273,000人、一日最大給水量114,100 m^3 /日で平成23年4月14日認可を得た。

第7期拡張第3次変更

5地区の簡易水道事業（戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条）の事業統合及び給水区域の一部拡張、浄水方法の変更として犀川浄水場における原水臭気（かび臭）の除去を目的に、粉末活性炭注入設備の追加を変更要件とし、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000 m^3 /日で平成29年3月28日認可を得た。

第7期拡張第3次変更（届出）

従来給水区域に含めていなかった民間経営の簡易給水施設（中曽根レイクニュータウン）等を給水区域に編入するものであり、計画給水人口273,000人、一日最大給水量110,000 m^3 /日で平成30年2月22日に事業変更を届け出たのち受理された。

第7期拡張第4次変更

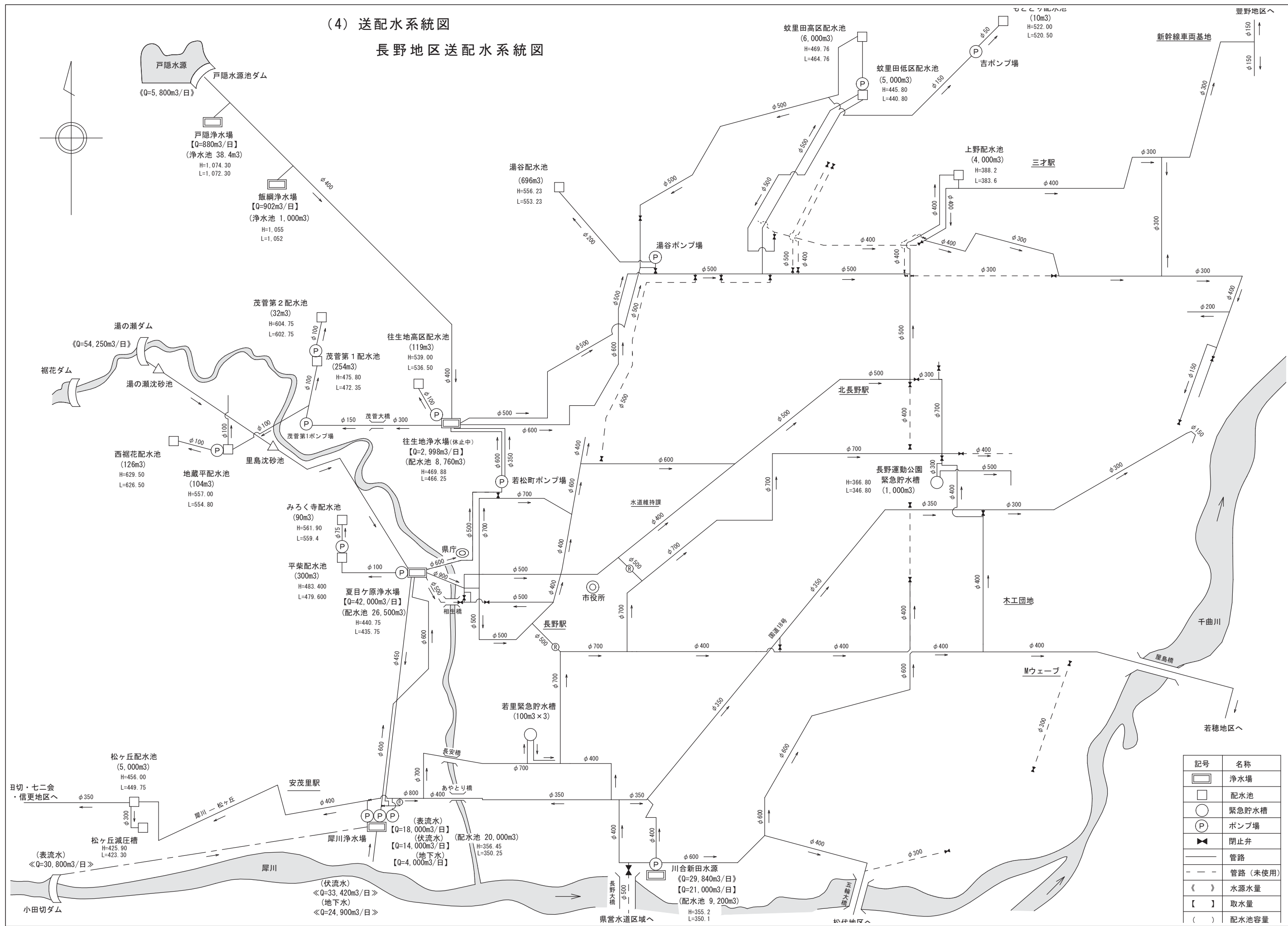
大雨による原水濁度の上昇やダムの浚渫工事及び導水路の改修工事等に伴い、大町ダム及び裾花ダムが取水不能となった場合に備えるため、犀川浄水場内にある予備水源9号井（深井戸）及び10号井（深井戸）を常時水源として新たに追加するものであり、計画給水人口265,000人、一日最大給水量109,000 m^3 /日で令和4年12月5日認可を得た。

(3) 拡張事業の経過

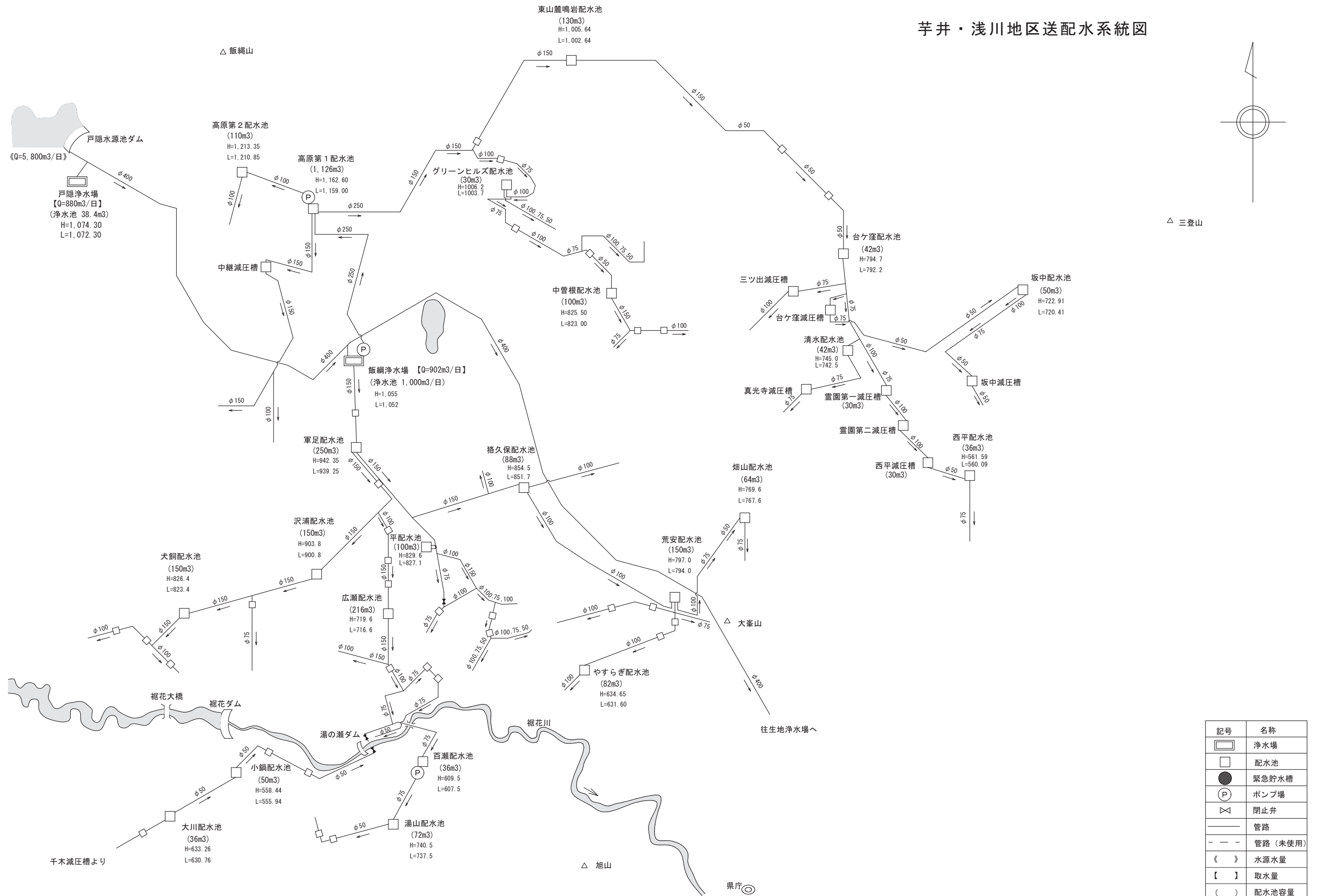
事業変遷	創設	第1期 拡張	第2期 拡張	第3期 拡張	第3期 変更	第4期 拡張	第4期 変更	第5期 拡張	第6期 拡張	第6期 1次 変更	第6期 拡張 2次 変更
	㎡/日 5,800	㎡/日 5,800 6,800	㎡/日 12,000 12,000	㎡/日 12,000 32,000	㎡/日 12,000 32,000	㎡/日 10,000 60,000	㎡/日 10,000 60,000	㎡/日 10,000 60,000	㎡/日 10,000 153,000	㎡/日 6,000 60,000	㎡/日 6,000 57,990
水野尻湖			(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)	(9,600)
系岡田			3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0
別七瀬				3,500	3,000	3,000	3,000	0	0	0	0
配水能力						(13,000) 20,000	33,000 50,000	33,000 50,000	33,000 50,000	15,000 50,000	15,000 50,000
合川花	㎡/日 5,800	㎡/日 12,600	㎡/日 27,000	㎡/日 50,500	㎡/日 47,000	㎡/日 93,000	㎡/日 126,000	㎡/日 166,000	㎡/日 259,000	㎡/日 145,310	㎡/日 143,300
川裾浅	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ
代松	97	168	285	300	313	500	640	664	852	515	487
廻若	大正2年 1月	昭和2年 4月	昭和20年 11月	昭和33年 4月	昭和37年 9月	昭和39年 4月	昭和46年 4月	昭和47年 4月	昭和49年 4月	昭和58年 7月	平成2年 7月
野豊	大正4年 3月	昭和4年 3月	昭和29年 11月	昭和39年 3月	昭和39年 3月	昭和47年 3月	昭和51年 3月	昭和55年 3月	昭和59年 3月	平成元年 3月	平成6年 3月
戸鬼	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
大信	60,000	75,000	95,000	167,000	150,000	186,000	197,000	250,000	304,000	278,500	293,300
中町新条											
給水人口											
認可実(精算)	835	620	6,350	360,000	406,678	1,430,000	4,183,000	6,400,000	25,400,000	17,400,000	8,400,000
事業費(千円)	847	559	395,346	284,631	122,047	2,478,000	2,568,665	11,235,000	20,189,730	9,777,000	4,190,000
変更認可の主たる内容	①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種類の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の軽微な変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他	75,000人 12,600㎡/日 犀川水源新設	95,000人 27,000㎡/日 岡田水源新設	近郊10ヶ村合併編入 167,000人 50,500㎡/日 七瀬水源新設	長野市全域化 150,000人 47,000㎡/日	186,000人 93,000㎡/日 犀川・樫水源新設	手井・浅川(一郷)編入 197,000人 126,000㎡/日 川合組(第2)城建設	松代・若穂編入 250,000人 166,000㎡/日 松代・若穂水源新設 飯綱浄水場竣工	小田切・七二会編入 304,000人 259,000㎡/日 大町ダム参画	一郷(創田・小田切・七二会)編入 278,500人 143,300㎡/日 西条：磐速浄水場 豊栄：磐速浄水場 犀川(表流水に変更) 犀川(取水地点変更) 犀川(急遽浄水に変更)	293,300人

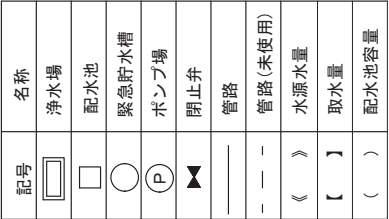
事業変遷	第7期 拡張計画	第7期拡張 変更届	第7期拡張 第1次変更	第7期拡張 第2次変更	第7期拡張 第3次変更	第7期拡張 第3次変更届	第7期拡張 第4次変更	備考
	㎥／日 6,000 122,590	㎥／日 6,000 122,590	㎥／日 5,800 124,310	㎥／日 5,800 124,310	㎥／日 5,800 60,887	㎥／日 5,800 60,887	㎥／日 5,800 85,787	
水尻湖	(9,600)	(9,600)	0	0	0	0	0	通年取水が出来ないため 平成18年廃止
系田	0	0	0	0	0	0	0	水質悪化のため 昭和35年廃止
別瀬	0	0	0	0	0	0	0	配水系統の合理化のため 昭和47年廃止
配水能力	合川	15,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	(浅川) 平成19年多目的ダムよ り治水ダムに変更のため 水源の廃止
	花川	50,000	47,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
	浅川	4,900	0	0	0	0	0	
	代松	6,800	8,605	8,918	5,818	5,818	5,818	
	穂若	2,610	4,024	4,289	2,509	2,509	2,509	
	豊野		7,420	6,800	6,800	6,800	6,800	
	隠里				2,864	2,864	3,218	
	大無				1,967	1,967	1,935	
	岡信				884	884	941	
	新町				2,351	2,351	2,581	
	条中				1,081	1,081	1,081	
総配水能力		㎥／日 207,900	㎥／日 221,159	㎥／日 224,117	㎥／日 164,961	㎥／日 164,961	㎥／日 190,470	
1人1日 最大給水量		ℓ 701	ℓ 440	ℓ 418	ℓ 403	ℓ 403	ℓ 411	
工事期間 (起工～竣工)	平成5年 4月 ～ 平成24年 3月	平成17年 1月 ～ 平成24年 3月	平成21年 4月 ～ 平成25年 3月	平成23年 4月 ～ 平成27年 3月	平成29年 4月 ～ 平成31年 3月	平成30年 4月 ～ 平成35年 3月	—	
	人 296,100	人 307,300 (277,000)	人 270,300	人 273,000	人 273,000	人 273,000	人 265,000	豊野町との合併に伴う水道 事業全部譲受け後の人口 () 届出値
給水人口							0	() 届出値
	事業費 (千円)	38,800,000	8,974,572	14,858,925	446,800	0	0	
認可 実施 (精算)	36,060,000	(10,540,000)	—	—	—	—	—	
①給水区域の拡張 ②給水人口の増加 ③給水量の増加 ④水源の種別の変更 ⑤取水地点の変更 ⑥浄水方法の変更 ⑦事業の軽微な変更 ⑧事業の全部譲受け ⑨その他	296,100人 207,500㎥／日	豊野地区編入 307,300人 214,315㎥／日	270,300人 118,900㎥／日	273,000人 114,100㎥／日	戸隠・鬼無里・大岡・ 信州新町・中条編入 273,000人 110,000㎥／日	一部(中曽根・門 沢)編入 273,000人 110,000㎥／日	265,000人 109,000㎥／日 犀川(地下水を追加) 犀川(取水地変更)	

(4) 送配水系統図
長野地区送配水系統図

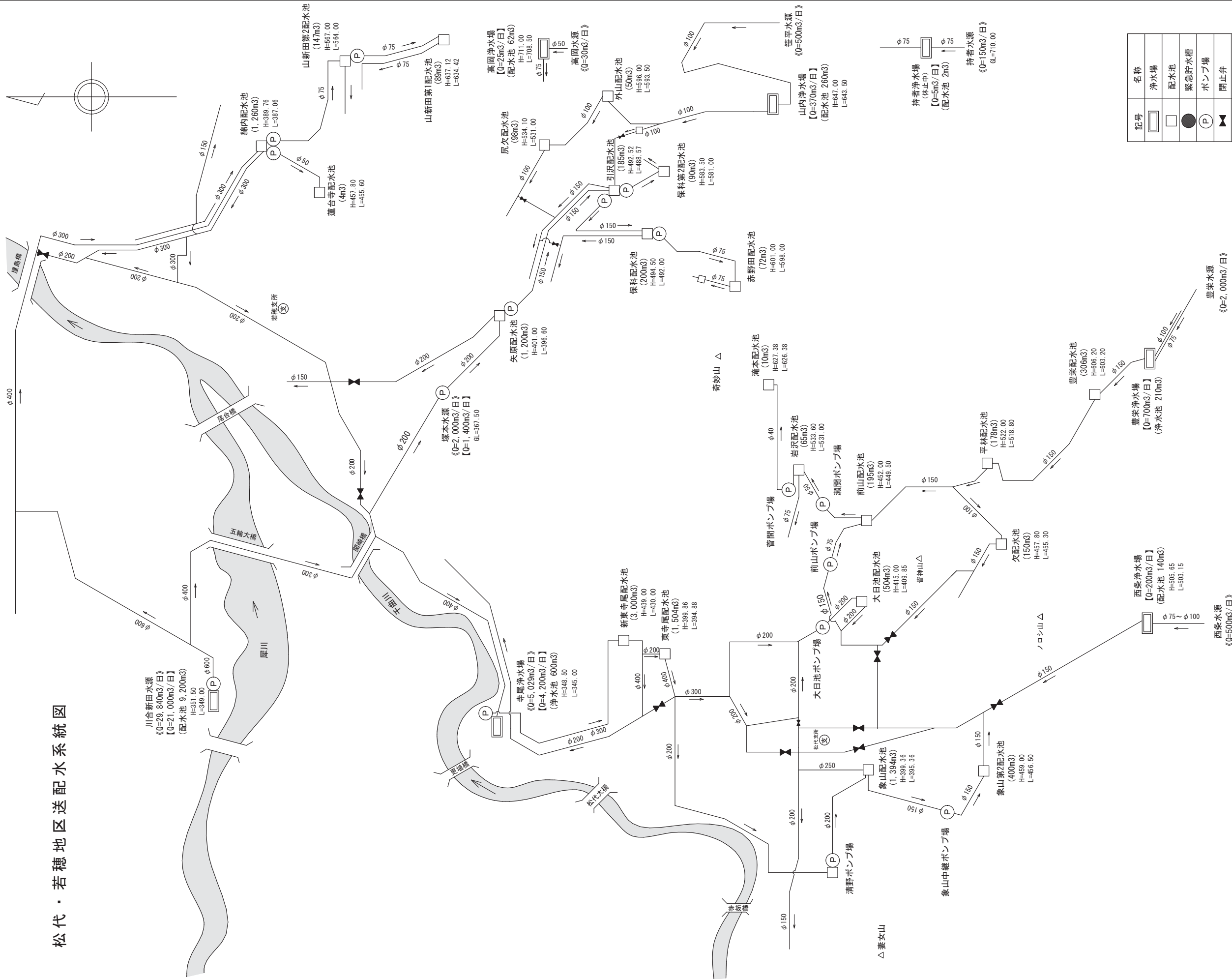


芋井・浅川地区送配水系統図

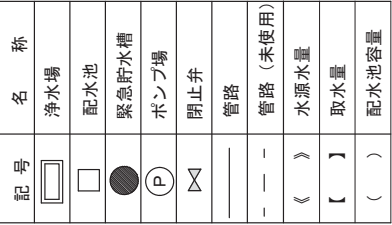




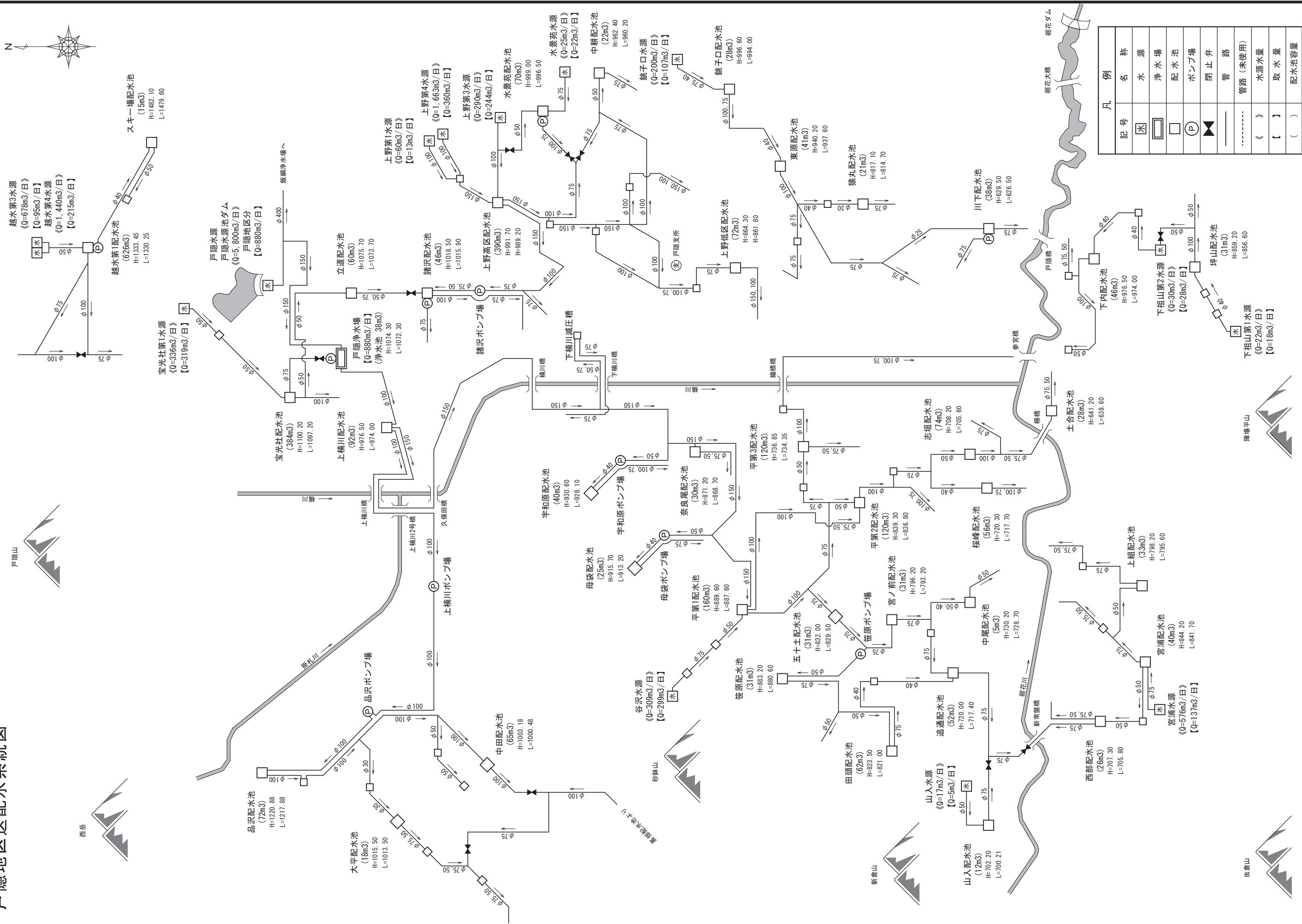
松代・若穂地区送配水系統図



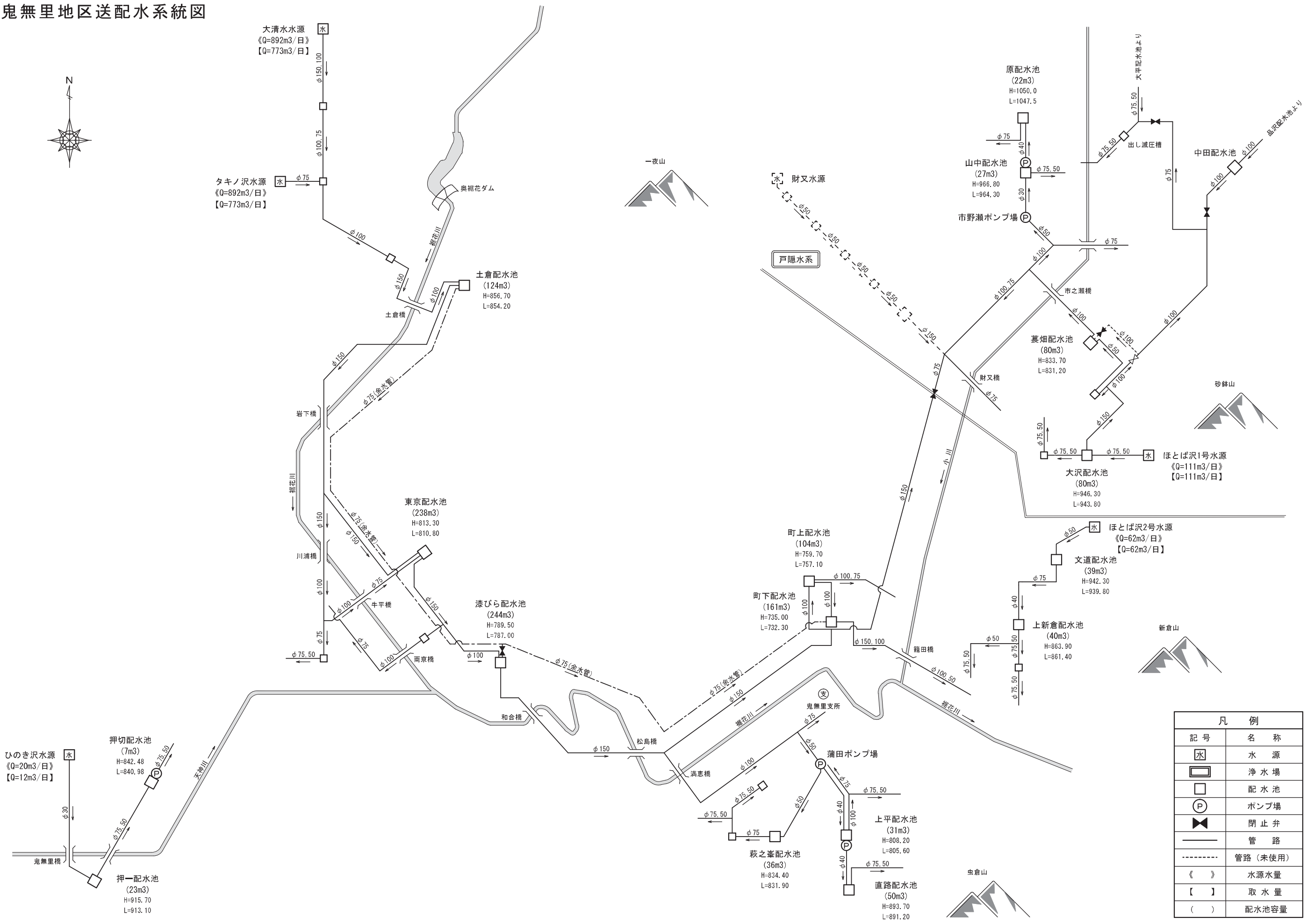
記号	名称
	浄水場
	配水池
	緊急貯水槽
	ポンプ場
	閉止弁
	管路
	管路 (未使用)
	水源水量
	取水量
	配水池容量



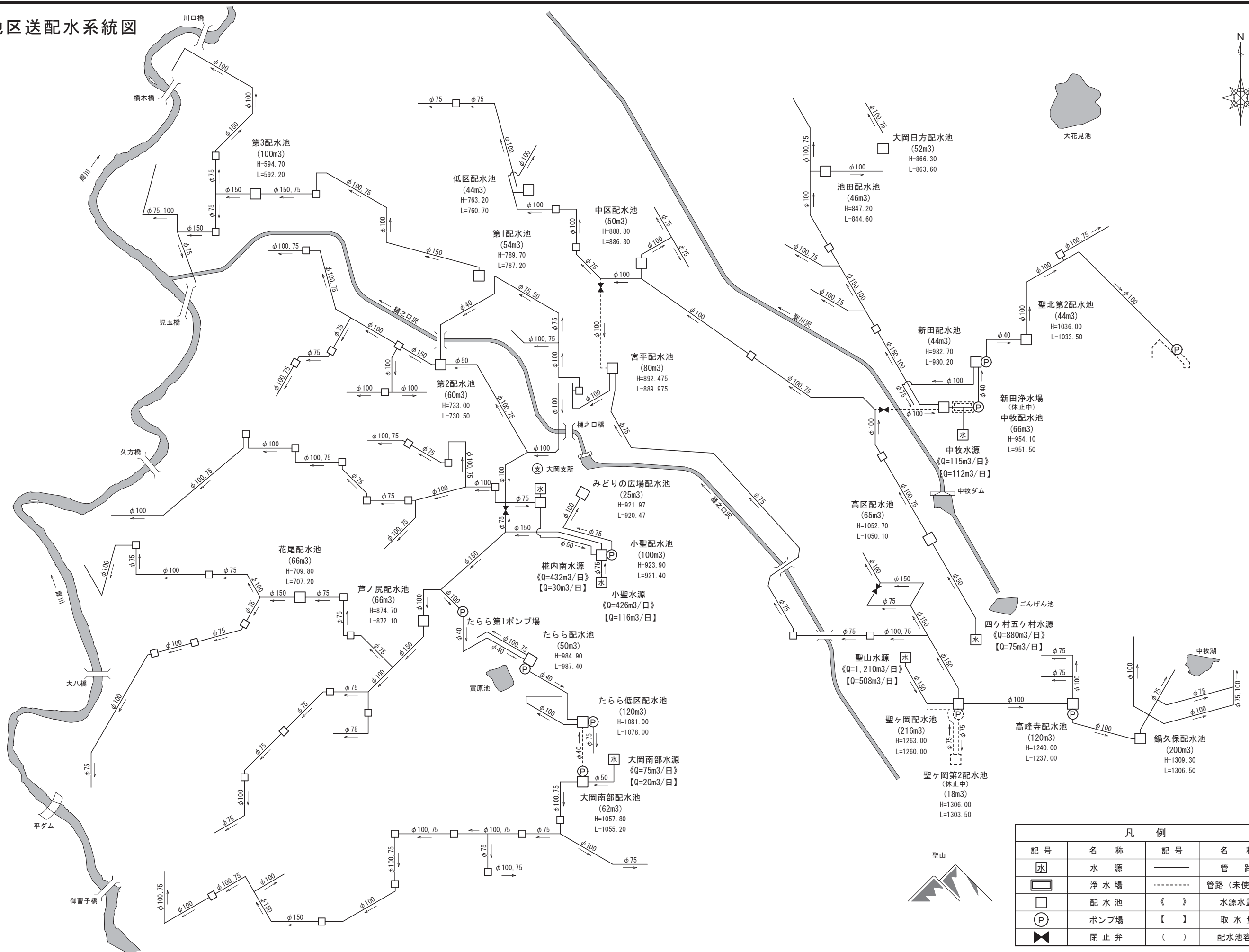
戸隠地区送配水系統図



鬼無里地区送配水系統図

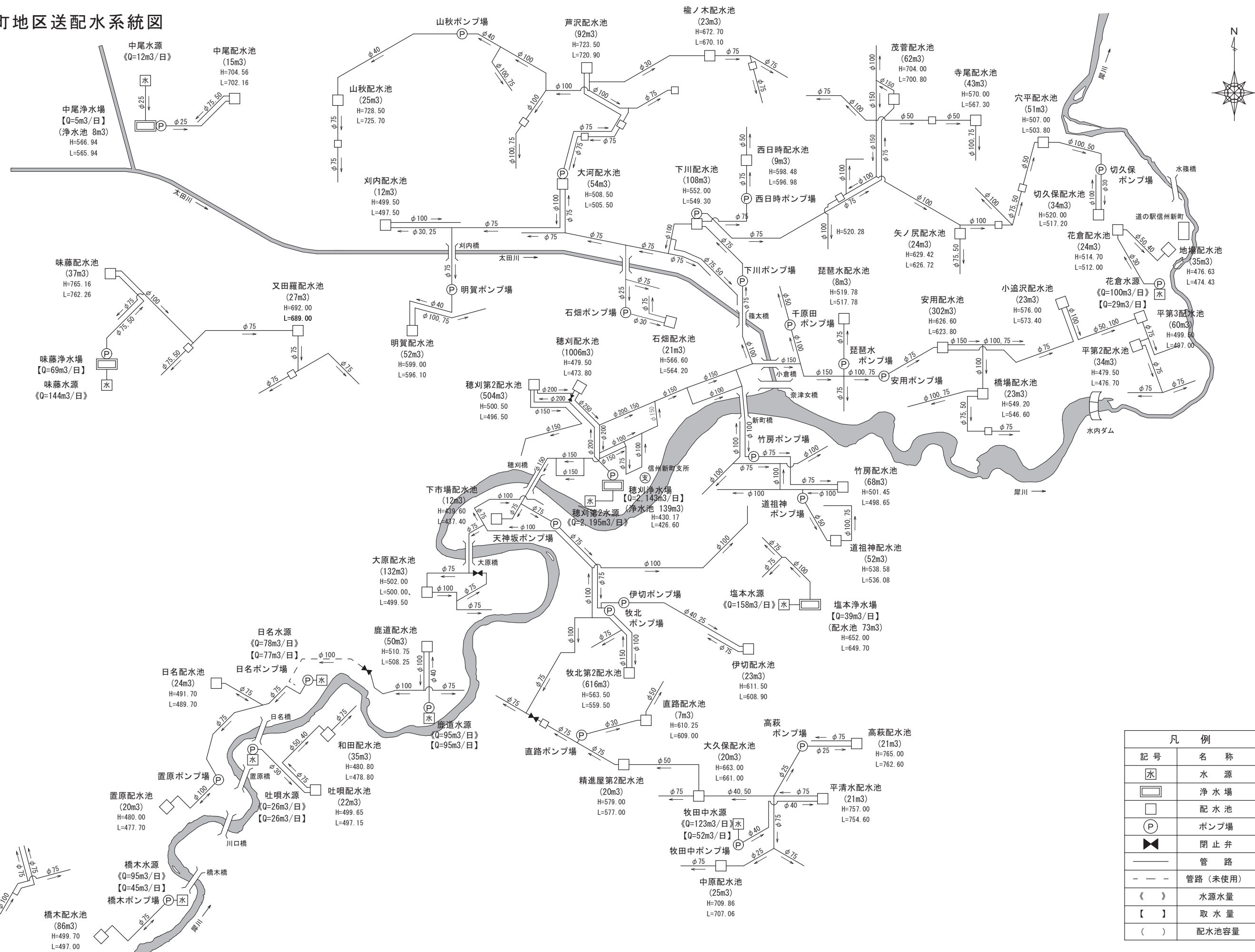


大岡地区送配水系統図



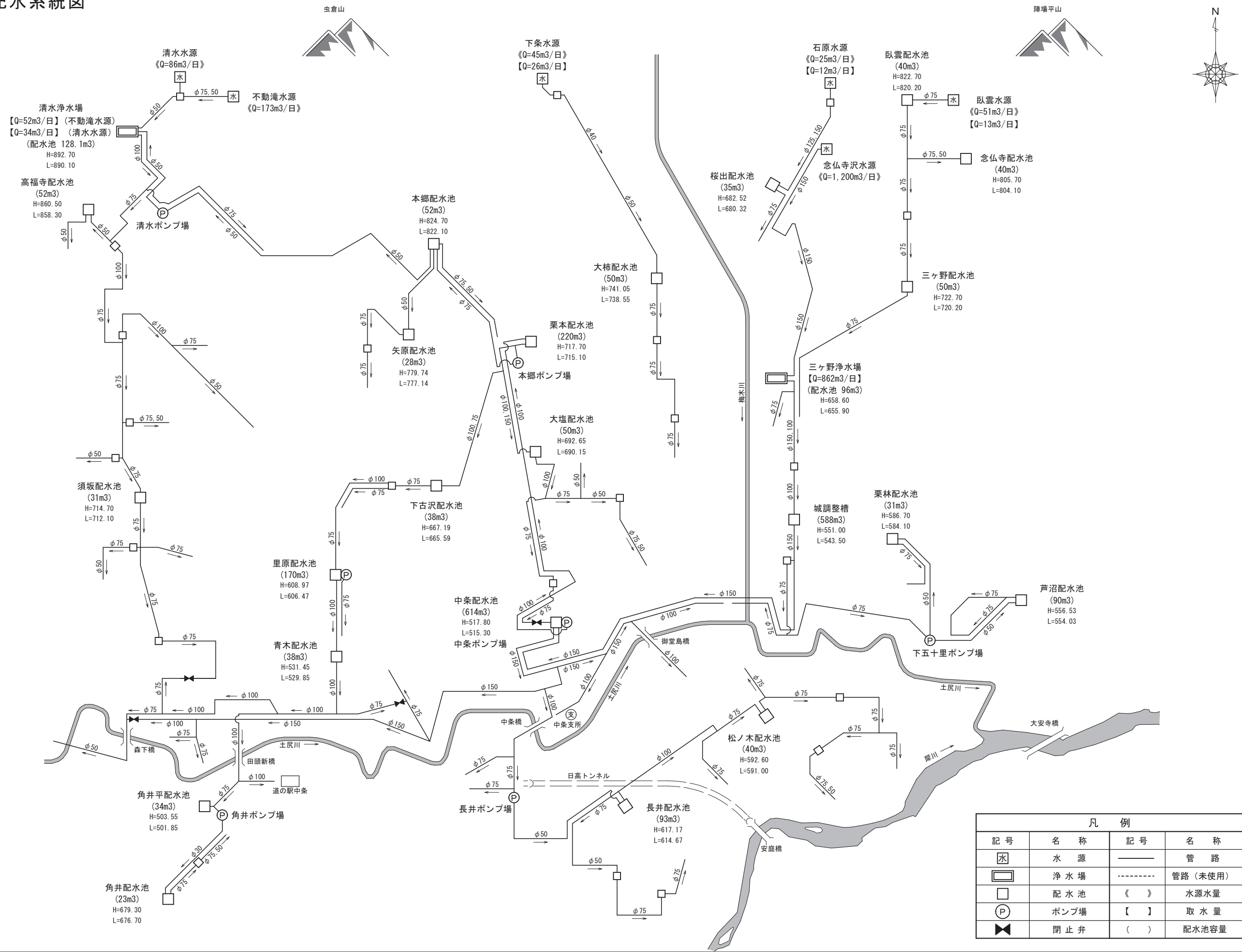
凡 例			
記 号	名 称	記 号	名 称
	水 源		管 路
	浄 水 場		管路（未使用）
	配 水 池		水源水量
	ポンプ場		取 水 量
	閉 止 弁		配水池容量

信州新町地区送配水系統図



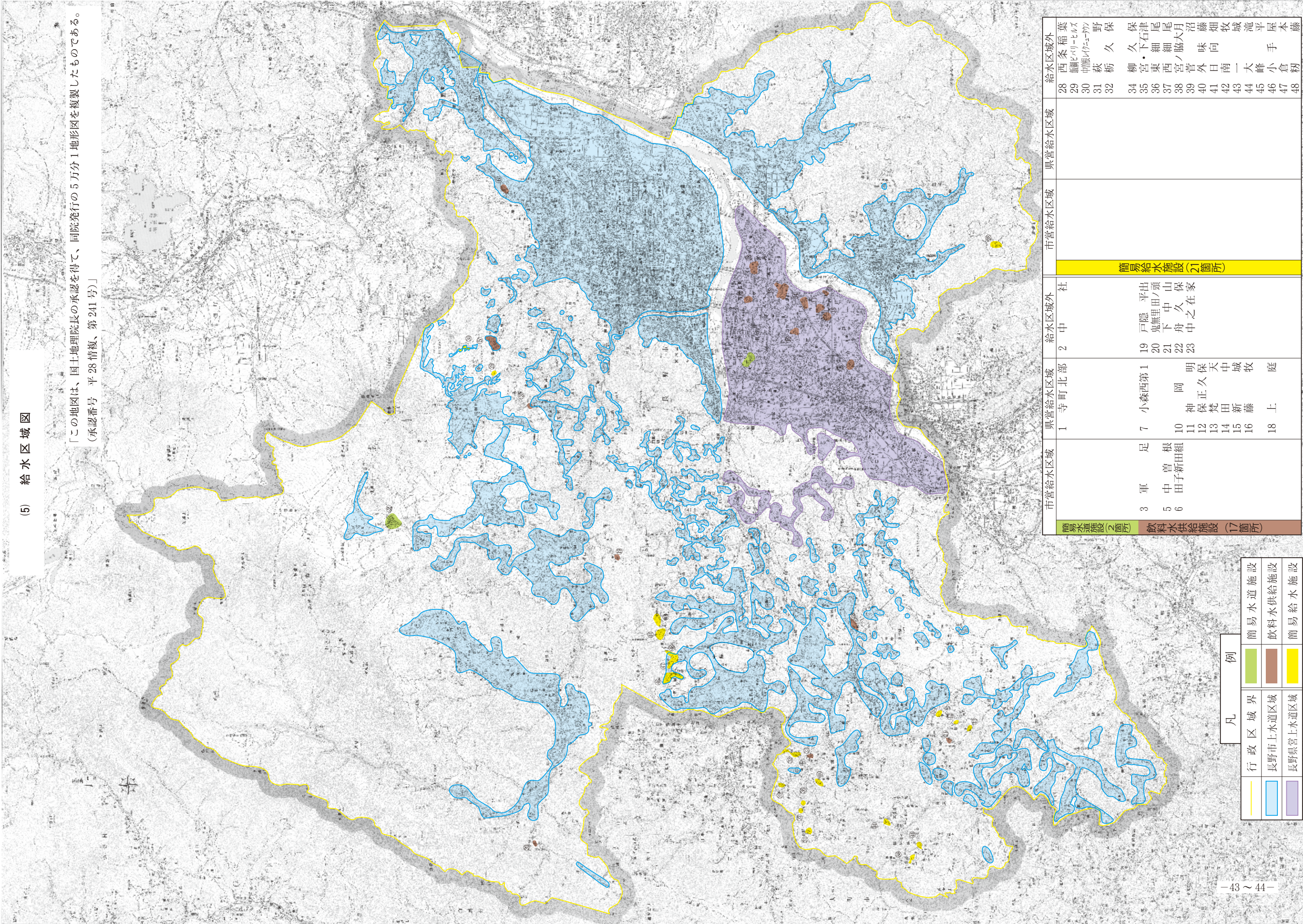
凡 例	
記 号	名 称
水	水 源
浄水場	浄 水 場
配水池	配 水 池
ポンプ場	ポンプ場
閉止弁	閉 止 弁
管路	管 路
管路 (未使用)	管路 (未使用)
《 》	水源水量
【 】	取 水 量
()	配水池容量

中条地区送配水系統図

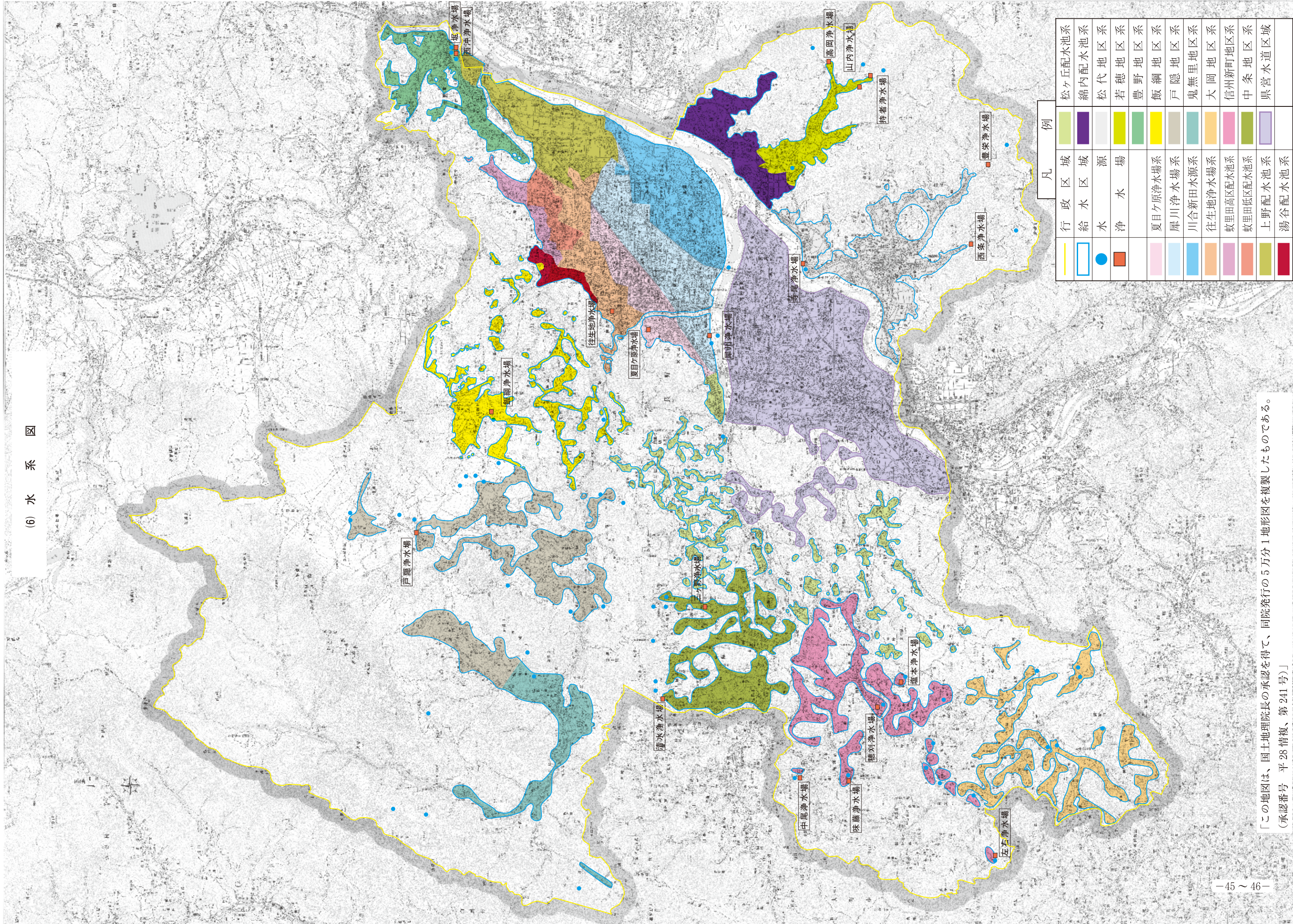


(5) 給水区域図

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。
(承認番号 平 28 情複、第 241 号)」



(6) 水系図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。
(承認番号 平28情復、第241号)」

3 水道の維持管理統計

(1) 給水普及状況

(R 7. 3. 31 現在)

区分	区分	市 営 水 道		旧市営上水道	旧市営簡易水道	県 営 水 道 (※)	市・県営水道計
	世帯・人口	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)	人 口 (人)
	行政区域内	—	—	—	—	—	360,540
	給水区域内 A	121,555	259,573	251,110	8,463	99,915	359,488
	給 水 B	121,358	259,125	250,761	8,364	98,967	358,092
	普 及 率 B/A (%)	99.84	99.83	99.86	98.83	99.05	99.61

※ 県営水道分は、長野県企業局水道事業課が算出した数値。

(2) 各水系別給水人口及び世帯数（旧上水道事業）

(R 7. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
長野地区（西山地区を含む）			松 代 地 区		
夏目ヶ原水系	20,774	44,528	東寺尾水系	4,236	9,080
上野水系	8,633	18,504	大日池水系	877	1,879
犀川水系	26,822	57,491	象山水系	1,622	3,476
松ヶ丘水系（小市）	1,465	3,141	象山第2水系	652	1,398
松ヶ丘水系（小田切・七二会）	1,298	2,781	西条水系	133	285
松ヶ丘水系（信更）	763	1,636	豊栄水系	469	1,006
往生地水系	14,723	31,557	計	7,989	17,124
蚊里田高区水系	4,035	8,649	若 穂 地 区		
蚊里田低区水系	2,316	4,965	綿内水系	3,079	6,600
湯谷水系	964	2,067	矢原水系	942	2,019
軍足水系（芋井）	609	1,305	引沢水系	438	939
高原第1水系（芋井・浅川）	838	1,796	保科水系	292	626
川合新田水系	17,532	37,579	山内水系	257	550
計	100,772	215,999	高岡水系	15	32
豊 野 地 区			持者水系	0	0
浅野水系	2,253	4,830	計	5,023	10,766
蟹沢水系	953	2,042			
計	3,206	6,872	合 計	116,990	250,761

※給水人口及び世帯数は、各水系ごとの配水流量実績を基に算出しており、別途水系図に示す水系区域内の人口とは異なります。

(3) 各水系別給水人口及び世帯数（旧簡易水道事業）

(R 7. 3. 31現在)

水 系	世帯数	人 口	水 系	世帯数	人 口
戸 隠 地 区			信 州 新 町 地 区		
戸隠水系（上楠川）	74	146	穂刈水系	1,246	2,440
戸隠・谷沢混合水系（平第1）	371	735	花倉水系	10	19
越水水系	74	146	鹿道水系	25	49
宝光社水系	100	198	日名水系	38	75
上野水系	361	716	橋木水系	18	36
水景苑水系	20	39	吐唄水系	13	26
山入水系	4	8	牧田中水系	55	107
宮浦水系	67	132	味藤水系	23	45
銚子口水系	64	126	塩本水系	28	55
下祖山第1水系	16	31	左右水系	13	26
下祖山第2水系	36	72	中尾水系	5	9
ほとば沢1号水系（鬼無里大沢）	66	131	計	1,475	2,887
戸隠水系（鬼無里品沢）	45	89	中 条 地 区		
計	1,296	2,569	念仏寺沢水系	561	1,076
鬼 無 里 地 区			不動滝・清水混合水系	78	150
大清水・タキノ沢混合水系	420	776	臥雲水系	18	34
ほとば沢2号水系	25	52	石原水系	4	6
ひのき沢水系	7	13	下条水系	28	54
計	451	841	計	689	1,320
大 岡 地 区					
四ヶ村五ヶ村水系	67	110	合 計	4,368	8,364
中牧水系	97	158			
小聖・樺内南混合水系	59	96			
大岡南部水系	27	44			
聖山水系	207	339			
計	457	747			

※給水人口及び世帯数は、各水系ごとの配水流量実績を基に算出しており、別途水系図に示す水系区域内の人口とは異なります。

(4) 取水量及び配水量

① 取水量

取水能力 217,829m³/日 (単位：m³)

月	川合新田	犀川	夏目ヶ原	戸隠	戸隠浄水場 (旧簡水地区)	長野地区計 (旧簡水除く)	松代 (川合除く)	若穂 (川合除く)	豊野	合計 (旧簡水除く)
4	514,720	976,439	1,438,812	64,257	26,828	2,967,400	121,879	32,825	73,331	3,195,435
5	562,420	982,984	1,596,458	70,666	27,124	3,185,404	134,403	33,252	74,468	3,427,527
6	547,230	809,223	1,547,458	66,457	26,309	2,944,059	133,535	33,447	71,637	3,182,678
7	563,280	915,631	924,467	62,767	26,924	2,439,221	135,587	35,101	74,292	2,684,201
8	559,650	1,082,918	846,167	68,792	27,003	2,530,524	141,600	35,284	78,094	2,785,502
9	510,390	1,136,386	670,182	63,434	26,582	2,353,810	132,408	32,671	73,116	2,592,005
10	559,610	852,700	984,703	63,285	26,758	2,433,540	136,062	33,438	75,533	2,678,573
11	546,440	894,979	952,695	70,680	25,583	2,439,211	74,286	34,758	74,571	2,622,826
12	562,270	802,921	1,132,186	62,816	26,490	2,533,703	77,689	40,967	80,482	2,732,841
1	561,660	891,349	992,077	66,490	26,969	2,484,607	76,873	37,370	81,200	2,680,050
2	505,840	693,548	1,035,523	62,481	24,570	2,272,822	69,586	34,113	71,662	2,448,183
3	560,610	707,381	1,155,026	72,187	27,350	2,467,854	68,305	37,064	77,573	2,650,796
合計	6,554,120	10,746,459	13,275,754	794,312	318,490	31,052,155	1,302,213	420,290	905,959	33,680,617
月平均	546,177	895,538	1,106,313	66,193	26,541	2,587,680	108,518	35,024	75,497	2,806,718
日平均	17,956	29,442	36,372	2,176	873	85,074	3,568	1,151	2,482	92,276
前年度	6,481,616	11,573,616	10,818,622	781,454	323,749	29,331,559	1,408,116	377,843	917,042	32,034,560
対前年比	1.011	0.929	1.227	1.016	0.984	1.059	0.925	1.112	0.988	1.051

月	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条	合計 (旧簡水地区)	合計 (全地区)
4	61,676	45,303	8,357	56,390	21,286	193,012	3,388,447
5	64,592	46,031	9,005	57,958	21,405	198,991	3,626,518
6	62,080	44,566	10,740	57,412	21,531	196,329	3,379,007
7	43,208	46,325	11,039	65,024	23,935	189,531	2,873,732
8	62,883	46,305	11,078	63,981	23,442	207,689	2,993,191
9	57,513	44,834	10,205	58,615	21,770	192,937	2,784,942
10	62,156	46,423	9,721	57,480	23,102	198,882	2,877,455
11	57,274	45,123	9,289	54,644	23,275	189,605	2,812,431
12	67,437	46,808	8,628	57,048	23,241	203,162	2,936,003
1	64,383	46,720	9,060	58,011	22,635	200,809	2,880,859
2	58,090	42,266	8,123	53,294	18,569	180,342	2,628,525
3	62,601	46,791	9,183	58,139	20,909	197,623	2,848,419
合計	723,894	547,495	114,428	697,996	265,100	2,348,913	36,029,530
月平均	60,324	45,625	9,536	58,166	22,092	195,743	3,002,461
日平均	1,983	1,500	314	1,912	726	6,435	98,711
前年度	762,710	508,483	116,486	680,857	268,154	2,336,690	34,371,250
対前年比	0.949	1.077	0.982	1.025	0.989	1.005	1.048

※夏目ヶ原浄水場の4月から6月の取水量が多い理由

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、湯ノ瀬取水口から里島着水井間の導水路内において、温泉水の湧出量が増加したため、応急対策として取水量を増やし、温泉水を希釈する対応を実施したため

② 配 水 量

配水能力 190,548 m³/日 (単位：m³)

月	川合新田	犀	川	夏目ヶ原	往生地	蚊里田	飯	綱	長野地区計		松 代 地 区		若 穂 地 区		旧上水道地区合計	
									配水量	日平均	配水量 (川含まない)	配水量 (川含む)	配水量 (川含まない)	配水量 (川含む)	配水量	日平均
4	382,198	664,957	633,628	348,506	134,075	31,160	2,194,524	73,151	118,883	168,668	5,622	24,391	106,408	3,547	2,538,043	84,601
5	436,690	638,885	650,387	366,183	138,875	33,240	2,264,260	73,041	130,985	170,981	5,516	24,327	109,317	3,526	2,614,164	84,328
6	420,891	643,828	637,856	351,755	140,992	29,059	2,224,381	74,146	129,827	170,657	5,689	24,434	109,223	3,641	2,571,466	85,716
7	426,118	693,477	674,114	355,678	150,756	30,160	2,330,303	75,171	132,094	179,706	5,797	26,175	114,981	3,709	2,695,130	86,940
8	417,459	679,485	693,317	358,243	148,984	36,480	2,333,968	75,289	137,998	189,044	6,098	26,408	116,809	3,768	2,713,507	87,532
9	378,752	660,885	656,755	338,118	136,137	31,764	2,202,411	73,414	128,881	175,266	5,842	23,925	108,458	3,615	2,555,195	85,173
10	418,161	647,186	655,649	354,827	142,704	30,550	2,249,077	72,551	132,782	186,409	6,013	24,385	111,463	3,596	2,618,326	84,462
11	348,574	700,170	629,624	339,924	137,909	30,073	2,186,274	72,876	71,755	187,252	6,242	26,394	108,043	3,601	2,552,113	85,070
12	366,617	720,912	665,115	350,478	145,177	29,570	2,277,869	73,480	75,353	182,720	5,894	32,648	120,190	3,877	2,656,936	85,708
1	369,200	701,756	663,345	349,981	144,036	33,075	2,261,393	72,948	74,615	181,434	5,853	29,422	114,319	3,688	2,633,919	84,965
2	336,468	645,832	619,066	316,214	132,396	32,043	2,082,019	74,358	67,493	160,111	5,718	26,926	103,008	3,679	2,413,050	86,190
3	369,384	693,437	655,113	349,057	139,958	38,250	2,245,199	72,426	65,918	171,191	5,522	29,073	114,282	3,687	2,603,886	83,996
合 計	4,670,512	8,090,810	7,833,969	4,178,964	1,691,999	385,424	26,851,678	—	1,266,584	2,123,439	—	318,508	1,336,501	—	854,117	31,165,735
月 平 均	389,209	674,234	652,831	348,247	141,000	32,119	2,237,640	—	105,549	176,953	—	26,542	111,375	—	71,176	2,597,145
日 平 均	12,796	22,167	21,463	11,449	4,636	1,056	73,566	—	3,470	5,818	—	873	3,662	—	2,340	85,386
前 年 度	4,774,852	7,726,442	7,898,947	4,209,068	1,653,721	377,361	26,640,391	—	1,371,560	2,062,141	—	304,102	1,311,501	—	870,687	30,884,720
対前年比	97.8%	104.7%	99.2%	99.3%	102.3%	102.1%	100.8%	—	92.3%	103.0%	—	104.7%	101.9%	—	98.1%	100.9%

月	戸 隠 鬼 無 里 大 岡	信州新町	中 条	合 計 (旧簡水)	全地区合計			
					配水量	日平均		
4	39,260	34,106	12,300	40,088	20,200	145,954	2,683,997	89,467
5	40,728	29,719	10,863	40,416	19,993	141,719	2,755,883	88,899
6	38,595	27,534	11,461	39,590	20,188	137,368	2,708,834	90,294
7	40,820	27,811	12,017	42,164	22,491	145,303	2,840,433	91,627
8	43,856	28,797	12,496	47,467	22,424	155,040	2,868,547	92,534
9	40,494	30,246	11,192	42,007	20,247	144,186	2,699,381	89,979
10	41,198	29,450	9,136	40,968	21,058	141,810	2,760,136	89,037
11	39,850	30,315	8,649	39,355	20,565	138,734	2,690,847	89,695
12	42,342	29,408	7,999	41,155	21,097	142,001	2,798,937	90,288
1	45,407	30,011	8,511	42,591	20,190	146,710	2,780,629	89,698
2	43,353	28,517	7,649	39,604	16,473	135,596	2,548,646	91,023
3	48,283	31,013	8,670	43,558	18,486	150,010	2,753,896	88,835
合 計	504,186	356,927	120,943	498,963	243,412	1,724,431	32,890,166	—
月 平 均	42,016	29,744	10,079	41,580	20,284	143,703	2,740,847	—
日 平 均	1,381	978	331	1,367	667	4,724	90,110	—
前 年 度	514,930	401,753	126,688	505,837	243,268	1,792,477	32,677,196	—
対前年比	97.9%	88.8%	95.5%	98.6%	100.1%	96.2%	100.7%	—

参考	昨年度	1 日最大配水量（全地区）		総配水量の増減率	100.7%
		6 月11日	95,836 m ³		
	1 月17日	長野	78,934 m ³	32,890,166 m ³	6 年度
		松代	5,778 m ³		
		若穂	3,946 m ³		
		豊野	2,408 m ³		
		戸隠	1,353 m ³		
		鬼無里	919 m ³		
		大岡	406 m ³		
		信州新町	1,384 m ³		
		中条	708 m ³		
		718 m ³			
				</	

総配水量の増減率 100.7%

6 年度	32,890,166 m ³
5 年度	32,677,196 m ³

1) 1 日最大配水量及び平均配水量の推移

年 度 項 目		30		元		2		3		4		5		6	
		数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 値	対 前年比	数 値	対 前年比
水 量	配 水 能 力 (A) m ³ /日	165,039	100.0	165,039	100.0	165,039	100.0	165,030	100.0	190,548	115.5	190,548	100.0	190,548	100.0
	一日最大配水量(B) m ³ /日	102,544	100.3	99,244	96.8	99,367	100.1	100,067	100.7	100,139	100.1	95,298	95.1	95,836	100.6
	一日平均配水量(C) m ³ /日	91,995	99.9	90,703	98.6	91,120	100.4	91,160	100	90,375	99.1	89,281	98.8	90,110	100.6
比 率	最大稼働率 (B) (A) %	62.1%		60.1%		60.2%		60.6%		52.6%		50.0%		50.3%	
	施設利用率 (C) (A) %	55.7%		55.0%		55.2%		55.2%		47.4%		46.9%		47.3%	
	負 荷 率 (C) (B) %	89.7%		91.4%		91.7%		91.1%		90.2%		93.7%		94.0%	

2) 月別 1 日最大・最小配水量

月	日 付	最大配水量	最高気温	日 付	最小配水量	最高気温
4	25 日	93,631 m ³	21.5 °C	30 日	86,258 m ³	22.5 °C
5	22 日	91,198 m ³	27.5 °C	31 日	86,113 m ³	21.6 °C
6	11 日	95,836 m ³	30.9 °C	23 日	84,222 m ³	24.4 °C
7	23 日	95,707 m ³	35.9 °C	14 日	84,052 m ³	25.9 °C
8	8 日	95,555 m ³	32.4 °C	15 日	87,495 m ³	33.0 °C
9	5 日	94,523 m ³	32.4 °C	22 日	83,831 m ³	26.9 °C
10	31 日	92,012 m ³	18.1 °C	19 日	86,264 m ³	26.6 °C
11	8 日	91,636 m ³	13.4 °C	2 日	85,823 m ³	16.1 °C
12	19 日	93,831 m ³	3.5 °C	7 日	86,293 m ³	3.2 °C
1	22 日	92,928 m ³	9.1 °C	2 日	84,319 m ³	5.4 °C
2	19 日	93,634 m ³	1.1 °C	8 日	88,017 m ³	-0.4 °C
3	6 日	91,255 m ³	6.9 °C	29 日	85,251 m ³	7.9 °C

3) 配水量・有効水量・無効水量の内訳

(単位：人・m³・%)

区分 年度	給水人口	配水量	有効水量							無効水量	率	
			有収水量	率	有収水量の内訳			無収水量	率			合計
					料金水量	率	事業用水量					
2	267,895	33,258,878	28,542,826	85.8	100	—	—	1,257,672	3.8	29,800,498	89.6	10.4
3	266,017	33,273,301	28,523,729	85.7	100	—	—	1,041,438	3.1	29,565,167	88.9	11.1
4	263,563	32,986,969	28,149,496	85.3	100	—	—	932,236	2.8	29,081,732	88.2	11.8
5	261,167	32,677,196	27,928,746	85.5	100	—	—	891,995	2.7	28,820,741	88.2	11.8
6	259,125	32,890,166	28,074,334	85.4	100	—	—	935,624	2.8	29,009,958	88.2	11.8

※平成29年度から、有収水量には他会計から収入のあった事業用水量を含む。

4) 無収水量の内訳

(単位：m³・%)

区分 年度	無 収 水 量		無 収 水 量 の 内 訳							
			メーター不感水量		局事業用水量	消防用等水量		災害減免水量		
2	1,257,672	100.0	573,452	45.6	585,506	46.6	1,444	0.1	97,270	7.7
3	1,041,438	100.0	572,680	55.0	429,674	41.2	1,698	0.2	37,386	3.6
4	932,236	100.0	565,887	60.7	363,250	39.0	1,412	0.1	1,687	0.2
5	891,995	100.0	561,258	63.0	329,175	36.9	1,561	0.1	1	0.0
6	935,624	100.0	563,892	60.3	369,654	39.5	2,028	0.2	50	0.0

※調定減額水量は、無効水量で集計

5) 無効水量の内訳

(単位：m³・%)

区分 年度	無 効 水 量		無 効 水 量 の 内 訳		
			無 効 水 量	不 明	水
2	3,458,380	100.0	調定減額水量	3.6	3,333,508
3	3,708,134	100.0	124,872	3.0	96.4
4	3,905,237	100.0	110,254	3.7	97.0
5	3,856,455	100.0	144,865	3.5	96.3
6	3,880,208	100.0	134,144	3.1	96.5
			120,277	3,759,931	96.9

6) 温度と配水量の関係

R 2年度～R 6年度

項目 月	年度	配 水 量			真夏日（一日 の最高気温30 ℃以上）		夏日（一日の 最高気温25℃ 以上）		真冬日（一日 の最高気温 0 ℃未満）		冬日（一日の 最低気温 0℃ 未満）		各月一日 当たり平 均気温
		総配水量（m³）	R 2年度比 （％）	一日当たり平 均配水量（m³）	日 数 （日）	平 年 （日）	日 数 （日）	平 年 （日）	日 数 （日）	平 年 （日）	日 数 （日）	平 年 （日）	
4	2	2,627,634	100.0	87,588	0		1		0		1		8.6
	3	2,711,392	103.2	90,380	0		0		0		3		10.7
	4	2,678,190	101.9	89,273	0	0.1	6	1.9	0	0.0	1	3.1	12.3
	5	2,607,049	99.2	86,902	0		4		0		0		12.0
	6	2,683,997	102.1	89,467	0		7		0		0		14.5
5	2	2,727,682	100.0	87,990	1		17		0		0		17.7
	3	2,777,898	101.8	89,610	0		7		0		0		16.3
	4	2,768,702	101.5	89,313	2	1.4	14	11.6	0	0.0	0	0.0	16.3
	5	2,681,802	98.3	86,510	3		10		0		0		16.3
	6	2,755,883	101.0	88,899	3		18		0		0		17.2
6	2	2,695,984	100.0	89,866	6		23		0		0		21.8
	3	2,736,586	101.5	91,220	2		27		0		0		20.9
	4	2,788,971	103.4	92,966	11	3.6	19	19.1	0	0.0	0	0.0	21.4
	5	2,646,135	98.2	88,205	4		20		0		0		21.0
	6	2,708,834	100.5	90,294	10		22		0		0		21.4
7	2	2,765,573	100.0	89,212	3		26		0		0		22.9
	3	2,880,264	104.1	92,912	19		29		0		0		25.0
	4	2,876,945	104.0	92,805	23	15.3	31	27.8	0	0.0	0	0.0	25.6
	5	2,804,397	101.4	90,464	23		31		0		0		25.9
	6	2,840,433	102.7	91,627	17		31		0		0		25.5
8	2	2,929,338	100.0	94,495	28		31		0		0		27.2
	3	2,876,419	98.2	92,788	22		28		0		0		25.7
	4	2,843,975	97.1	91,741	20	21.1	30	29.2	0	0.0	0	0.0	25.7
	5	2,832,310	96.7	91,365	31		31		0		0		28.2
	6	2,868,547	97.9	92,534	27		31		0		0		27.0
9	2	2,759,907	100.0	91,997	10		20		0		0		22.7
	3	2,699,542	97.8	89,985	2		22		0		0		21.0
	4	2,696,812	97.7	89,894	12	5.9	24	18.5	0	0.0	0	0.0	22.5
	5	2,664,516	96.5	88,817	19		28		0		0		24.5
	6	2,699,381	97.8	89,979	17		27		0		0		24.6
10	2	2,817,454	100.0	90,886	0		1		0		0		13.5
	3	2,816,173	100.0	90,844	0		10		0		0		15.2
	4	2,793,259	99.1	90,105	0	0.2	4	2.4	0	0.0	0	0.0	13.6
	5	2,741,928	97.3	88,449	0		1		0		0		14.1
	6	2,760,136	98.0	89,037	0		10		0		0		17.5
11	2	2,696,153	100.0	89,872	0		1		0		1		8.9
	3	2,686,351	99.6	89,545	0		0		0		4		8.6
	4	2,656,889	98.5	88,563	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	4.6	9.6
	5	2,655,810	98.5	88,527	0		0		0		5		8.8
	6	2,690,847	99.8	89,695	0		0		0		0		9.3
12	2	2,884,611	100.0	93,052	0		0		2		20		2.0
	3	2,846,665	98.7	91,828	0		0		5		24		2.1
	4	2,760,344	95.7	89,043	0	0.0	0	0.0	0	1.0	23	22.4	2.4
	5	2,798,603	97.0	90,278	0		0		0		20		3.6
	6	2,798,937	97.0	90,288	0		0		0		22		1.7
1	2	2,896,206	100.0	93,426	0		0		2		28		0.2
	3	2,886,498	99.7	93,113	0		0		6		30		△1.5
	4	2,804,050	96.8	90,453	0	0.0	0	0.0	3	2.8	29	28.8	△0.1
	5	2,838,297	98.0	91,558	0		0		1		27		0.7
	6	2,780,629	96.0	89,698	0		0		0		30		0.8
2	2	2,612,294	100.0	93,296	0		0		0		25		2.1
	3	2,567,067	98.3	91,681	0		0		4		28		△0.7
	4	2,584,248	98.9	89,112	0	0.0	0	0.0	1	1.3	24	25.4	1.0
	5	2,621,761	100.4	93,634	0		0		0		26		2.5
	6	2,548,646	97.6	91,023	0		0		2		26		△0.2
3	2	2,846,042	100.0	91,808	0		0		0		11		7.4
	3	2,788,446	98.0	89,950	0		0		0		14		5.6
	4	2,734,584	96.1	88,212	0	0.0	0	0.0	0	0.1	10	18.4	8.3
	5	2,784,588	97.8	89,825	0		0		0		17		4.0
	6	2,753,896	96.8	88,835	0		1		0		12		5.8
計	2	33,258,878	100.0	91,120	48		120		4		86		
	3	33,273,301	100.0	91,160	45		123		15		103		
	4	32,986,969	99.2	90,375	68	47.6	128	110.5	4	5.2	87	102.6	
	5	32,677,196	98.3	89,281	80		125		1		95		
	6	32,890,166	98.9	90,110	74		147		2		90		

※ 平年値は、1991年（H 3年）～2020年（R 2年）の30年間平滑平年値である。

(5) 量水器

① 年度別量水器取付・取替工事

(単位：件)

項目 年度	設置数	取替数	取 替 数 の 内 容									
			直 営					委 託				
			計画 取替	不進行 破 損	計	位置 変更	ボックス 取替	計画 取替	不進行 破 損	計	位置 変更	ボックス 取替
元	137,832	25,707	1	127	128	0	0	25,527	52	25,579	40	212
2	138,499	10,593	5	176	181	0	0	10,400	12	10,412	21	198
3	138,992	22,440	7	186	193	0	0	22,229	18	22,247	34	169
4	139,539	19,620	1	76	77	1	0	19,513	30	19,543	21	168
5	140,137	15,591	12	97	109	1	7	15,425	57	15,482	16	187
6	141,578	15,596	5	48	48	0	1	12,778	79	12,857	7	148

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

② 口径別設置個数

(単位：個)

口径 年度	13	20	25	30	40	50	75	100	150	200	350	計
元	83,471 (60.56)	48,113 (34.91)	4,394 (3.19)	103 (0.07)	1,048 (0.76)	532 (0.39)	133 (0.10)	32 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	137,832 (100%)
2	83,135 (60.03)	49,098 (35.45)	4,401 (3.18)	114 (0.08)	1,045 (0.75)	536 (0.39)	133 (0.10)	31 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	138,499 (100%)
3	82,958 (59.69)	49,756 (35.80)	4,405 (3.17)	123 (0.09)	1,043 (0.75)	537 (0.39)	134 (0.10)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	138,992 (100%)
4	82,776 (59.32)	50,481 (36.18)	4,406 (3.16)	124 (0.09)	1,049 (0.75)	533 (0.38)	134 (0.10)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	139,539 (100%)
5	82,687 (59.00)	51,147 (36.50)	4,422 (3.16)	131 (0.09)	1,046 (0.75)	535 (0.38)	133 (0.10)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	140,137 (100%)
6	83,239 (58.79)	51,998 (36.73)	4,453 (3.15)	134 (0.09)	1,046 (0.74)	540 (0.38)	132 (0.09)	30 (0.02)	4 (-)	1 (-)	1 (-)	141,578 (100%)

(6) 給水装置工事及び公道修繕実施状況

(単位：件)

項目 年度	給水装置工事	公 道 修 繕					
		直 営		委 託		計	
		送・配水管	給 水 管	送・配水管	給 水 管		
元	1,463	14	324	105	546	989	
2	1,442	14	271	77	454	816	
3	1,472	20	258	79	461	818	
4	1,268	16	282	81	421	800	
5	1,222	12	313	85	426	836	
6	1,222	19	217	84	374	694	

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(7) 給水栓における苦情（処理）件数

項目 年度	出水不良	赤水濁度	異臭味	固形物	その他	計
元	53	25	0	8	58	144
2	43	28	1	9	62	143
3	39	39	2	14	39	133
4	37	94	16	6	43	196
5	48	107	27	2	44	238
6	46	70	29	16	54	215

(注) 水道維持課分、浄水課南部出張所含む。

(8) 漏水調査及び内訳

① 音聴調査

区分 項目 年度	直 営 分				委 託 分			
	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件 数	推定漏水量 m ³ /h	調査延長 km	調査件数	漏水発見 件 数	推定漏水量 m ³ /h
元	117.4	5,268	392	221.376	394.7	28,787	96	25.873
2	108.9	4,009	471	172.100	251.0	25,176	57	14.458
3	192.9	4,564	411	233.086	244.0	27,398	58	22.298
4	251.9	5,599	433	354.190	118.5	14,892	55	12.268
5	239.8	6,713	310	513.800	264.6	23,426	82	29.408
6	186.3	5,909	293	299.702	286.1	36,175	152	33.606

② 漏水調査・修繕状況 注¹：調査件数に宅内分を除く

区分	直 営 分 (漏調＋維持 [直営・緊急])										委 託 分 (音聴調査)												
	項目	調査延長 km	給・配水管			弁・栓・量水器			小 計			流量測定 箇所	調査延長 km	給・配水管			弁・栓・量水器			小 計			水圧測定 箇所
			調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h	調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h	調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h			調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h	調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h	調査 件数 件	漏水 件数 件	推定水量 m³/h	
	4	28.7	22	19	24.520	1663	7	1.140	1,685	26	25.660	1	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	5	12.9	15	11	8.860	749	4	0.960	764	15	9.820	2	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	6	18.8	28	22	37.830	403	2	0.400	431	24	38.230	2	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	7	14.3	38	21	24.080	151	5	0.840	189	26	24.920	4	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	8	19.5	50	31	58.600	408	3	2.860	458	34	61.460	1	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	9	27.2	29	31	27.540	529	8	4.060	558	39	31.600	4	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0
	10	16.3	20	16	13.820	256	7	2.680	276	23	16.500	5	9.3	1	1	0.600	1,610	5	5.720	1,611	6	6.320	0
	11	11.1	21	16	12.185	416	10	2.865	437	26	15.050	0	129.24	11	11	8.500	17,862	26	1,560	17,873	37	10.060	0
	12	18.4	24	22	12.657	276	7	3.384	300	29	16.041	0	147.58	38	38	13.730	16,653	71	3,496	16,691	109	17.226	0
	1	6.8	22	15	20.700	344	11	15.000	366	26	35.700	1	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0
	2	7.2	17	2	2.000	275	3	2.701	292	5	4.701	1	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0
	3	5.0	27	18	19.660	126	2	0.360	153	20	20.020	5	0	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000	0
	計	186.3	313	224	262.452	5,536	69	37.250	5,909	293	299.702	26	286.1	50	50	22.830	36,125	102	10,776	36,175	152	33.606	0

※年間漏水防止水量 約 794,954 m³

[うち委託分 約 147,598 m³]

[うち直営分 約 647,356 m³]

委託分 (年間漏水防止水量＝防止水量×24時間×183日)

直営分 (年間漏水防止水量＝防止水量×24時間×90日) で計算

③ 「地下」漏水防止状況

種別 項目 月	漏水防止状況				計	
	直 営 分		委 託 分		計	
	修繕件数 件	防止水量 m ³ /h	修繕件数 件	防止水量 m ³ /h	修繕件数 件	防止水量 m ³ /h
4	26	25.660	0	0.000	26	25.660
5	15	9.820	0	0.000	15	9.820
6	24	38.230	0	0.000	24	38.230
7	26	24.920	0	0.000	26	24.920
8	34	61.460	0	0.000	34	61.460
9	39	31.600	0	0.000	39	31.600
10	23	16.500	6	6.320	29	22.820
11	26	15.050	37	10.060	63	25.110
12	29	16.041	109	17.226	138	33.267
1	26	35.700	0	0.000	26	35.700
2	5	4.701	0	0.000	5	4.701
3	20	20.020	0	0.000	20	20.020
計	293	299.702	152	33.606	445	333.308

(9) 薬品使用量

① パック年間使用量

(単位：kg・mg／ℓ・円)

浄水場 年度	長 野 県 地 区				松代・若穂地区				中 条 地 区				合 計			
	夏 目 ケ 原				犀 川											
	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額	
	3	346,588	31.46	10,408,035	176,086	36.97	5,287,872	2,805	—	235,841	1,937	—	96,855	527,416	16,028,603	
4	390,918	29.65	13,674,299	194,834	31.87	6,815,286	3,268	—	251,236	2,066	—	227,260	591,086	—	20,968,081	
5	354,754	32.79	14,438,494	249,977	29.20	10,174,076	3,058	—	268,683	2,040	—	348,920	609,829		25,230,173	
6	370,479	27.91	16,301,087	177,852	31.23	7,825,484	2,268	—	199,446	2,174	—	280,498	552,774	—	24,606,514	

② 次亜塩素酸ナトリウム年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	長野地区								
	川合新田			犀川			夏目ヶ原		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
3	31,665	0.42	2,856,138	119,383	1.25	6,172,117	135,712	1.23	7,016,305
4	25,595	0.42	2,449,480	127,298	1.44	7,281,440	142,683	1.08	8,161,459
5	26,832	0.41	2,744,873	150,048	1.30	9,573,088	128,020	1.18	8,167,703
6	27,119	0.41	2,774,294	117,598	1.09	7,502,733	140,374	1.06	8,955,857
浄水場 年度	長野地区								
	往生地			飯綱			上野配水池		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
3	2,270	0.12	237,215	4,500	1.27	789,799	1,572	0.07	363,155
4	7,893	0.20	868,252	5,040	1.28	1,094,551	1,968	0.09	476,232
5	5,204	0.12	606,780	4,370	1.37	834,874	2,317	0.10	586,150
6	6,484	0.16	756,006	4,350	1.32	888,003	1,776	0.08	449,227
浄水場 年度	長野地区			松代地区			若穂地区		
	蚊里田配水池								
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
3	—	—	—	9,838	0.80	1,563,501	5,147	0.41	874,585
4	1,824	0.10	441,360	11,218	0.78	1,802,570	6,350	0.54	1,063,978
5	1,728	0.10	437,159	9,445	0.78	1,594,611	4,390	0.49	854,217
6	1,737	0.10	439,562	8,762	0.78	1,500,022	4,393	0.48	855,847
浄水場 年度	豊野地区			戸隠地区			鬼無里地区		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
3	5,690	0.58	785,463	3,880	—	966,120	1,980	—	492,535
4	5,566	0.59	798,999	3,790	—	966,900	2,240	—	458,622
5	5,573	0.60	836,846	4,100	—	1,082,180	2,158	—	456,296
6	5,606	0.62	872,527	4,164	—	1,095,028	2,062	—	442,345
浄水場 年度	大岡地区			信州新町地区			中条地区		
	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額	使用量	注入率	金額
3	1,430	—	357,650	5,434	—	1,199,426	2,690	—	599,143
4	1,329	—	345,540	6,191	—	1,440,860	3,374	—	801,280
5	1,265	—	465,690	5,458	—	1,869,690	3,205	—	1,114,220
6	1,327	—	358,344	6,352	—	1,523,685	3,250	—	784,674
浄水場 年度	合計								
	使用量	注入率	金額						
3	331,190	—	24,273,152						
4	352,359	—	28,451,523						
5	354,114	—	31,224,377						
6	335,354	—	29,198,154						

③ 水道用消石灰年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	犀 川		
	使用量	注入率	金 額
3	25,750	5.40	1,090,496
4	13,296	4.85	577,707
5	14,508	4.82	678,226
6	26,758	5.30	1,306,866

④ 水道用液体苛性ソーダ年間使用量

(単位：kg・mg/ℓ・円)

浄水場 年度	犀 川		
	使用量	注入率	金 額
3	0	—	0
4	872	0.03	51,288
5	491	0.05	59,357
6	626	0.02	42,666

⑤ 水道用ソーダ灰年間使用量

(単位：kg・円)

浄水場 年度	夏 目 ケ 原		
	使用量	注入率	金 額
3	874	0.08	67,267
4	2,179	0.17	203,707
5	896	0.02	61,100
6	1,212	0.09	146,507

⑥ 水道用活性炭年間使用量

(単位：kg・円)

浄水場 年度	犀 川			夏 目 ケ 原		
	使用量	注入率	金 額	使用量	注入率	金 額
3	25,790	5.42	5,248,326	6,072	0.55	1,268,985
4	0	0	0	2,860	0.22	607,093
5	2,400	0.28	514,800	5,080	0.47	1,134,275
6	1,059	0.19	237,684	4,523	0.34	1,109,369

(10) 動力用電力使用量及び料金

(電力量 単位：kw) (料金 単位：円)

計 年度	① 長野地区計						② 西山地区計					
	電 力 量			料 金			電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	11,429,661	100.56	31,370	210,822,871	111.56	579,036	814,830	97.19	2,232	17,859,275	107.30	48,929
4	9,975,489	87.28	27,330	269,082,419	127.63	737,212	839,790	103.06	2,303	24,739,385	138.52	67,781
5	10,235,658	102.61	27,966	237,177,866	88.14	648,027	897,541	106.88	2,451	20,999,434	84.88	57,376
6	11,519,918	112.55	31,561	262,295,536	110.59	718,618	977,968	108.96	2,678	25,129,292	119.67	68,850

計 年度	③ 松代地区計						④ 若穂地区計					
	電 力 量			料 金			電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	1,292,672	107.58	3,542	23,520,370	118.01	64,439	580,114	106.83	1,589	11,185,658	116.39	30,646
4	1,401,967	108.45	3,841	36,399,688	154.76	99,725	556,899	96.00	1,526	14,728,927	131.68	40,353
5	1,468,042	104.71	4,011	30,084,699	82.65	82,199	419,958	75.41	1,147	9,448,181	64.14	25,815
6	1,519,975	103.54	4,164	33,872,932	112.59	92,803	436,897	104.03	1,197	11,193,026	118.47	30,666

計 年度	⑤ 豊野地区計						⑥ 戸隠地区計					
	電 力 量			料 金			電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	594,486	99.65	1,628	11,621,994	116.81	31,841	138,527	117.90	380	4,299,079	116.76	11,778
4	576,320	96.94	1,579	15,865,830	136.52	43,469	153,250	110.63	420	5,389,291	125.36	14,765
5	550,683	95.55	1,503	12,214,411	76.99	33,372	150,137	97.97	410	4,377,273	81.22	11,960
6	531,658	96.55	1,456	13,033,908	106.71	35,709	150,000	99.91	411	4,969,716	113.53	13,616

計 年度	⑦ 鬼無里地区計						⑧ 大岡地区計					
	電 力 量			料 金			電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	39,093	105.25	107	1,506,330	107.72	4,127	97,447	100.21	267	3,372,039	106.95	9,238
4	45,144	115.48	124	1,778,870	118.09	4,874	103,908	106.63	285	4,097,369	121.51	11,226
5	52,429	116.14	143	1,554,040	87.36	4,246	103,496	99.60	283	3,357,977	81.95	9,175
6	47,586	90.76	130	1,668,821	107.39	4,572	97,806	94.50	268	3,688,697	109.85	10,106

計 年度	⑨ 信州新町地区計						⑩ 中条地区計					
	電 力 量			料 金			電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	913,185	98.16	2,502	17,724,769	108.83	48,561	285,215	97.26	781	6,515,051	106.64	17,849
4	933,834	102.26	2,558	25,117,541	141.71	68,815	280,156	98.23	768	8,313,985	127.61	22,778
5	851,053	91.14	2,325	18,618,806	74.13	50,871	316,016	112.80	863	7,296,707	87.76	19,936
6	811,046	95.30	2,222	20,203,390	108.51	55,352	312,066	98.75	855	8,262,363	113.23	22,637

計 年度	合 計					
	電 力 量			料 金		
	年 間	前年度 対 比	一日 平均	年 間	前年度 対 比	一日 平均
3	16,185,230	101.03	44,398	308,427,436	111.85	846,444
4	14,866,757	91.85	40,734	405,513,305	131.48	1,110,998
5	15,045,013	101.20	41,102	345,129,394	85.11	942,976
6	16,404,920	109.04	44,942	384,317,681	111.35	960,239

4 水道施設

(1) 導水管 (路) 布設延長 (全地区)

導水管延長 74,082m
導水管路延長 70,194m (導水管延長－隧道延長) (R 7. 3. 31現在 単位：m)

管種	ヒューム管 (HP)				鋼管 (SGP・SUS)				鑄鉄 (DCIP)								管 (PP・PE・PP・WEET)				ビニール管 (VP)				石綿管 (ACP)		和明管	隧道	計			
	1,000	500	300	200 以下	800	500	300	270	200 以下	1,000	800	700	500	400	350	300	250	200 以下	150	125	100 以下	100 以下	300	100 以下								
口徑 (mm)	95	1,077	▲ 35	2,304	9		1,326	6,580	3	374	151	96		8,037	1,574	2,292	658	5,108			▲ 58											
(2) 旧上水 道事業 地区	95	1,077	▲ 35	2,304	9		1,326	6,580	3	374	151	96		8,037	1,574	2,292	658	5,108			▲ 58											
(3) 旧簡易 水道事 業地区									2,484									382	5,729	327	16,144	11	1,288	1,028	10,259	1,090	57		38,832		713	
									2,484									382	5,729	327	16,857	11	1,288	1,028	10,259	1,090	57		39,545			
計	95	1,077	▲ 35	2,337	9		1,326	6,580	2,487	374	151	96		8,037	1,574	2,292	658	5,490	5,729	327	17,262	11	1,288	1,028	10,201	▲ 60	1,090	57	3,888	73,369		713
	95	1,077	▲ 35	2,337	9		1,326	6,580	2,487	374	151	96		8,037	1,574	2,292	658	5,490	5,729	327	17,975	11	1,288	1,028	10,201	▲ 60	1,090	57	3,888	74,082		

導水管延長 34,537m

導水管路延長 30,649m (導水管延長—隧道延長) (R7.3.31現在 單位:m)

[illegible]

(上段：既設延長、中上段：今年度布設延長、中下段：今年度除却延長、下段：現在延長)

(3) 導水管 (路) 布設延長 (旧簡易水道事業地区)

導水管路延長 39,545 m

(R 7. 3. 31現在 単位：m)

管種	ヒューム管		銅管 (SGP・SUS)							鋳鉄管 (DIP・CIP)				ポリエチレン管 (HPPE・PP・WEET)							ビニール管 (VP)							石綿管 (ACP)					不明管				計
	150	75	200	150	125	100	75	50	50 未満	150	100	75	50	50 未満	150	125	100	75	50	50 未満	200	150	125	100	75	50	50 未満	100	75	50	150	50	50 未満				
戸隠	10	23	69	218		57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309			1,519	1,650	11	467	301	1,664	1,736	414	1,057	12	861	283				12,561			
鬼無里	10	23	69	218		57	270	95	153	19	48	15	41	1,174	85	309			1,519	1,650	11	467	301	1,664	1,736	414	1,057	12	861	283				12,561			
大岡																																					
信州新町																																					
中条																																					
計	10	23	69	227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,729	327	1,865	2,346	7,527	4,406	11	1,288	1,028	4,447	3,920	833	1,059	12	795	283	5	17	35	38,832				
計	10	23	69	227	54	455	1,125	323	231	32	84	179	87	5,729	327	1,865	3,059	7,527	4,406	11	1,288	1,028	4,447	3,920	833	1,059	12	795	283	5	17	35	39,545				
	33					2,484					382					22,913							12,586					1,090		57			39,545				

(上段：既設延長、中上段：今年度布設延長、中下段：今年度除却延長、下段：現在延長)

(4) 送・配水管布設延長 (全地区)

管路延長合計 2,419,448m 配水管路延長合計 2,218,599m
 送水管路延長合計 200,849m (R7. 3. 31現在 単位：m)

管種	鋼管 (SGP)				ビニール管 (VP)				ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEET)				石綿管 (ACP)				不明管				合計			
管径 [mm]	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	今年度 既設延長① 除却延長③	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)
900	446			446	124			124									570				570			570
800	1,042			1,042													1,042				1,042			1,042
700	8,568			8,568	1,776	224	▲ 224	1,552									10,344			▲ 224	10,120			10,120
600	9,326			9,326	3,612			3,612									12,938				12,938			12,938
500	29,693	660 10	650	30,343	2,140			2,140									31,833	660 10		650	32,483			32,483
450	2,971			2,971		34	34	34									2,971	34		34	3,005			3,005
400	30,271	1,093 1,093	1,093	31,364	5,614			5,614									35,885	1,093		1,093	36,978			36,978
350	5,435			5,435	4,288			4,288									9,723				9,723			9,723
300	30,128	150	150	30,278	2,231			2,231									32,359	150		150	32,509			32,509
250	17,231			17,231	5,191			5,191									22,422				22,422			22,422
200	124,093	160 126	34	124,127	14,693			14,693				773					139,559	160 126		34	139,593			139,593
150	297,732	1,425 780	645	298,377	15,610			15,610	24,968			24,968	17,884	173		173	114		1,425 780	306,481	114		645	307,126
125	▲ 20			▲ 20	259			259	55			55	▲ 90			▲ 90				204				204
100	450,385	1,768 1,835	▲ 67	450,318	21,285	23	▲ 23	21,262	96,789	47,146	475	47,621	64			64	183			183	615,991	2,243 1,997	246	616,237
80					34,789			34,789												34,789				34,789
75	481,396	903 931	▲ 28	481,368	13,932			13,932	159,507	7	▲ 304	78,267	413			413	170			170	733,305	1,290 1,242	48	733,553
50	6,665			6,665	19,446	106	▲ 106	19,340	57,712	520	▲ 520	264,005	158			158	173			173	346,557	1,984 1,008	976	347,533
50未満	▲ 87			▲ 87	2,085			2,085	7,729	472	▲ 472	19,514	▲ 9				54			54	29,304	23 504	▲ 481	28,823
合計	1,495,275	6,159 3,682	2,477	1,497,752	147,075	34 353	▲ 319	146,756	346,999	7 1,442	▲ 1,435	425,064	718			718	694			694	2,416,277	9,062 5,891	3,171	2,419,448

(5) 送・配水管布設延長 (旧上水道事業地区)

管路延長合計 1,865,143m 配水管路延長合計 1,752,102m
送水管路延長合計 113,041m (R7. 3. 31現在 単位：m)

管種	鑄鉄管 (DIP, CIP)				鋼 管 (SGP, SUS)				ビニール管 (VP)				ポリエチレン管 (PPE, HPE)				石綿管 (ACP)				合 計			
管径 [mm]	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)	既設延長 ①	今年度 布設延長② 除却延長③	今年度 実質延長 ④	計 (①+④)
900	446			446	124			124									570				570			
800	1,042			1,042													1,042				1,042			
700	8,588			8,588	1,776		▲ 224	1,552									10,344		224	▲ 224	10,120			
600	9,326			9,326	3,612			3,612									12,938				12,938			
500	29,693	660 10	650	30,343	2,140			2,140									31,893	660 10	650	32,483	31,893			
450	2,971			2,971		34	34	34									2,971			34	3,005			
400	30,271	1,093	1,093	31,364	5,614			5,614									35,885	1,093	1,093	36,978	35,885			
350	5,455			5,455	4,288			4,288									9,723				9,723			
300	30,128	150	150	30,278	2,231			2,231									32,359	150	150	32,509	32,359			
250	17,231			17,231	5,191			5,191									22,422				22,422			
200	123,308	160 126	34	123,342	13,692			13,692		23		23					137,023	160 126	34	137,057	137,023			
150	282,217	1,425 780	645	282,862	14,278			14,278	30	2,972		2,972					299,497	1,425 780	645	300,142	299,497			
125	▲ 20			▲ 20	43			43									▲ 90				▲ 90			
100	425,154	1,768 1,835	▲ 67	425,087	18,224		▲ 23	18,201	8,409								464,190				464,190			
80					34,789			34,789									34,789				34,789			
75	458,893	903 931	▲ 28	458,865	▲ 162			▲ 162	35,227								504,357				504,357			
50	2,576			2,576	15,322			15,322	35,137								262,265				262,265			
50未満																								
合計	1,427,239	6,159 3,682	2,477	1,429,716	121,162	34 353	▲ 919	120,843	76,682								1,861,963				1,861,963			

(6) 送・配水管布設延長 (旧簡易水道事業地区)

管路延長合計 554,305m 配水管路延長合計 466,497m
 送水管路延長合計 87,808m (R7. 3. 31現在 単位：m)

管種	鑄鉄管 (DIP・CIP)	鋼 (SGP・SUS)				ビニール管 (VP)				ポリエチレン管 (PP・HPPE・WEET)				石綿管 (ACP)				不 明 管				合 管	計
		既設延長①	布設延長②	実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	布設延長②	実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	布設延長②	実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	布設延長②	実質延長④	計 (①+④)	既設延長①	布設延長②	実質延長④	計 (①+④)		
管径 [mm]																							
200	785	1,001		785	1,001								750								2,536	2,536	
150	15,515	1,332		15,515	1,332					24,938			14,912					173	114		114	56,984	56,984
125		216			216					55											271	271	271
100	25,231	3,061		25,231	3,061					88,519			34,743					64	183		183	151,801	151,801
75	22,503	14,094		22,503	14,094					124,280	▲ 237	237	67,488	237	237			413	170		170	228,948	228,948
50	4,089	4,124		4,089	4,124					24,575			51,173					158	173		173	84,292	84,292
50未満	▲ 87	2,085		▲ 87	2,085					7,850			19,580	23	▲ 9				54		54	29,473	29,473
合計	68,086	25,913		68,086	25,913					270,217	▲ 237	237	188,646	260	228			808	694		694	554,305	554,305

(7) 各地区の水道施設

① 長野地区

() 内は施設の管理担当課

浄：浄水課 維：水道維持課

北部：水道維持課北部出張所

南部：浄水課南部出張所

西部：水道維持課西部出張所

戸 隠 水 源 (北部)		導 水 管	延長
貯 水 池	総貯水量	225,100m ³	2,198m
	有効容量	217,900m ³	φ 250mm 286m
	取 水 塔	1 基	φ 200mm 792m
	最大水深	11.7m	φ 150mm 40m
			φ 200mm 1,080m
		往 生 地 浄 水 場 (浄)	
導 水 管 内 訳 ヒ ュ ー ム 管 鋼 管 “ 鋳 鉄 管 “	延 長	16,172m	着 水 井
	φ 500mm	1,077m	容 量
	φ 300mm	1,326m	池 数
	φ 270mm	6,604m	緩 速 ろ 過 池
	φ 400mm	7,112m	1 池 当 面 積
マイクrostレーナー 処 理 水 量 ド ラ ム 寸 法 マ イ ク ロ 網 パ イ ロ ッ ト 網 電 動 機 出 力 回 転 数 減 速 機 方 式 減 速 比	φ 300mm	53m	池 数
			総 ろ 過 面 積
	5,800m ³ /日 (回転数5.2~0.9rpm 週速 32.6~5.4m/分)		配 水 池
	φ 2,000×2,400mm		容 量
	510メッシュ		池 数
洗 浄 用 ポ ン プ 型 式 口 径 揚 程 揚 水 量 電 動 機 出 力	4.5メッシュ		容 量
	2.2kW		池 数
	1.750rpm		池 数
	インバーター電動機直結サイクル 1/43		総 容 量
			送 水 ポ ン プ
間欠式空気揚水筒 型 式 口 径 コンプレッサー	水中モーターポンプ		型 式
	50mm		口 径
	20m		揚 程
	0.26m ³ /min		揚 水 量
	2.2kW		電 動 機 出 力
越 水 水 源 池	標準単筒型		台 数
	φ 500 L=5.0m		貯 水 槽
	吐出空気量		
	840ℓ/分 出力 7.5kW		
		次亜塩素酸ソーダ注入モノポンプ	
		7~270ml/分	
		2 台	
		1.5m ³ ×2 槽	
		ベルトコンベアー	
		電 動 機 出 力	
		1 kW	
		全 長	
		7 m	
		台 数	
		7 台	

可搬式発電機		夏目ヶ原浄水場（浄）			
原動機		取水ポンプ井			
型式	水冷4サイクル直接噴射式過給機給気冷却器付	容量		115m ³	
出力	61kW／1,800rpm	池数		115m ³ ×1池	
種別	ディーゼルエンジン				
台数	1台	着水井			
発電機		容量		224m ³	
型式	三相・単相3線同時使用機	池数		224m ³ ×1池	
容量	60kVA				
電圧	単相3線式110-220V、三相4線式220-440V	混和池			
周波数	60Hz	容量		88m ³	
回転数	1,800 rpm	池数		22m ³ ×4池	
裾花水源（浄）		フロック形成池			
沈砂池		容量		1,424m ³	
湯の瀬		池数		356m ³ ×4池	
型式	横流沈殿式				
容量	1,372m ³	薬品沈殿池			
池数	686m ³ ×2池	型式	横流沈殿式	10,296m ³	
		容量		54,250m ³ ／日	
里島		処理能力		2,574m ³ ×4池	
型式	横流沈殿式	池数			
容量	1,072m ³	急速ろ過池			
池数	536m ³ ×2池	型式	重力式急速ろ過池		
導水管	延長	1池当面積		33.3m ²	
湯の瀬		池数		12池	
铸铁管	φ1,000mm	総ろ過面積		400m ²	
〃	φ800mm	1日当ろ過量		54,250m ³	
鋼管	φ800mm	集水装置	有孔ブロック型		
ヒューム管	φ1,000mm	操作方式	電動弁式		
		洗浄方式	固定表洗及び逆洗併用水洗浄		
導水路（隧道）		配水池			
湯の瀬～里島		容量		2,300m ³	
型式	馬蹄型	池数		1,150m ³ ×2池	
延長	2,648m	容量		7,200m ³	
勾配	1／600	池数		3,600m ³ ×2池	
		容量		5,000m ³	
里島～夏目		池数		2,500m ³ ×2池	
型式	馬蹄型	容量		6,000m ³	
延長	1,240m	池数		6,000m ³ ×1池	
勾配	1／1,240	容量		6,000m ³	
		池数		6,000m ³ ×1池	
		総容量		26,500m ³	

洗 浄 水 槽			排 泥 掻 寄 機		
容 量	320m ³		型 式	水没式	
池 数	160m ³ ×2池		電 動 機 出 力	0.75kW	
			台 数	8 台	
排 泥 池			薬 品 注 入 設 備		
容 量	2,040m ³		パ ッ ク 貯 槽		
池 数	1,740m ³ ×1池		容 量	40m ³	
	300m ³ ×1池		槽 数	20m ³ ×2 槽	
排 泥 管			パ ッ ク 注 入 機		
鑄 鉄 管	φ350	2,642m	容 量	3.41ℓ／分	
			電 動 機 出 力	3.7kW	
取 水 ポ ン プ			台 数	3 台	
型 式	立軸斜流ポンプ		活 性 炭 ・ ソ ー ダ 灰 注 入 機		
口 径	400mm		容 量	120・300kg／時間	
揚 程	16.5m		電 動 機 出 力	1.5kW	
揚 水 量	30,000m ³ ／日		台 数	3 台	
電 動 機 出 力	85kW		注 入 ポ ン プ		
台 数	3 台		容 量	200ℓ／分	
			電 動 機 出 力	3.7kW	
送 水 ポ ン プ			次亜塩素注入設備		
型 式	水中モーターポンプ		貯 蔵 槽	10m ³ 2 基	
口 径	250mm		前次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.048～0.655ℓ／分	
揚 程	40m			電動機 0.4kW 1 台	
揚 水 量	10,800m ³ ／日		中・後次亜注入ポンプ	一軸偏心ポンプ 0.097～2.083ℓ／分	
電 動 機 出 力	75kW			電動機 0.4kW 2 台	
台 数	2 台			一軸偏心ポンプ 0.029～0.328ℓ／分	
				電動機 0.4kW 1 台	
送 水 ポ ン プ			苛性ソーダ注入設備		
(平柴配水池)			貯 留 槽	5.2m ³ 1 基	
型 式	水中モーターポンプ		注 入 ポ ン プ	ダイヤフラムポンプ 540ml／分	
口 径	65mm			電動機 0.062kW 2 台	
揚 程	78m			ダイヤフラムポンプ 360ml／分	
揚 水 量	1,010m ³ ／日			電動機 0.062kW 1 台	
電 動 機 出 力	15kW				
台 数	2 台		非常用自家発電設備		
			原 動 機		
沈 殿 池 設 備			型 式	単純開放サイクル1軸式	
急 速 攪 拌 機			出 力	950PS	
電 動 機 出 力	2.2kW		種 別	ガスタービン	
台 数	4 台		回 転 数	タービン主軸31,500rpm	
緩 速 攪 拌 機			出力軸	1,800rpm	
電 動 機 出 力	3.7～0.4kW		台 数	1 台	
台 数	16台		発 電 機		
			型 式	同期発電機	
			容 量	750kVA	

電 周 回	圧 波 転	数 数 数	6,600V 60Hz 1,800rpm	電 動 機 出 力 台 数	80kW 2 台
犀 川 浄 水 場 (浄)				導 水 管	固定速
取 水 設 備 犀 川 系				鑄 鉄 管	φ 300mm 253m
				鑄 鉄 管	φ 350mm 1,432m
				”	φ 400mm 925m
				混 合 井	
				容 量	(15.9×27.4×7.2~8.4) 787.8m ³
				処 理 水 量	33,420m ³ /日
				大町ダム系	
				水 源 種 別	表 流 水
				取 水 井	
				容 量	25m ³
				池 数	25m ³ ×1 池
				導 水 管	(浄水場内)
				鑄 鉄 管	φ 700mm 14m
				沈 砂 池	
				バ ー ス ク リ ー ン	65mm
				間 隙	20mm
				容 量	400m ³
				池 数	400m ³ ×1 池
				活 性 炭 接 触 池	301m ³ ×1 池
				取 水 ポ ン プ	
				型 式	立軸斜流ポンプ
				口 径	300mm
				揚 程	10m
				揚 水 量	13.9m ³ /分
				電 動 機 出 力	37kW
				台 数	回転数制御 2 台
				水 処 理 設 備	
				着 分 水 井	
				容 量	165m ³
				池 数	165m ³ ×1 池
				急 速 混 和 池	
				容 量	34.2m ³
				池 数	34.2m ³ ×1 池
				急 速 攪 拌 機	縦軸タービン式
					電動機 3.7kW 1 台
				フ ロ ッ ク 形 成 池	
				容 量	721.4m ³
				段 数	3 段

池	数	360.7m ³ ×2池			3号機	金属抵抗器
緩速攪拌機	電動機	3.7~0.75kW	6台	(松ヶ丘系送水)		
薬品沈殿池				型	式	横軸両吸込渦巻ポンプ
型	式	横流沈殿式		口	径	250×150mm
容	量	4,480m ³		揚	程	125m
池	数	2,240m ³ ×2池		揚	水	量
処理能力		34,650m ³		電動機出力		170kW
汚泥掻寄機	型式	水中牽引式		台	数	2台
	駆動方式	2連1駆動		薬品注入設備		
	電動機	2.2kW	2台	バック注入設備		
急速ろ過池				貯	蔵	槽
型	式	重力式急速ろ過池(自己洗浄型)		注入ポンプ		15m ³ 2基
1池当面積		35.28m ²				ダイヤフラムポンプ
池	数	8池				電動機
総ろ過面積		282.24m ²		苛性ソーダ注入設備		1.9~200ℓ/分
1日当ろ過量		34,650m ³		貯	蔵	槽
集配水装置		低損失水頭形有孔ブロック		注入ポンプ		4.5m ³ 1基
操作方式		サイフォン式				ダイヤフラムポンプ
洗浄方式		水逆洗+表面洗浄(回転式)		次亜塩素素注入設備		1.9~200ℓ/分
表洗ポンプ		3.6m ³ /分 35m 37kw	2台	貯	蔵	槽
配	水			前次亜注入ポンプ		10m ³ 2基
容	量	20,000m ³				ダイヤフラムポンプ
池	数	10,000m ³ ×2池		中次亜注入ポンプ		0.6~60ℓ/分
ポンプ井		1,110m ³				電動機
				後次亜注入ポンプ		0.062kW 2台
送・配水設備						ダイヤフラムポンプ
送・配水ポンプ						電動機
(低区配水)				活性炭注入設備		1.2~120ℓ/分
型	式	横軸両吸込渦巻ポンプ		粉末活性炭溶解槽		0.062kW 2台
口	径	φ300mm×φ250mm		注入ポンプ		ダイヤフラムポンプ
揚	程	60m				電動機
電動機出力		200kW				1.2~120ℓ/分
台	数	1, 2号機 回転数制御	2台	攪	拌	機
		3, 4号機 固定速	2台			直結立型
						電動機
(夏目ヶ原送水)						4枚ピッチパドル
型	式	両吸込渦巻ポンプ				電動機
口	径	340mm		バグフィルター		3.7kW 2台
揚	程	115m				乾式粉塵除塵機
揚	水	量	24,048m ³ /日			風量 15m ³ /分
電動機出力		540kW				電動機
台	数	2台				1台
電動機出力		450kW		給水ユニット		吸引ブロワ
台	数	1台				2.2kW
起動方式		1, 2号機 液体抵抗器				自動シェーキング
						0.4kW
						受水槽一体型
						1m ³
						吐出量
						50ℓ/分
						電動機
						0.45kW 2台

天 井 ク レ ー ン	電気トロリ式電気チェーンブロック	1基	一 次 濃 縮 槽	577m ³	2 池
	定格荷重	1 t	汚 泥 掻 寄 機	0.4kW	2 台
	揚程	5 m	非常用自家発電設備		
	スパン	9.2m	1 号 自 家 発		
	巻上電動機	1.7kW	原 動 機 型 式	単純開放サイクル1軸式	
	走行電動機	0.4kW	出 力	1,860PS	
処 理 水 量	30,800m ³ /日		種 別	ガスタービン	
注 入 率	60mg/ℓ (最大)		回 転 数	タービン主軸	22,000rpm
溶解槽内濃度	スラリー	5%		出力軸	1,800rpm
運 転 方 式	2 槽交互運転方式		発 電 機 型 式	三相同期発電機	
操 作 方 式	自動連続注入方式		容 量	1,500kVA	
活性炭投入方式	クレーン投入方式		電 圧	6,600V	
活性炭注入方式	ウエット炭注入方式 (フレコンバック貯蔵方式)	50%ウエット炭	周 波 数	60Hz	
			回 転 数	1,800rpm	
侵食性遊離炭酸除去設備			2 号 自 家 発		
消 石 灰 貯 槽	鋼板製 19.4m ³	1 槽	原 動 機 型 式	単純開放サイクル1軸式	
溶 解 槽	鋼板製 51.6m ³	1 槽	出 力	1,050PS	
未 溶 物 槽	R C 造 9.6m ³	1 槽	種 別	ガスタービン	
溶 液 槽	鋼板製 42m ³	1 槽	回 転 数	タービン主軸	39,913rpm
沈 降 槽	F R P 製 55m ³	1 槽		出力軸	1,800rpm
処 理 水 量	33,420m ³ /日 (最大)		発 電 機 型 式	三相同期発電機	
消石灰注入率	19.3mg/ℓ		容 量	875kVA	
消石灰溶解濃度	1,600mg/ℓ (平均)		電 圧	6,600V	
運 転 方 式	1 槽運転方式		周 波 数	60Hz	
操 作 方 式	自動連続注入方式		回 転 数	1,800rpm	
消石灰投入方式	吸引バグフィルター方式		川 合 新 田 水 源 (浄)		
消石灰注入方式	溶液注入ポンプ方式		水 源 種 別	深井戸	
伏流水次亜塩注入設備			井 戸 本 数	350mm 50m (4号)	1 本
次亜塩貯蔵槽	P E 製 2 m ³	2 槽		350mm 40m (1～3号)	3 本
注 入 ポ ン プ	一軸偏心ポンプ 0.015～0.506ℓ/分×0.2MPa			500mm 150m (5・6号)	2 本
	電動機 0.4kW	2 台	取 水 ポ ン プ		
注 入 方 式	インゼクター方式		型 式	水中モーターポンプ (1号)	
排 水 処 理 設 備			口 径	150mm	
排 水 池	520m ³	1 池	揚 程	20m	
排水返送ポンプ	1.62m ³ /分	11kW	揚 水 量	4,810m ³ /日	
排水移送ポンプ	0.3m ³ /分	0.75kW	電 動 機 出 力	18.5kW	
			台 数	1 台	
排 泥 池	440m ³	1 池	型 式	水中モーターポンプ (2号)	
攪 拌 機	2 枚羽根1段	3.7kW	口 径	150mm	
排 泥 ポ ン プ	0.6m ³ /分	3.7kW	揚 程	15m	
			揚 水 量	4,320m ³ /日	
濃 縮 槽	760m ³	2 池	電 動 機 出 力	18.5kW	
排泥引抜ポンプ	0.6m ³ /分	3.7kW	台 数	1 台	
汚 泥 掻 寄 機	0.75kW	2 台			

緩速ろ過池		送水管	延長	2,466m
1池当面積	500㎡		鋼管	φ 250mm
池数	3池	長野運動公園緊急貯水槽（維）		
総ろ過面積	1,500㎡	構造	P C 内径 8.0m 外径8.5m 全長21.0m（有効20m） 有効容量1,000㎡ 流出管緊急遮断弁 自家用発電機6.5kVA	
浄水池		設備		
容量	1,000㎡	水道維持課（柳町）（維）		
池数	250㎡× 4池	設備	自家用発電機（電灯） 50kVA （動力） 15kVA	
送水ポンプ		若里緊急貯水槽（維）		
型式	水中モーターポンプ	構造	D I P 内径 φ 2,600mm 全長 19.28m× 3 本 有効容量300㎡ （内消防用水120㎡） サイフォンブレイク型遮断方式	
口径	100mm	設備		
揚程	130m			
揚水量	1,500㎡／日			
電動機出力	45kW			
台数	3台			
計装設備	遠方監視装置一式			
滅菌設備				
型式	次亜塩素酸ソーダ注入装置			
容量	3.8ℓ／時間（MAX）			
台数	2台			
貯蔵槽	2,000ℓ× 2槽			
ベルトコンベアー				
電動機出力	1kW			
全長	7m			
台数	6台			

② 松代地区

清 野 ポ ン プ 場 (南部) (旧 清 野 浄 水 場)		次亜塩素注入設備			
ポ ン プ 槽		型 式		液中ピストンポンプ	
容 量	288㎥	容 量		0.38㎖〜76㎖／分	
池 数	144㎥× 2 池	台 数		2 台	
送 水 ポ ン プ		注 入 方 式		取水ポンプと連動	
型 式	多段ポンプ	貯 留 槽		1 ㎥ (PVC製タンク) × 2 槽	
口 径	100mm	残 留 塩 素 計		無試薬回転電極式	
揚 水 量	1,600㎥／日	浄 水 池			
揚 程	77m	容 量		609㎥	
電 動 機 出 力	30kW	池 数		304.5㎥ × 2 池 (14.5×6.0×3.5m)	
台 数	3 台	送 水 ポ ン プ		東寺尾送水	
寺 尾 浄 水 場 (南部)		型 式		高揚程多段ポンプ	
井 戸		口 径		φ 150mm	
寺 尾 第 一 水 源	(旧寺尾第三水源)	揚 程		113m	
井 型	RC φ4,000mm	送 水 量		5,760㎥／日	
深 度	10m	電 動 機 出 力		110kW	
基 数	1 基	台 数		2 台	
寺 尾 第 二 水 源		非常用自家発電設備			
井 型	RC φ3,000mm	原 動 機			
深 度	10m	型 式		水冷式 4 サイクル	
基 数	1 基	出 力		544kW	
取 水 ポ ン プ		種 別		ディーゼルエンジン	
寺 尾 第 一 水 源		燃 料		A重油 (LSA)	
型 式	水中モーターポンプ	台 数		1 台	
口 径	100mm	発 電 機			
揚 程	20m	型 式		横軸回転界磁形同期発電機	
揚 水 量	2,700㎥／日	容 量		350kVA	
電 動 機 出 力	11kW	電 圧		6,600V	
台 数	2 台	周 波 数		60Hz	
寺 尾 第 二 水 源		回 転 数		1,800min ⁻¹	
型 式	水中モーターポンプ	豊 栄 水 源 (南部)			
口 径	100mm	導 水 管			
揚 程	20m	鋳 鉄 管		φ 75mm	327m
揚 水 量	2,700㎥／日	〃		φ 100mm	351m
電 動 機 出 力	11kW	ビ ニ ル 管		φ 75mm	857m
台 数	2 台	配水用ポリエチレン管		φ 75mm	58m
エアーレーション装置	φ 1,600×5,000	〃		φ 100mm	12m
処 理 能 力	4,500㎥／日				
送 風 機	2.2kW× 3 台				

豊 栄 浄 水 場 （南部）				浄 水 池	池 量 数	
着 水 井				容 池		211m ³ 105.6m ³ × 2 池 (6.5×6.5×2.5m)
容 池		17.7m ³ 1 池		排 水 池		50.6m ³ 1 池 (4.5×4.5×2.5m)
薬 品 沈 殿 池	横流沈殿式	297.0m ³		容 池		
型 容 量		2,000m ³ /日		西 条 水 源 （南部）		
処 理 能 力		148.5m ³ × 2 池 (3.0×16.5×3.0m)		導 水 管		
池				鋳 鉄 管	φ 75mm	969m
				〃	φ 100mm	1,369m
				鋼 管	φ 100mm	10m
沈 殿 池 内 装				西 条 浄 水 場 （南部）		
急 速 攪 拌 機		1 台		沈砂池（旧薬品沈殿池）		
電 動 機 出 力		0.75kW		容 量		254.25m ³
緩 速 攪 拌 機		2 台		膜 ろ 過 設 備		
電 動 機 出 力		0.75kW		自 動 ス ト レ ー ナ		
急 速 ろ 過 池	重力式急速ろ過池			型 式	自動掻き取り式	
型 式				ス ク リ ー ン		200 μ m
1 池 当 面 積		5.0m ²		台 数		1 台
池 数		3 池		原 水 槽		
総 ろ 過 面 積		15.0m ²		型 式	角型（SUS304）	
1 日 当 ろ 過 量		2,250m ³		容 量		1,400 ℓ × 1 槽
集 水 装 置	有孔ブロック型			原 水 ポ ン プ		
操 作 方 法	全自動式（オートフィルター）			型 式	多段渦巻ポンプ	
洗 浄 方 式	表洗逆洗併用（逆洗補給水方式）			口 径		40×32mm
薬 品 注 入 設 備				吐 出 量		0.16m ³ /分
パ ッ ク 注 入 設 備				揚 程		25m
型 式	液中ピストンポンプ			電 動 機 出 力		1.5kW
注 入 量		0.24ml～48ml/分		台 数		2 台（1 台/系列）
台 数		2 台（内 1 台予備）		膜 ろ 過 装 置		
貯 留 槽	P V C 製 1,000 ℓ	2 槽		膜 モ ジ ュ ー ル		
次 亜 塩 素 注 入 設 備				膜 材 質	外圧式中空糸限ろ過膜（UF膜）	
型 式	液中ピストンポンプ			膜 面 積	ポリフッ化ビニリデン（PVDF）	
注 入 量（前次亜）		0.04ml～7.8ml/分		数 量	75m ² /モジュール	
（中次亜）		0.12ml～24ml/分			2 本/系列	
台 数（前次亜）		2 台（内 1 台予備）		逆 洗 ポ ン プ		
（中次亜）		2 台（内 1 台予備）		型 式	多段渦巻ポンプ	
貯 留 槽	P V C 製 800 ℓ	2 槽		口 径		40×32mm
				吐 出 量		0.12m ³ /分
				揚 程		25m

電動機出力 台数	1.5kW 2台	次亜塩素素注入設備 次亜貯蔵槽	
逆洗水槽 型式 容量	角型 (SUS304) 600ℓ × 1槽	型式 容量	角型槽 (PVC) 100ℓ × 2槽
空気圧縮機 型式 吐出量 圧力 電動機出力 台数	無給油圧力開閉器式 44ℓ / 分 最大0.80MPa 0.54kW 2台	後次亜注入ポンプ 型式 注入量 台数	液中ピストンポンプ 最大6ml / 分 2台
空気槽 型式 圧力 容量	圧力密閉槽 最大0.80MPa 300ℓ × 1槽	逆洗次亜注入ポンプ 型式 注入量 台数	液中ピストンポンプ 最大12ml / 分 2台
		配水池 容量 池数	 140m ³ 70m ³ × 2池

③ 若穂地区

高岡水源（南部）		次亜塩素素注入設備	
導水管		型式	液中ピストンポンプ
ポリエチレン管	φ50mm 887m	注入量	0.08ml〜7.8ml／分
高岡浄水場（南部）		台数	2台
		貯留槽	PVC製 50ℓ 1槽
高岡浄水場（南部）		塚本水源（南部）	
集水埋渠	有孔H P φ100 mm30m	深井戸	
集水井	1.15m³×1池	井戸径	400mm
導水管		深 度	110m
ポリエチレン管	φ75 mm 24m	基 数	1基
ポリエチレン管	φ50 mm 880m	取水ポンプ	
接合井	0.07m³×2池	型式	水中モーターポンプ
高岡配水池	62m³	口 径	100mm
池 数	62m³×1池	揚 程	80m
マイクロフィルタ	H D F 501-1 H	揚 水 量	1,670m³／日
台 数	1基	電 動 機 出 力	26kW
原 水 量	最大 2.7m³／時間	台 数	1台
フィルタ開口	20μm自動洗浄	送水ポンプ	
電動機出力	3相200V 60Hz 0.2kW+0.55kW	型式	多段渦巻ポンプ
着水井（原水槽）	1.4m³×1槽	口 径	125mm
原水ポンプ		揚 程	55m
型式	水中モーターポンプ	揚 水 量	2,534m³／日
口 径	32mm	電 動 機 出 力	30kW
吐 出 量	86m³／日	台 数	2台
電動機出力	2.2kW	ポンプ室	溶接構造型 20m²
台 数	2台	ポンプ槽	溶接構造型
膜ろ過装置		構 造	5.0×5.0×4.0 (3.5) m 87.5m³
膜モジュール	内圧非対称中空糸限外ろ過膜（UF膜）	容 量	87.5m³×1池
膜材質	酢酸セルロース（CA）	池 数	
膜面積	16m²	取水ポンプピット	5.0m²
膜 数	1本／系列	水位調整弁	
逆洗ポンプ		型 式	M F F -200型
型 式	片吸込渦巻ポンプ	口 径	外部開度調整機構付 150mm
口 径	32mm		
吐 出 量	0.09m³／分		
電動機出力	0.75m³／分		
台 数	2台		
逆洗水槽	PVC製 500ℓ 1槽		

笹 平 水 源 (南部)		圧 出 台	力 力 数	最大0.80MPa 0.54kW 2 台
導 水 管		空 気 槽	式 量	圧力密閉槽
鑄 鉄 管	φ100mm 1,063m	型 容		430 L × 1 槽
鋼 管	φ100mm 272m	次 垂 塩 素 注 入 設 備		角型槽 (PVC)
配水用ポリエチレン管	φ100mm 165m	次 垂 貯 蔵 槽	式 量	100 L × 2 槽
山 内 浄 水 場 (南部)		後 次 垂 注 入 ポ ン プ		液中ピストンポンプ
膜 ろ 過 設 備		型 式		最大12m L / 分
自 動 ス ト レ ー ナ		吐 出 量	数	2 台
型 式	自動掻き取り式	逆 洗 次 垂 注 入 ポ ン プ		液中ピストンポンプ
ス ク リ ー ン	200 μ m	型 式		最大25m L / 分
台 数	1 台	吐 出 量	数	2 台
原 水 槽		配 水 池 (1 号 旧)		138m ³ × 1 池 (6.3×6.3×3.5m)
型 式	角型 (SUS304)	配 水 池 (2 号 新)		122m ³ × 1 池 (6.4×6.4×3.0m)
容 量	有効2.8m ³ × 1 槽	持 者 浄 水 場 (南部)		
原 水 ポ ン プ		集 水 井		HP φ1,000mm × 2.4m
型 式	多段渦巻ポンプ	集 水 埋 渠		有孔HP φ200 × 4 m
口 径	40mm	導 水 管		φ50mm 60m
吐 出 量	0.28m ³ / 分	着 水 井		1.2m ³ × 1 池
揚 程	28m	緩 速 ろ 過 池		1.6m ³ × 1 池
出 力	2.2kW	浄 水 渠		1.2m ³ × 1 池
台 数	2 台 (1 台 / 系列)	配 水 池		1.0m ³ × 2 池
膜 ろ 過 装 置		次 垂 塩 素 注 入 設 備		液中ピストンポンプ
膜 モ ジ ュ ー ル	外圧式中空糸限外ろ過膜 (UF膜)	型 式		0.017ml ~ 3.5ml / 分
膜 材 質	ポリフッ化ビニリデン (PVDF)	注 入 量		1 台
膜 面 積	75m ² / モジュール	台 数		1 槽
数 量	4 本 / 系列	貯 留 槽		PVC製 110 ℓ
逆 洗 ポ ン プ				
型 式	多段渦巻ポンプ			
口 径	40 × 32mm			
吐 出 量	0.22m ³ / 分			
揚 程	28m			
出 力	2.2kW			
台 数	2 台			
逆 洗 水 槽				
型 式	円筒密閉型 (PE)			
容 量	有効0.8m ³ × 1 槽			
空 気 圧 縮 機				
型 式	無給油圧力開閉器式			
吐 出 量	49L / 分			

④ 豊野地区

堀 浄 水 場 (浄)			西 沖 浄 水 場 (浄)		
井	戸		井	戸	
井	型	R C ϕ 4,700mm	井	型	R C ϕ 6,000mm
深	度	13.5m	深	度	13.5m
基	数	1 基	基	数	1 基
集 水 管		ϕ 89SUS製 L = 10.5m $\times$ 40本	集 水 管		ϕ 80SUS製 L = 10.5m $\times$ 50本
取・送水ポンプ			取・送水ポンプ		
型	式	水中タービンポンプ	型	式	水中タービンポンプ
口	径	150mm	口	径	125mm
揚	程	82m	揚	程	85m
揚 水 量		3,600m ³ /日	揚 水 量		2,505m ³ /日
電 動 機 出 力		55kW	電 動 機 出 力		45kW
台	数	2 台	台	数	回転数制御 1 台 固定速 1 台
紫 外 線 処 理 装 置			紫 外 線 処 理 装 置		
処 理 水 量	最 大	3,400m ³ /日	処 理 水 量	最 大	3,400m ³ /日
使 用 圧 力	最 大	1.0Mpa	使 用 圧 力	最 大	0.98Mpa
紫 外 線 照 射 量	常 時	12mJ/cm ² 以上	紫 外 線 照 射 量	常 時	10mJ/cm ² 以上
使 用 ラ ン プ		QGL65-22A (65W) 6 本	使 用 ラ ン プ		QGL65-22A (65W) 6 本
次亜塩素注入設備			次亜塩素注入設備		
型	式	次亜バルブレスポンプ	型	式	次亜バルブレスポンプ
容	量	6.84~17.1m ³ /分	容	量	2.5~25m ³ /分
台	数	2 台	台	数	3 台
注 入 方 式		井戸揚水ポンプと連動	注 入 方 式		井戸揚水ポンプと連動
貯 留 槽		P E 製 1 m ³ $\times$ 1 槽	貯 留 槽		F R P 製 1.5m ³ $\times$ 2 槽
			非常用自家発電設備		
			発 電 機		
	型		型	式	同期発電機
	容		容	量	120kVA
	種		種	別	ディーゼルエンジン
	回 転 数		回 転 数		1800rpm

⑤ 戸 隠 地 区

戸 隠 浄 水 場 (北部)		吐 出 量	49L／分
膜 ろ 過 設 備		吐 出 力	最大0.80MPa
自 動 ス ト レ ー ナ		力	0.54kW
型 式	自動掻き取り式	台 数	2 台 (内 1 台 予 備)
ス ク リ ー ン	200 μ m	除 湿 機	
台 数	1 台	型 式	据付式除湿乾燥機
原 水 槽		除 湿 能 力	8.7 L／時間
型 式	角型 (S U S 304)	力	3 kW
容 量	有効8.0 m^3 × 1 槽	台 数	1 台
原 水 ポ ン プ		空 気 槽	
型 式	陸上型多段渦巻ポンプ	型 式	鋼板製円筒型
口 径	65×40mm	容 量	430 L × 1 槽
吐 出 量	0.28 m^3 ／分	次 垂 塩 素 注 入 設 備	
揚 程	28m	次 垂 貯 蔵 槽	
出 力	2.2kW	型 式	角型槽 (P V C)
台 数	1 台 (1 台／系列)	容 量	100 L × 2 槽
膜 ろ 過 装 置		後 次 垂 注 入 ポ ン プ	
膜 モ ジ ュ ー ル	内圧式中空糸限外ろ過膜 (U F 膜)	型 式	液中バルプレスポンプ
	× 7 本 (1 系列)	吐 出 量	最大12m L／分
膜 材 質	酢酸セルロース (C A)	台 数	2 台 (内 1 台 予 備)
膜 面 積	50 m^2 ／モジュール	逆 洗 次 垂 注 入 ポ ン プ	
膜 モ ジ ュ ー ル	内圧式中空糸限外ろ過膜 (U F 膜)	型 式	液中バルプレスポンプ
	× 7 本 (1 系列)	吐 出 量	最大25m L／分
膜 材 質	親水化ポリエーテルスルホン	台 数	2 台 (1 台／系列)
	(P E S)		
膜 面 積	62 m^2 ／モジュール	越 水 第 3 水 源 (北部)	
膜 数	2 系列／14本	深 井 戸	
逆 洗 ポ ン プ		井 戸 径	200mm
型 式	渦巻ポンプ	深 度	142m
口 径	65×32mm	基 数	1 基
吐 出 量	0.22 m^3 ／分	取 水 ポ ン プ	
揚 程	28m	型 式	水中モーターポンプ
出 力	2.2kW	口 径	80mm
台 数	2 台 (内 1 台 予 備)	揚 程	69m
逆 洗 水 槽		揚 水 量	1,670 m^3 ／日
型 式	円筒密閉型 (P E)	電 動 機 出 力	11kW
容 量	有効0.8 m^3 × 1 槽	台 数	1 台
空 気 圧 縮 機		ポ ン プ 室	
型 式	圧力開閉式		R C 造 (0.6×1.1)
			1.6 m^2

深井戸 取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ 50mm 46m 288m ³ ／日 2.7kW 1台	下 祖 山 第 1 水 源 （北部）	
		取水堰堤 構 造	R C 造 (0.2×0.5×H2.0×L4.0) 1 基
		下 祖 山 第 2 水 源 （北部）	
		取水堰堤 構 造	R C 造 (0.2×0.5×H2.0×L3.0) 1 基
谷 沢 水 源 （北部）			
取水施設 構 造	有孔ヒューム管 φ 150mm		
集水井 構 造	R C 造 (0.8×0.8×1.4m) 0.9m ³ × 1 槽		
銚 子 口 水 源 （北部）			
集水埋渠 構 造	有孔ヒューム管 φ 150mm		
集水井 構 造	R C 造 (1.5×1.0×0.6m) 0.9m ³ × 1 槽		

⑥ 鬼無里地区

大 清 水 水 源 (北部)				ほとば沢 2 号 水 源 (北部)			
取 水 堰 堤 構 造	R C 造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1 基			集 水 埋 渠 構 造	有孔ヒューム管 φ 150mm		
集 水 井 構 造	R C 造 (0.5×0.5×0.6m) 0.15m ³ × 1 槽			集 水 井 構 造	R C 造		
タ キ ノ 沢 水 源 (北部)				ひ の き 沢 水 源 (北部)			
取 水 堰 堤 構 造	有孔ヒューム管 φ 75mm			集 水 埋 渠 構 造	有孔ビニル管 φ 150mm		
集 水 井 構 造	R C 造 (1.0×1.0×1.0m) 0.8m ³ × 1 槽			集 水 井 構 造	R C 造 (0.3×0.3×0.4m)		
ほとば沢 1 号 水 源 (北部)				財 又 水 源 (北部)			
集 水 埋 渠 構 造	有孔ヒューム管 φ 150mm			取 水 堰 堤 構 造	R C 造 (0.7×0.9×H1.3×L7.0) 1 基		

⑦ 大岡地区

四ヶ村・五ヶ村水源（西部）				取水ポンプ	
取水堰堤	構造	R C 造 (0.2×0.8×H3.0×L8.0)	1基	型式	水中モーターポンプ
集水井	構造	R C 造 (2.0×平均1.6×1.5m)	4.6m ³ ×1槽	口径	40mm
導水管	WEET管	φ50mm	1,054.87m	揚程	76m
中牧水源（西部）				揚水量	115.2m ³ /日
深井戸	口径	200mm		電動機出力	3.7kW
井戸	深度	46m		台数	1台
深基	数	1基		樺内南水源（西部）	
取水ポンプ	型式	水中モーターポンプ		深井戸	戸径
型	口径	50mm		井戸	径
口	揚程	28m		深	度
揚	揚水量	115.2m ³ /日		基	数
電動機出力	2.2kW			取水ポンプ	型式
台数	1台			型	口径
小聖水源（西部）				揚程	69m
取水堰堤	構造	R C 造 (0.2×0.5×H2.0×L7.0)	1基	揚水量	187.2m ³ /日
集水井	構造	R C 造 (1.0×1.0×1.5m)	0.7m ³ ×1槽	電動機出力	3.7kW
導水管	V P 管	φ75mm	68.03m	台数	1台
大岡南部水源（西部）				ポンプ室	構造
深井戸	口径	150mm		構造	R C 造 (2.0×2.0)
井戸	深度	70m		ポンプ井	造
深基	数	1基		構造	R C 造 (4.0×5.0×2.0)
取水ピット	構造	R C 造 (2.0×1.5×1.5)		容量	40m ³
大岡南部水源（西部）				池	数
深井戸	口径	150mm		送水ポンプ	型式
井戸	深度	70m		型	口径
深基	数	1基		揚程	40mm
取水ピット	構造	R C 造 (2.0×1.5×1.5)		揚水量	64m
大岡南部水源（西部）				電動機出力	381.6m ³ /日
深井戸	口径	150mm		台数	3.7kW
井戸	深度	70m		台数	2台
深基	数	1基		聖山水源（西部）	
取水ピット	構造	R C 造 (2.0×1.5×1.5)		深井戸	戸径
大岡南部水源（西部）				井戸	径
深井戸	口径	150mm		深	度
井戸	深度	70m		基	数
深基	数	1基		取水ポンプ	型式
取水ピット	構造	R C 造 (2.0×1.5×1.5)		型	口径

取水ポンプ	水中モーターポンプ	次亜塩素素注入設備	次亜液中ピストンポンプ
型式		型式	
口径	80mm	容量	25ml/分
揚程	130m	台数	2台
揚水量	720m ³ /日	注入方式	定量注入
電動機出力	18.5kW	貯留槽	角型槽（PVC） 100L×1槽
台数	1台		

⑧ 信州新町地区

穂刈第2水源（西部）				導水管			
取水設備	取水ポンプ形式	1号 横軸渦巻きポンプ	φ125 17m 2,304m³／日 7.5kW 1台	鑄鉄管	φ75mm	160m	
				〃	φ150mm	4 m	
				SUS管	φ80mm	81m	
				VPP管	φ125mm	357m	
				穂刈水源 （予備水源）			
取水ポンプ形式	3号－1 横軸渦巻きポンプ	φ125 17m 2,304m³／日 7.5kW 1台	井戸	水源種別 井型 深基数	地下水 浅井戸	R C φ5,000mm 6.8m 1基	
取水ポンプ形式	3号－2 横軸渦巻きポンプ	φ100 17m 1,296m³／日 3.7kW 1台	取水ポンプ	型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ	80mm 12m 907m³／日 5.5kW 2台	
穂刈浄水場（西部）							
水源種別 井戸形状 井戸本数	伏流水 φ80×H7.5m 4本		集水井	容量 池数	R C造 3.5×7.0×2.1m	51.5m³ 1池	
取水ポンプ形式	5号－1～2 6号－1～2 水中モーターポンプ	φ125 23m 2,304m³／日 7.5kW 4台	急速ろ過設備	形式 処理能力 台数	圧力式密閉型 φ2,800×3,000H 500m³／日 2基		
取水ポンプ形式	5号－1～2 6号－1～2 水中モーターポンプ	φ125 23m 2,304m³／日 7.5kW 4台	ろ過ポンプ	型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ	125mm 24m 2,419m³／日 11kW 2台	
緊急用引井戸形式	（穂刈浄水場内） 横軸渦巻きポンプ	φ100 17m 2,160m³／日 3.7kW 1台	逆洗ポンプ	型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力	水中モーターポンプ	200mm 14m 6,192m³／日 22kW	

台数	2台	次亜塩素素注入設備	
管 理 棟	R C 造 5400×9400 50.6㎡ 軽量 21㎡	型 式	次亜液中ピストンポンプ
紫 外 線 処 理 棟	R C 造 5400×9400 50.76	容 量	25ml／分
紫 外 線 処 理 設 備	R C 造 5400×9400 50㎡	台 数	2 台
形 式	内照式流水型	注 入 方 式	定量注入
処 理 能 力	1,901㎡／日	貯 留 槽	角型槽（P V C） 100 L × 1 槽
台 数	2 基	ポ ン プ 室	
浄 水 池	R C 造	構 造	R C 造（2.4×1.8） 4.3㎡
容 量	6.6×7.0×3.0m 138.6㎡	ポ ン プ 井	
池 数	1 池	構 造	R C 造
次亜塩素素注入設備		容 量	1.2×1.5×2.4m 4.3㎡
型 式	次亜液中ピストンポンプ	池 数	4.3㎡×1 池
容 量	4 ml～20ml／分	送 水 ポ ン プ	
台 数	2 台	型 式	水中モーターポンプ
注 入 方 式	取水ポンプと連動	口 径	40mm
貯 留 槽	0.49×0.49×0.946 220 ℓ × 1 槽	揚 程	116m
残 留 塩 素 計	無試薬回転電極式	揚 水 量	130㎡／日
送 水 ポ ン プ	穂刈第2配水池	電 動 機 出 力	5.5kW
型 式	水中モーターポンプ	台 数	1 台
口 径	φ 80mm	鹿 道 水 源（西部）	
揚 程	93m	取 水 口	
送 水 量	1,497㎡／日	取水用有効パイプ	S G P 管 φ 75mm H=2.5m
電 動 機 出 力	30kW	取 水 管	1 箇所
台 数	3 台		S G P 管 φ 75mm L=13.5m
発 電 機 建 屋	鉄骨 12.75㎡		V P 管 φ 50mm L=15.5m
非 常 用 自 家 発 設 備	可搬式発電機	ポ ン プ 室	
原 動 機 形 式	水冷4サイクル直接噴射式	構 造	R C 造（2.8×2.1） 5.9㎡
排 気 量	過給機付 9.839 ℓ	取 水 ポ ン プ	
定 格 出 力	230kW	型 式	横軸渦巻きポンプ
発 電 機 形 式	突極回転界磁型同期発電機	口 径	40mm
定 格 出 力	220kVA	揚 程	11.8m
出 力 電 圧	三相4線 60Hz 220V	揚 水 量	317㎡／日
花 倉 水 源（西部）		電 動 機 出 力	0.75kW
集 水 ピ ッ ト		台 数	1 台
構 造	R C 造 A=47.5㎡	ポ ン プ 槽	
容 量	口径1.2m 深7.3m 8.3㎡	構 造	F R P 造
		容 量	1.0×1.0×2.0 2.0㎡
		池 数	2.0㎡×1 槽

送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	立形多段ポンプ		橋木水源（西部）	
		32mm 110m 144m ³ /日 4kW 1台	取水口 取水用有効パイプ 取水管	S G P管 φ75mm H=5.0m 1箇所 S G P管 φ75mm L=15.0m V P管 φ50mm L=100.0m
日名水源（西部）			取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ 40mm 15.2m 230m ³ /日 0.75kW 1台
取水口 集水井 集水管	コンクリート製マンホール φ800mm 1基 S G P管 φ75mm L=16.0m		取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ 50mm 19.5m 360m ³ /日 1.5kW 1台
取水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	横軸渦巻きポンプ 50mm 19.5m 360m ³ /日 1.5kW 1台		次亜塩素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 6ml/分 2台 定量注入 角型槽（PVC） 100L×1槽 無試薬回転電極式
次亜塩素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 6ml/分 2台 定量注入 角型槽（PVC） 100L×1槽 無試薬回転電極式		ポンプ室 構造	R C造（3.9×3.3） 12.9m ²
ポンプ室 構造	R C造（3.0×2.1） 6.3m ²		ポンプ井 構造 容量 池数	φ1.3m 1井
ポンプ井 構造 容量 池数	R C造 3.0×2.1×2.0m 12.6m ³ 12.6m ³ ×1池		送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ 40mm 75m 288m ³ /日 5.5kW 1台
送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	水中モーターポンプ		吐唄水源（西部）	
		40mm 72m 360m ³ /日 5.5kW 1台	取水口 取水用有効パイプ 取水管	S G P管 φ75mm H=3.5m 1箇所 S G P管 φ75mm L=11.0m V P管 φ40mm L=20.0m

取水ポンプ	横軸渦巻きポンプ	池数	2.1m ³ ×1池
型式		取水ポンプ室	
口径	40mm	構造	R C造 (2.0×1.1) 2.2m ²
揚程	10.5m		
揚水量	288m ³ /日	取水ポンプ	
電動機出力	0.75kW	型式	水中モーターポンプ
台数	1台	口径	40mm
ポンプ槽		揚程	15.0m
構造	F R P造	揚水量	144m ³ /日
容量	1.0×1.0×1.0m 1.0m ³	電動機出力	0.75kW
池数	1.0m ³ ×1池	台数	2台
次亜塩素素注入設備	次亜液中ピストンポンプ	導水管	
型式		S G P管	φ50mm 11m
容量	25mℓ/分	味 藤 浄 水 場 (西部)	
台数	2台	膜ろ過装置	
注入方式	定量注入	膜モジュール	外圧式中空糸過膜 (MF膜)
貯留槽	角型槽 (P V C) 100L×1槽	膜材質	ポリフッ化ビニリデン (P V D F)
残留塩素計	無試薬回転電極式	膜面積	23m ² /モジュール
ポンプ室		数	2本
構造	軽量ブロック造 (2.3×2.3) 5.3m ²	逆洗ポンプ	
		形式	渦巻きポンプ
送水ポンプ	立形多段渦巻きポンプ	出力	0.75 k W
型式		口径	32mm
口径	25mm	台数	1台
揚程	73m	逆洗タンク	ポリエチレン製角型タンク
揚水量	71m ³ /日		100L×1台
電動機出力	2.2kW	次亜塩素素注入設備	
台数	1台	型式	次亜液中ピストンポンプ
牧 田 中 水 源 (西部)		容量	25mℓ/分
取水口		台数	2台
集水桝	ステンレスタンク	注入方式	定量注入
	1.0×1.0×1.0m 1基	貯留槽	角型槽 (P V C) 100L×1槽
集水管		残留塩素計	無試薬回転電極式
V P 有孔管	φ75mm L=30.0m	ポンプ室	
導水管		構造	R C造 (3.1×3.1) 9.6m ²
V P 管	φ50mm 47.79m	ポンプ井	
味 藤 水 源 (西部)		構造	R C造
取水ポンプ井		容量	3.0×3.0×0.5m 4.5m ³
構造	R C造	池数	4.5m ³ ×1池
容量	2.0×1.1×0.95m 2.1m ³		

送水ポンプ 型式 口径 揚程 揚水量 電動機出力 台数	多段渦巻ポンプ 40mm 210m 144m ³ ／日 11.0kW 2台	注入方式 貯留槽 残留塩素計	定量注入 角型槽（PVC） 100L×1槽 無試薬回転電極式
塩本水源（西部）		左右水源（西部）	
		取水口 集水柵 集水管	RC造（1.4×1.4） 有孔管 φ100mm L=50.0m
取水口 集水柵	RC造（0.5×0.3×0.5m） 0.08m ³ ×1槽	導水管 PP管	φ50mm 53.68m
導水管 VP管		左右浄水場（西部）	
塩本浄水場（西部）		計装室 構造	RC造（2.0×2.2） 4.4m ²
		膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数 量	外圧式中空糸過膜（MF膜） ポリフッ化ビニリデン（PVDF） 23m ² ／モジュール 1本
着水井 構造	RC造（1.5×3.0×1.0m） 4.5m ³ ×1槽	逆洗ポンプ 形式 出力 口径 台数	渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台
計装室 構造		逆洗タンク	ポリエチレン製角型タンク 60L×1台
膜ろ過装置 膜モジュール 膜材質 膜面積 数 量	外圧式中空糸過膜（MF膜） ポリフッ化ビニリデン（PVDF） 23m ² ／モジュール 1本	滅菌機室 構造	プレハブ造（2.0×1.2） 2.4m ²
逆洗ポンプ 形式 出力 口径 台数 逆洗タンク		渦巻きポンプ 0.4kW 32mm 1台 ポリエチレン製角型タンク 60L×1台	
滅菌機室 構造	プレハブ造（2.0×1.2） 2.4m ²	次亜塩素注入設備 型式 容量 台数 注入方式 貯留槽 残留塩素計	次亜液中ピストンポンプ 25ml／分 2台 定量注入 角型槽（PVC） 100L×1槽 無試薬回転電極式
次亜塩素注入設備 型式 容量 台数		中尾水源（西部）	
		取水口 集水柵 集水管	RC造（1.0×1.0×1.0m） 1.0m ³ ×1槽 PP φ25mm 117m

導水管	φ 25mm	117.36m	凝集剤（PAC）注入設備	
P P 管			型 式	ダイヤフラムポンプ
中 尾 浄 水 場 （西部）			容 量	50mℓ／分
			台 数	1 台
ろ過設備	小型急速ろ過機		貯 留 槽	50 ℓ
形 式			呼 水 ポ ン プ	
処 理 能 力	30m³／日		型 式	自吸式ポンプ
台 数	2 基		口 径	φ 30mm
逆洗ポンプ	水中モーターポンプ		揚 程	8.5m
型 式			送 水 量	316m³／日
口 径	40mm		電 動 機 出 力	1.1kW
揚 程	10m		台 数	1 台
揚 水 量	388m³／日		送 水 ポ ン プ	
電 動 機 出 力	0.75kW		型 式	立形多段渦巻きポンプ
台 数	1 台		口 径	φ 25mm
浄 水 池	R C 造		揚 程	145m
容 量	2.6×2.1×1.5m	8.2m³	送 水 量	14.4m³／日
池 数	1 池		電 動 機 出 力	2.2kW
次亜塩素注入設備	次亜液中ピストンポンプ		台 数	1 台
型 式				
容 量	6 mℓ／分			
台 数	2 台			
次 亜 貯 留 槽	50 ℓ × 1 槽			
残 留 塩 素 計	無試薬回転電極式			

⑨ 中条地区

念仏寺沢水源		口	径	φ80
取水設備		揚程		30m
水源種別	表流水	揚水量		1,526m ³ /日
取水堰堤	R C造 1基	電動機出力		11kW
堰堤規模	上幅0.5m：下幅1.7m	台数		3台
	高さ4.5m：長さ8.0m	膜ろ過装置		
スクリーン	2面	膜モジュール		中空糸型限外ろ過膜（U F膜）
沈砂池	R C造	膜材質		P A N（ポリアクリロニトリル）
容量	内法1.7×8.0×1.0 13.6m ³	膜面積		41m ² /モジュール
導水管		数量		14本/系列
H P P E管	φ150 2,265m	系列数		3系列
三ヶ野浄水場（西部）		活性炭供給槽		R C造 4.25×4.5×2.9 45.9m ³
浄水棟		活性炭供給ポンプ		
構造	R C造（18.0×24.0m）	形式		水中型渦巻きポンプ
	地上1階、地下1階 429.0m ²	口		φ65
原水槽	R C造 4.25×4.5×2.9 45.9m ³	揚程		15m
原水供給ポンプ		揚水量		907m ³ /日
形式	水中型渦巻きポンプ	電動機出力		3.7kW
口径	φ65	台数		3台
揚程	15m	活性炭吸着塔		鋼板製・密閉圧力式ろ過機
揚水量	907m ³ /日	容量		D φ2200×2500
電動機出力	3.7kW	処理能力		S =3.8m ² 158～237m ³ /日
台数	3台	台数		2台
高速繊維ろ過塔		洗浄水槽（浄水池）		R C造 4.5×7.5×2.9 81.0m ³
容量	鋼板製・密閉圧力式ろ過機	逆洗ポンプ		（膜ろ過・活性炭共通）
処理能力	D φ1300×2500	形式		水中型渦巻きポンプ
台数	S =1.33m ² 451～671m ³ /日 2台	口径		φ100
凝集剤（P A C）注入設備		揚程		20m
型式	ダイヤフラムポンプ	揚水量		3,283m ³ /日
容量	50ml/分	電動機出力		15kW
台数	2台	台数		2台
貯留槽	100ℓ×1槽	次亜塩素素注入設備		
循環水槽	R C造 7.55×3.0×2.9 54.4m ³	型式		液中ピストンポンプ
空気洗浄ブロー	三葉ルーツブロー 5.3m ³ /m	容量		19ml/分
ろ過塔洗浄ポンプ		台数		2台
形式	水中型渦巻きポンプ	貯留槽		100ℓ×1槽
口径	φ80	非常用自家発電設備		
揚程	17m	原動機形式		水冷4サイクル直接噴射式
揚水量	1,152m ³ /日	排気量		過給機付 7.545ℓ
電動機出力	5.5kW	定格出力		150kW
台数	2台	発電機形式		円筒横軸回転界磁型同期発電機
循環ポンプ		定格出力		220kVA
形式	水中型渦巻きポンプ	出力電圧		三相3線 60Hz 220V

不 動 淹 水 源 (西部)		台 数	1 台
取 水 口	R C 造	膜 ろ 過 装 置	外圧式中空糸ろ過膜 (MF 膜)
取 水 堰 堤	(0.15×0.2×H1.7×L10.0) 1 堤	膜 モ ジ ュ ー ル	ポリフッ化ビニリデン (P V D F)
取 水 埋 渠	ステンレス鋼管 (S U S 80 A) L=6.2m	膜 材 質	23㎡/モジュール
集 水 枳	R C 造 (0.8×0.8×1.0m) 0.6㎡×1 槽	膜 面 積	2 本/系列
導 水 管	～清水水源	滅 菌 機 室	R C 造 (1.2×1.2×2.0) × 2 室
H P P E 管	φ 50mm 528.18m	構 造	2.9㎡
H P P E 管	φ 75mm 76.19m	次 亜 塩 素 注 入 設 備	次亜液中ピストンポンプ
清 水 水 源 (西部)		型 式	25ml/分
取 水 口	R C 造	容 量	2 台
取 水 堰 堤	(0.15×0.2×H1.7×L3.0) 1 堤	台 数	定量注入
取 水 埋 渠	有孔ビニル管 (V P φ 75mm) L=3.0m	注 入 方 式	角型槽 (P V C) 100 L × 1 槽
集 水 枳	塩ビ製 (φ 600mm×1.0m) 0.2㎡×1 井	貯 留 槽	無試薬回転電極式 1 基
導 水 管	～清水浄水場	残 留 塩 素 計	R C 造 (4.0×4.0×3.0m) 80.0㎡
H P P E 管	φ 50mm 330.68m	配 水 池	40.0㎡×2 池
清 水 浄 水 場 (西部)		容 池 数	R C 造 (4.3×4.3×3.0m) 48.1㎡
着 水 井	R C 造	容 池 数	48.1㎡×1 池
構 造	0.8×2.2×1.0m 1.8㎡	臥 雲 水 源 (西部)	
容 量	1.8㎡×1 井	取 水 口	有孔ヒューム管
池 数		取 水 埋 渠	(H P φ 150mm) L=12.0m
原 水 ポ ン プ	S U S 製自吸タービンポンプ	集 水 枳	H P 造
型 式			(φ 1800mm×H2430mm) 6.2㎡×1 井
口 径	40mm	導 水 管	φ 75mm 159.5m
揚 程	19.5m	石 原 水 源 (西部)	
揚 水 量	316.8㎡/日	取 水 口	R C 造
電 動 機 出 力	1.5kW	取 水 堰 堤	(0.15×0.25×H1.7×L9.8) 1 堤
台 数	1 台	取 水 埋 渠	有孔ヒューム管
逆 洗 ポ ン プ	S U S 製水中渦巻ポンプ	集 水 枳	(HP φ 200mm) L=3.0m
型 式			R C 造
口 径	40mm		(0.8×0.8×1.2m) 0.5㎡×1 槽
揚 程	72m		
揚 水 量	129.6㎡/日		
電 動 機 出 力	3.7kW		

導水管 V P 管	～接合井 $\phi 125\text{mm}$ 112.16m	取水埋渠	有孔ヒューム管 (H P $\phi 150\text{mm}$) L=2.0m
接合井	R C 造 ($0.8 \times 0.8 \times 1.2\text{m}$) $0.5\text{m}^3 \times 1$ 槽	集水枥	R C 造 ($0.6 \times 0.6 \times 0.6\text{m}$) $0.2\text{m}^3 \times 1$ 槽
導水管 V P 管	～桜出配水池 $\phi 125\text{mm}$ 677.75m	導水管 P P 管	$\phi 40\text{mm}$ 2,020m
H P P E 管	$\phi 75\text{mm}$ 88.7m	接合井	R C 造 ($0.8 \times 0.8 \times 1.2\text{m}$) $0.5\text{m}^3 \times 1$ 槽
下条水源 (西部)			
取水口 取水堰堤	R C 造 ($0.15 \times 0.25 \times \text{H}1.5 \times \text{L}4.0$) 1 堤		

⑩ 配水池一覧（浄水場を除く）

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
長野地区	往生地高区配水池	119m ³	119m ³ × 1池	(超音波流量計) (配水流量計) FSV型 口径150mm 最大流量60m ³ /日 1台	浄
長野地区	蚊里田低区配水池	4,000m ³	4,000m ³ × 1池	(次亜塩素素注入設備) 浸漬式バルブレスポンプ (タンク一体形) 注入量25m ³ /分 (最大) 2台 PVC製1000×2槽	浄
		1,000m ³	1,000m ³ × 1池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 250mm 揚程 35m 揚水量 12,000m ³ /日 電動機出力 75kW 2台	
				(発電設備) 立形空冷ディーゼル 出力9PS 回転数3,600rpm 回転界磁形三相 容量6kVA 電圧220V 回転数3,600rpm 周波数60Hz	
	蚊里田高区配水池	6,000m ³	3,000m ³ × 2池	(流量計) (流入) 東京計器 超音波流量計 口径 φ500mm (配水) 東京計器 超音波流量計 口径 φ500mm (緊急遮断弁) (高区配水) 富士電機 超音波流量計 口径 φ500mm (前導工業) ウェイトトリガーバルブ 口径 φ500mm (地震検出器) SCR 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	
長野地区	上野配水池	4,000m ³	2,000m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 浸漬式バルブレスポンプ (タンク一体形) 注入量 1.5ℓ/時間 (最大) 口径 4mm (フレートボース) 電動機出力 30W PVC製 2000×2槽	浄
				(流量計) (流入) 日本ハイコン 挿入式流量計 0～1500m ³ /h 口径 φ400mm (緊急遮断弁) (配水) 横河電機 超音波流量計 0～1500m ³ /h 口径 φ600mm (異本鉄工所) 電磁ブレーキ式バタフライ弁 口径 φ600mm (地震検出器) SCF-FD 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	
高原系	高原第1配水池	598m ³ +528m ³	299×2池+264m ³ ×2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ φ65 揚程60m 揚水量576m ³ /日 電動機出力11kw 2台	北部
高原系	高原第2配水池 (黒滝)	110m ³	55m ³ × 2池		北部
高原系	グリーンヒルズ配水池	30m ³	15m ³ × 2池		北部
高原系	中曽根配水池	100m ³	50m ³ × 2池		北部
高原系	東山麓鳴岩配水池	130m ³	40m ³ ×2池+25m ³ ×2池		北部
高原系	台ヶ窪配水池	42m ³	21m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.36ℓ/時間 1台 貯蔵槽 500ℓ/1槽	北部
高原系	清水配水池	42m ³	21m ³ × 2池		維
高原系	坂中配水池	50m ³	25m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.375ℓ/時間 1台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽	維
高原系	西平配水池	36m ³	18m ³ × 2池		維
茅井系	軍足配水池	250m ³	125m ³ × 2池		北部
茅井系	猪久保配水池	88m ³	44m ³ × 2池		北部
茅井系	荒安配水池	150m ³	75m ³ × 2池		北部
茅井系	畑山配水池	64m ³	32m ³ × 2池		北部
茅井系	やすらぎ配水池	82m ³	41m ³ × 2池		北部
茅井系	平配水池	100m ³	50m ³ × 2池		北部
茅井系	広瀬配水池	216m ³	108m ³ × 2池		北部
茅井系	沢浦配水池	150m ³	75m ³ × 2池		北部
茅井系	大飼配水池	150m ³	75m ³ × 2池		北部
茅井系	百瀬配水池	36m ³	18m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.10ℓ/時間 1台 貯蔵槽 500ℓ×1槽 (送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ φ40 揚程140m 揚水量144m ³ /日 電動機出力7.5kw 2台	北部
茅井系	湯山配水池	72m ³	36m ³ × 2池		北部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
芋井系	小鍋配水池	45m ³	45m ³ × 1池	(次重塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.360/時間 1台 貯蔵槽 500×1槽 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ φ32 揚程85m 揚水量72m ³ /日 電動機出力3.7kw 2台	北部
芋井系	大川配水池	36m ³	36m ³ × 1池		北部
長野地区	みろく寺配水池	90m ³	45m ³ × 2池		維
長野地区	湯谷配水池	696m ³	348m ³ × 2池	(電磁流量計) 東芝LF132 口径 φ200mm 最大流量 200m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) 前沢工業 87IST0465 電磁ブレーキ式 口径 φ200mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	維
長野地区	平柴配水池	300m ³	150m ³ × 2池	(送水ポンプ) (平柴〜みろく寺) 多段渦巻ポンプ 口径 80mm 揚程 110m 揚水量 1008m ³ /日 電動機出力 22kW 2台 (予備1台) (送水ポンプ) 自給渦巻ポンプ 口径 25mm 揚程 12m 揚水量 122m ³ /日 電動機出力 0.4kW 1台	維
長野地区	もとどり配水池	10m ³	5m ³ × 2池		維
長野地区	地藏平配水池	104m ³	52m ³ × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 90m 揚水量 200m ³ /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	茂菅第1配水池	254m ³	127m ³ × 2池	(送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 139m 揚水量 216m ³ /日 電動機出力 11kW 2台 (予備1台)	維
長野地区	茂菅第2配水池	32m ³	32m ³ × 1池		維
長野地区	西稻花配水池	126m ³	63m ³ × 2池		維
西山系小田切地区	松ヶ丘配水池	5,000m ³	2,500m ³ × 2池	(緊急遮断弁) 【西山水系】2台 前澤工業 電動急閉機付制水扉 口径 φ350mm 弁停止開度：全閉 (地震検出器) SCF-1D 動作加速度 200gal 【小市水系】2台 前澤工業 電動急閉機付制水扉 口径 φ300mm 弁停止開度：10% (地震検出器) SCF-1 動作加速度 200gal (残留塩素計) 無試験形遊離残塩計 型式FC400G 1台	浄
西山系小田切地区	栃久保配水池	1,402m ³	701m ³ × 2池	(残留塩素計) 無試験形遊離残塩素計 測定範囲 0〜3mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) (栃久保〜日方) 多段渦巻ポンプ 口径 65mm 揚程 94m 揚水量 599m ³ /日 電動機出力 15kW 4台 (2台並列運転) (送水ポンプ) (栃久保〜栃久保第2) ラインポンプ 口径 40mm 揚程 36m 揚水量 58m ³ /日 電動機出力 2.2kW 1台	維
西山系小田切地区	栃久保第2配水池	2m ³	2m ³ × 1池		維
西山系小田切地区	日方配水池	384m ³	192m ³ × 2池	(次重塩素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.90/時間 2台 貯蔵槽 PVC製2000×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離残塩素計 測定範囲 0〜3mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 65mm 揚程 113m 揚水量 360m ³ /日 電動機出力 15kW 3台 (2台並列運転) (超音波流量計) 東京計器UPW-400G 口径 φ80mm 最大流量 40m ³ /時間 1台	維
西山系小田切地区	仏工伝配水池	198m ³	99m ³ × 2池		維

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担 当
西山系小田切地区	山田中配水池	198m ³	99m ³ × 2池	(送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 104m 揚水量 158m ³ /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (電磁流量計) 東芝 L F 2 3 2 口径 φ80mm 最大流量 100m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) 前沢工業 97AZ0831 手動復帰型トリガー弁 口径 φ200mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	維
西山系小田切地区	繁配水池	64m ³	32m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量 1.8ℓ/時間 1台 貯蔵槽 500×1槽 (送水ポンプ) (繁～小野平) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 119m 揚水量 130m ³ /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水ポンプ) 自給渦巻ポンプ 口径 50mm 揚程 40m 揚水量 151m ³ /日 電動機出力 2.2kW 1台	維
西山系小田切地区	小野平配水池	36m ³	18m ³ × 2池		維
西山系小田切地区	久保調整池	62m ³	62m ³ × 1池	(電磁流量計) 東芝 L F 1 3 1 口径 φ100mm 最大流量 150m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) (過流量にて遮断) 前沢工業 80T985 手動復帰型トリガー弁 口径 φ200mm	維
西山系七二会地区	坪根配水池	210m ³	105m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
西山系七二会地区	平出配水池	75m ³	75m ³ × 1池		西部
西山系七二会地区	大久保配水池	50m ³	50m ³ × 1池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 135m 揚水量 1,296m ³ /日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
西山系七二会地区	知足院配水池	40m ³	40m ³ × 1池	(休止中)	西部
西山系七二会地区	大安寺配水池	52m ³	52m ³ × 1池		西部
西山系七二会地区	古間配水池	66m ³	33m ³ × 2池		西部
西山系七二会地区	飯森配水池	50m ³	25m ³ × 2池		西部
西山系七二会地区	瀬脇配水池	88m ³	44m ³ × 2池		西部
西山系七二会地区	岩草配水池	31m ³	31m ³ × 1池		西部
西山系七二会地区	春日山配水池	40m ³	40m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
西山系七二会地区	笹平配水池	72m ³	36m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	下平配水池	50m ³	25m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	古藤配水池	48m ³	24m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	安庭配水池	126m ³	50m ³ × 2池 (H6年度増設) 26m ³ × 1池		西部
西山系信更地区	涌池配水池	92m ³	46m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	涌井配水池	92m ³	46m ³ × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 60m 揚水量 86.4m ³ /日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
西山系信更地区	氷ノ田配水池	204m ³	102m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	中平配水池	2m ³	2m ³ × 1池		西部
西山系信更地区	田野口配水池	110m ³	55m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	大森配水池	48m ³	24m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	灰原配水池	54m ³	27m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	高野配水池	104m ³	52m ³ × 2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 32mm 揚程 76m 揚水量 86.4m ³ /日 電動機出力 3.7kW 2台 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
西山系信更地区	上尾配水池	54m ³	27m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	三水配水池	44m ³	22m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	今泉配水池	50m ³	25m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	吉原配水池	84m ³	42m ³ × 2池		西部
西山系信更地区	田沢配水池	50m ³	25m ³ × 2池		西部
松代地区	象山配水池	(旧)	336m ³ ×2池 (10.5×10.5×3.05m)	(電磁流量計) FMS7KTW2-0WY1 口径 250mm 最大流量 300m ³ /時間 1台	南部
		(新)	722m ³ × 1池 (21.25×8.5×4.0m)		
松代地区	象山第2配水池	400m ³	200m ³ ×2池 (16.0×5.0×2.5m)	(電磁流量計) LF132 口径 φ100mm 最大流量 120m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) 手動式緊急遮断バタフライ弁 BT-B電磁ブレーキ式 口径 φ150mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	南部
松代地区	東寺尾配水池	1,505m ³	752.6m ³ ×2池 (6.0×28×4.48m)	(超音波流量計) FUR-2 口径 φ400mm 最大流量 600m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) 信号式緊急遮断弁 口径 φ400mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	南部
松代地区	新東寺尾配水池	3,000m ³	1,500m ³ ×2池 (14.6×9.00m)	(電磁流量計) LF132 口径 φ400mm 最大流量 500m ³ /時間 1台 (緊急遮断弁) 信号式緊急遮断弁 口径 φ400mm (地震検出装置) SCF-1D 検出方式 倒立重錘方式 検出方向 水平全方向 動作加速度 200gal	南部
松代地区	豊栄配水池	306m ³	153m ³ ×2池 (8.5×6.0×3.0m)		南部
松代地区	平林配水池	179m ³	89.6m ³ ×2池 (7.0×4.0×3.2m)		南部
松代地区	久配水池	150m ³	75m ³ ×2池 (5.0×6.0×2.5m)		南部
松代地区	前山配水池	122m ³	122.5m ³ ×1池 (7.0×7.0×2.5m)		南部
		70m ³	70.2m ³ ×1池 (5.3×5.3×2.5m)		
松代地区	滝本配水池	10m ³	10m ³ ×1池 (2.5×4.0×1.0m)		南部
松代地区	大日池配水池	504m ³	252.3m ³ ×2池 (7.0×7.0×5.15m)		南部
松代地区	岩沢配水池	65m ³	65m ³ ×1池 (5.0×5.0×2.6m)	(第一減圧槽) 容量 6m ³ 1池 (1.9×1.9×1.8m) (第二減圧槽) 容量 5m ³ 1池 (2.0×1.6×1.8m)	南部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
若穂地区	綿内配水池	368m ³	184.2m ³ ×2池 (6.5×10.5×2.7m)	(電磁流量計) (綿内配水池配水流量計) MG11F 口径 150mm 最大流量 300m ³ /時間 1台 (送水ポンプ) (山新田第2配水池送水) 横軸片吸込多段ポンプ 口径 50mm 揚程 240m 揚水量 275m ³ /日 電動機出力 22kW 2台 (予備1台) (送水管) SP φ80mm 1,134m DCIP φ75mm 586m (ポンプ室) RC造り 9.45m ² (送水ポンプ) (連台寺配水池送水) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 100m 揚水量 144m ³ /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水管) SGP φ50mm 329.5m P.P φ50mm 128m (ポンプ室) 軽石ブロック造り 12m ² (電磁流量計) (連台寺配水池送水流量計) MG11F 口径 50mm 最大流量 20m ³ /時間 1台	南部
		892m ³	446m ³ ×2池 (7.0×23.6×2.7m)		
若穂地区	連台寺配水池	4m ³	4m ³ ×1池 (1.9×1.5×1.5m)		南部
若穂地区	山新田第2配水池	72m ³	36m ³ ×2池 (4.0×3.0×3.0m)	(送水ポンプ) (山新田第1配水池 (新) 送水) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 74m 揚水量 100m ³ /日 電動機出力 5.5kW 2台 (予備1台) (送水管) CIP φ75mm 568m (ポンプ室) RC造り 7.2m ² (電子式流量計) WSE-100 口径 100mm 最大流量 100m ³ /時間 1台	南部
		75m ³	75m ³ ×1池 (5.0×5.0×3.0m)		
若穂地区	山新田第1配水池	89m ³	89m ³ ×1池 (5.0×6.6×2.7m)		南部
若穂地区	矢原配水池	800m ³	400m ³ ×2池 (14×6.5×4.4m)	(次亜塩素素注入設備) 次亜液中ピストンポンプ 4台 貯留槽 PVC製 800L×2槽 (送水ポンプ) (引沢配水池送水) 多段ポンプ 口径 100mm 揚程 115m 揚水量 1,684m ³ /日 電動機出力 37kW 2台 (内予備1台) (送水管) SP φ150mm 610m (ポンプ室) RC造り 15.7m ² (超音波流量計) (1系 川田系) UF-911 口径 200mm 最大流量 100m ³ /時間 1台 (電磁流量計) (2系 上和田系) 挿入式FIW-B型 口径 200mm 最大流量 100m ³ /時間 1台 (送水管) CIP φ150mm 1,082m	南部
		400m ³	400m ³ ×1池 (14×6.5×4.4m)		
若穂地区	引沢配水池	98m ³	98m ³ ×1池 (5.8×5.8×2.92m)	(送水ポンプ) (保科配水池送水ポンプ) 片吸込渦巻ポンプ 口径 50×40mm 揚程 14.5m 揚水量 270m ³ /日 電動機出力 1.5kW 2台 (内予備1台) (電磁流量計) (保科配水池送水流量計) LF130 口径 φ50mm 最大流量 30m ³ /時間 1台 (送水ポンプ) (保科第2配水池送水ポンプ) 多段渦巻ポンプ 口径 40mm 揚程 105m 揚水量 220m ³ /日 電動機出力 7.5kW 2台 (内予備1台) (電磁流量計) (保科第2配水池送水流量計) LF132 口径 φ50mm 最大流量 20m ³ /時間 1台 (超音波流量計) (配水流量計) LF801 口径 φ150mm 最大流量 150m ³ /時間 1台 (送水管) 延長 918m	南部
		87m ³	87m ³ ×1池 (4.7×4.7×3.95m)		
若穂地区	保科第2配水池	90m ³	45m ³ ×2池 (4.25×4.25×2.5m)		南部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担 当
若穂地区	保科配水池	200m ³	100m ³ ×2池 (5.0×8.0×2.5m)	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 32mm 揚程 124m 揚水量 108m ³ /日 電動機出力 7.5kW 2台 (内予備1台) (ポンプ室) RC造り 9m ² (送水管) SPφ80A 578m CIPφ75mm 509m (電磁流量計) MGG12F 口径 150mm 最大流量 100m ³ /時間 1台	南部
若穂地区	赤野田配水池	72m ³	36m ³ ×2池 (3.0×4.0×3.0m)		南部
若穂地区	外山配水池	50m ³	50m ³ ×1池 (4.6×4.4×2.5)		南部
若穂地区	尻欠配水池	99m ³	49.6m ³ ×2池 (4.0×4.0×3.1m)		南部
豊野地区	蟹沢超高校配水池	836m ³	418m ³ × 2池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径 100mm 揚程 25m 揚水量 2.24m ³ /分 電動機出力 15kW 2台 (減菌設備) 次亜ハルブレレスポンプ 容量 0.6～6m ³ /分 1台 注入方式 送水ポンプ連動 貯留槽 200 ³ (内蔵) × 1 (残留塩素計) 無試験式遊離塩素計 型式AN465B 2台 (残電設備) 可搬式発電機 型式 SDG601A-5BIN 回転数 1800 r p m (流量計) (流入) デイゼルエンジン 日立 電磁流量計 口径 φ 250mm (超南区配水) 日立 棒入式流量計 口径 φ 250mm (南区配水) 日立 電磁流量計 口径 φ 200mm	浄
	蟹沢超高校配水池	502m ³	502m ³ × 1池	(緊急遮断装置) MTB-A15-G-A 口径 φ300 動作方式 ウェイト式 感知方式 地震過流量感知式 1台 (電磁流量計) FMB2 IPW1-W40A0-YA 口径 φ200 最大流量 100m ³ /時間 1台 (非常用発電機) TLG-6ESX 出力 6.0kVA 110/220V 1φ3W 種別 デイゼルエンジン 回転数 3,600rpm 1台 (無試験形遊離残塩素計) CLF-110 測定範囲 0-1mg/2台	
豊野地区	浅野配水池	1,800m ³	900m ³ × 2池		浄
豊野地区	蟻ヶ崎配水池	30m ³	15m ³ × 2池		維
豊野地区	川谷配水池	30m ³	15m ³ × 2池		維
豊野地区	上神代配水池	30m ³	15m ³ × 2池		維
豊野地区	城山配水池	30m ³	15m ³ × 2池		維
豊野地区	泉平配水池	60m ³	30m ³ × 2池		維
豊野地区	上神代第2配水池	1m ³	1m ³ × 1池		維
戸隠地区	越水第1配水池	626m ³	204m ³ ×2池 109m ³ ×2池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径40mm 揚程165m 揚水量57.6m ³ /日 電動機出力7.5kw 2台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5 ³ /時間 2台 PVC製 貯蔵槽100 ³ ×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	スキー場配水池	15m ³	15m ³ ×1池		北部
戸隠地区	上野高区配水池	390m ³	105m ³ ×1池 285m ³ ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.5 ³ /時間 2台 PVC製 貯蔵槽100 ³ ×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	諸沢配水池	46m ³	46m ³ ×1池	(加圧給水ユニット) 渦巻きポンプ 口径50mm 揚程44m 揚水量388m ³ /日 電動機出力3.7kw 2台	北部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
戸隠地区	立道配水池	60m ³	60m ³ ×1池		北部
戸隠地区	中耕配水池	22m ³	22m ³ ×1池		北部
戸隠地区	上野低区配水池	72m ³	32m ³ ×1池 40m ³ ×1池		北部
戸隠地区	水景苑配水池	70m ³	35m ³ ×2池	(加圧給水ユニット) 渦巻きポンプ 口径65mm 揚程30m 揚水量720m ³ /日 電動機出力5.5kw 3台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 2台 PVC製 貯蔵槽1000×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台 (次亜塩素素注入設備)	北部
戸隠地区	宝光社配水池	384m ³	192m ³ ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	上楠川配水池	92m ³	46m ³ ×2池		北部
戸隠地区	宇和原配水池	40m ³	40m ³ ×1池		北部
戸隠地区	奈良尾配水池	30m ³	30m ³ ×1池		北部
戸隠地区	母袋配水池	25m ³	25m ³ ×1池		北部
戸隠地区	平第1配水池	160m ³	80m ³ ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	平第2配水池	120m ³	60m ³ ×2池		北部
戸隠地区	桜峰配水池	56m ³	28m ³ ×2池		北部
戸隠地区	志垣配水池	74m ³	37m ³ ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	土合配水池	28m ³	28m ³ ×1池		北部
戸隠地区	平第3配水池	120m ³	60m ³ ×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	五十土配水池	31m ³	31m ³ ×1池		北部
戸隠地区	笹原配水池	31m ³	31m ³ ×1池		北部
戸隠地区	宮ノ前配水池	31m ³	31m ³ ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	中尾配水池	5m ³	5m ³ ×1池		北部
戸隠地区	田頭配水池	62m ³	31m ³ ×2池		北部
戸隠地区	追通配水池	52m ³	52m ³ ×1池		北部
戸隠地区	宮浦配水池	40m ³	40m ³ ×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	西部配水池	26m ³	26m ³ ×1池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径40mm 揚程140m 揚水量240m ³ /日 電動機出力7.5kw 1台	北部
戸隠地区	上組配水池	33m ³	33m ³ ×1池		北部
戸隠地区	山入配水池	12m ³	12m ³ ×1池	(次亜塩素素注入設備) ダイヤフラムポンプ 容量1.80/時間 2台 貯蔵槽300×1槽	北部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
戸隠地区	銚子口配水池	28㎡	28㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	東原配水池	41㎡	41㎡×1池		北部
戸隠地区	猿丸配水池	21㎡	21㎡×1池		北部
戸隠地区	川下配水池	38㎡	19㎡×2池	(圧送ポンプ) 口径40mm 揚程 m 電動機出力5.5kw 3台 (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	坪山配水池	31㎡	31㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
戸隠地区	下内配水池	46㎡	46㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	品沢配水池	72㎡	36㎡×2池		北部
鬼無里地区	大平配水池	18㎡	18㎡×1池		北部
鬼無里地区	財又配水池	51㎡	51㎡×1池		北部
鬼無里地区	中田配水池	65㎡	65㎡×1池	容量3.6ℓ/時間 1台 貯蔵槽500×1槽	北部
鬼無里地区	大沢配水池	80㎡	40㎡×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	蓼畑配水池	80㎡	40㎡×2池		北部
鬼無里地区	山中配水池	27㎡	27㎡×1池	(送水ポンプ) 渦巻きポンプ 口径32mm 揚程150m 揚水量14.4㎡/日 電動機出力3.7kw 1台	北部
鬼無里地区	原配水池	22㎡	22㎡×1池		北部
鬼無里地区	文道配水池	39㎡	39㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽100ℓ×1槽 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部
鬼無里地区	上新倉配水池	40㎡	40㎡×1池		北部
鬼無里地区	土倉配水池	124㎡	62㎡×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量1.5ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽800ℓ×1槽 測定範囲0～2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中ポンプ 口径25mm 揚程82.2m 揚水量17㎡/日	北部
鬼無里地区	東京配水池	238㎡	57㎡×2池 62㎡×2池		北部
鬼無里地区	漆びら配水池	244㎡	122㎡×2池		北部
鬼無里地区	町上配水池	104㎡	52㎡×2池		北部
鬼無里地区	町下配水池	161㎡	40㎡×2池 81㎡×1池		北部
鬼無里地区	上平配水池	31㎡	31㎡×1池	(送水ポンプ) 渦巻き多段ポンプ 口径40mm 揚程119m 揚水量144㎡/日 電動機出力5.5kw 2台	北部
鬼無里地区	直路配水池	50㎡	50㎡×1池		北部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
鬼無里地区	萩之峯配水池	36㎡	36㎡×1池		北部
鬼無里地区	押一配水池	23㎡	23㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量3.6ℓ/時間 1台 貯蔵槽500×1槽	北部
鬼無里地区	押切配水池	7㎡	7㎡×1池	(加圧給水ポンプ) 加圧ポンプユニット 口径40mm 揚程62m 揚水量180㎡/日 電動機出力3.7kW 2台 (次亜塩素素注入設備) 電磁流量ポンプ 容量2.28ℓ/時間 2台 PVC製 貯蔵槽250×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～2mg/ℓ 1台	北部
大岡地区	高区配水池	65㎡	65㎡×1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
大岡地区	中区配水池	50㎡	25㎡×2池		西部
大岡地区	低区配水池	44㎡	22㎡×2池		西部
大岡地区	池田配水池	46㎡	23㎡×2池		西部
大岡地区	大岡日方配水池	52㎡	26㎡×2池		西部
大岡地区	中牧配水池	66㎡	33㎡×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 55m 揚水量 864㎡/日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
大岡地区	新田配水池	44㎡	22㎡×2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 55m 揚水量 57.6㎡/日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
大岡地区	聖北第2配水池	44㎡	22㎡×2池		西部
大岡地区	聖ヶ岡配水池	216㎡	108㎡×2池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 54m 揚水量 216.0㎡/日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
大岡地区	聖ヶ岡第2配水池	18㎡	18㎡×1池	(休止中)	西部
大岡地区	高峰寺配水池	120㎡	60㎡×2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 75m 揚水量 400.3㎡/日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
大岡地区	錦久保配水池	50㎡	25㎡×2池		西部
大岡地区	第1配水池	54㎡	27㎡×2池		西部
大岡地区	第2配水池	60㎡	30㎡×2池		西部
大岡地区	第3配水池	100㎡	50㎡×2池		西部
大岡地区	宮平配水池	80㎡	40㎡×2池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
大岡地区	小聖配水池	100㎡	50㎡×2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 80m 揚水量 475.2㎡/日 電動機出力 7.5kW 2台	西部
大岡地区	みどりの広場配水池	25㎡	6㎡×1池 19㎡×1池		西部
大岡地区	たら配水池	50㎡	25㎡×2池	(送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 155m 揚水量 201.6㎡/日 電動機出力 7.5kW 2台	西部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担 当
大岡地区	たらら低区配水池	120 m ³	60 m ³ × 2池	(加圧給水ポンプ) 給水ユニットポンプ 口径 30mm 揚程 20m 揚水量 110.88m ³ /日 電動機出力 0.4kW 2台	西部
大岡地区	芦ノ尻配水池	66 m ³	33 m ³ × 2池		西部
大岡地区	花尾配水池	66 m ³	33 m ³ × 2池		西部
大岡地区	大岡南部配水池	62 m ³	31 m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 (送水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 40mm 揚程 76m 揚水量 86.4m ³ /日 電動機出力 3.7kW 1台	西部
信州新町地区	花倉配水池	24 m ³	24 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	地場配水池	35 m ³	35 m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	穂刈配水池	1,006 m ³	1,006 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	穂刈第2配水池	504 m ³	252 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	下川配水池	108 m ³	54 m ³ × 2池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 40mm 揚程 200m 揚水量 115.2m ³ /日 電動機出力 11kW 2台	西部
信州新町地区	茂菅配水池	62 m ³	62 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	穴平配水池	51 m ³	51 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	切久保配水池	34 m ³	34 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	矢ノ尻配水池	24 m ³	24 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	寺尾配水池	43 m ³	43 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	西日時配水池	9 m ³	9 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	石畑配水池	21 m ³	21 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	刈内配水池	12 m ³	12 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	明賀配水池	52 m ³	52 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	大河配水池	54 m ³	54 m ³ × 1池	(送水ポンプ) 多段ポンプ 口径 50mm 揚程 240m 揚水量 288.0m ³ /日 電動機出力 18.5kW 2台	西部
信州新町地区	芦沢配水池	92 m ³	46 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	楡ノ木配水池	23 m ³	23 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	山秋配水池	25 m ³	25 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	安用配水池	302 m ³	151 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	橋場配水池	23 m ³	23 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	小迫沢配水池	23 m ³	23 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	平第2配水池	34 m ³	34 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	平第3配水池	60 m ³	30 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	竹房配水池	68 m ³	34 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	道祖神配水池	52 m ³	52 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	琵琶水配水池	8 m ³	8 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	伊切配水池	23 m ³	23 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	牧北第2配水池	616 m ³	308 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	下市場配水池	12 m ³	6 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	大原配水池	132 m ³	36 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	平清水配水池	21 m ³	96 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	大久保配水池	20 m ³	21 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	精進屋第2配水池	20 m ³	20 m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	直路配水池	7 m ³	2 m ³ × 1池 5 m ³ × 1池		西部

地 区	施 設 名	容 量	池 数	そ の 他	担当
信州新町地区	中原配水池	25 m ³	25 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	高萩配水池	21 m ³	21 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	鹿道配水池	50 m ³	50 m ³ × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
信州新町地区	日名配水池	24 m ³	24 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	置原配水池	20 m ³	20 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	吐根配水池	22 m ³	22 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	左右配水池	72 m ³	36 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	塩本配水池	72 m ³	36 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	和田配水池	35 m ³	35 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	橋木配水池	86 m ³	43 m ³ × 2池		西部
信州新町地区	味藤配水池	37 m ³	37 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	又田羅配水池	27 m ³	27 m ³ × 1池		西部
信州新町地区	中尾配水池	15 m ³	15 m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	芦沼配水池	90 m ³	45 m ³ × 2池		西部
中条地区	栗林配水池	31 m ³	31 m ³ × 1池		西部
中条地区	中条配水池	614 m ³	65 m ³ × 2池 242 m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (送水ポンプ) 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 多段ポンプ 口径 50mm 揚程 232m 揚水量 374.4 m ³ /日 電動機出力 22kW 2台	西部
中条地区	長井配水池	93 m ³	57 m ³ × 1池 36 m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	松ノ木配水池	40 m ³	40 m ³ × 1池		西部
中条地区	木郷配水池	52 m ³	26 m ³ × 2池		西部
中条地区	矢原配水池	28 m ³	28 m ³ × 1池		西部
中条地区	栗本配水池	220 m ³	110 m ³ × 2池		西部
中条地区	大塩配水池	50 m ³	50 m ³ × 1池		西部
中条地区	下古沢配水池	38 m ³	38 m ³ × 1池		西部
中条地区	里原配水池	170 m ³	40 m ³ × 2池 90 m ³ × 1池	(残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台 (加圧給水ポンプ) 水中モーターポンプ 口径 50mm 揚程 36m 揚水量 432.0 m ³ /日 電動機出力 3.7kW 2台	西部
中条地区	青木配水池	38 m ³	38 m ³ × 1池		西部
中条地区	角井配水池	23 m ³	23 m ³ × 1池		西部
中条地区	角井平配水池	34 m ³	34 m ³ × 1池		西部
中条地区	高福寺配水池	52 m ³	52 m ³ × 1池		西部
中条地区	須坂配水池	31 m ³	31 m ³ × 1池		西部
中条地区	臥雲配水池	40 m ³	40 m ³ × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	三ヶ野配水池	50 m ³	25 m ³ × 2池		西部
中条地区	桜出配水池	35 m ³	35 m ³ × 1池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	大柿配水池	50 m ³	25 m ³ × 2池	(次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 容量 0.1～0.360/時間 2台 貯蔵槽 1000/1槽 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	念仏寺配水池	40 m ³	40 m ³ × 1池		西部
中条地区	城調整槽	588 m ³	588 m ³ × 1池		西部

⑪ ポンプ場一覧

地区	施設名	送水ポンプ					その他	担当
		型式	口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m ³ /日)	電動機出力 (kW)	台数 (台)	
長野地区	若松町ポンプ場	水中モーターポンプ (往生地)	250	40	12,500	90	5 (ポンプ棟) 鉄筋コンクリート造 2階 294m ²	浄
	湯谷ポンプ場	水中モーターポンプ	200	117	4,608	150	2	維
	吉ポンプ場	水中モーターポンプ	40	110	144	5.5	1 (予備1)	維
	茂菅第1ポンプ場	水中モーターポンプ (茂菅系)	50	80	576	11	2	維
		多段渦巻ポンプ (地蔵平系)	40	238	290	18.5	2	
西山系小田切地区	滝沢第1ポンプ場	多段渦巻ポンプ (増圧ポンプ)	125	95	2,200	37	3 (2台並列運転)	維
	滝沢第2ポンプ場	多段渦巻ポンプ	125	98	2,000	37	3 (2台並列運転)	維
	平出ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	93	58	5.5	2	西部
西山系七二会地区	地藏堂ポンプ場	水中モーターポンプ	40	140	43	7.5	2	西部
	古藤ポンプ場	ラインポンプ	32	20	115	1.5	2	西部
西山系信更地区	浦池第1ポンプ場	多段渦巻ポンプ	125	134	1,728	45	2	西部
	浦池第2ポンプ場	多段渦巻ポンプ	125	140	1,584	45	2	西部
	大森ポンプ場	多段渦巻ポンプ (大森配水池系)	40	31	23	2.2	2	西部
		多段渦巻ポンプ (灰原配水池系)	50	160	360	15	2	
	灰原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	89	144	5.5	2	西部
松代地区	吉原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	103	216	7.5	2	西部
	象山中継ポンプ場	多段渦巻ポンプ	150×100	74	1,209	22	2 (内予備1)	南部
	前山ポンプ場	多段タービン	50	77	300	7.5	2 (内予備1)	南部
	瀬閑ポンプ場	多段タービン	40	135	172	7.5	2 (内予備1)	南部
	菅間ポンプ場	多段タービン	40	120	86	5.5	2 (内予備1)	南部
豊野地区	大日池ポンプ場	水中モーターポンプ	100	61	2,400	30	2 (内予備1)	南部
	大倉ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	200	288	15	2	維
	上組ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	210	86	11	2	維
戸隠地区	小瀬ポンプ場	水中モーターポンプ	40	83	220	7.5	2	維
	入石ポンプ場	水中モーターポンプ	40	68	245	3.7	2	維
	諸沢ポンプ場 (1号)	多段渦巻ポンプ	50	42.4	288	3.0	1	北部
戸隠地区	諸沢ポンプ場 (2号)	多段渦巻ポンプ	50	26	288	3.0	1	北部
	上楠川ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	144	230	11.0	2	北部
							(ポンプ棟) 10m ³ (次亜塩素素注入設備) 液中ピストンポンプ 容量1.50/時間 1台 PVC製 貯蔵槽500×1槽 (残留塩素計) 無試験形遊離塩素計 測定範囲0～3mg/ℓ 1台	北部

地区	施設名	送水ポンプ					その他	担当
		型式	口径 (mm)	揚程 (m)	揚水量 (m ³ /日)	電動機出力 (kw)		
戸隠地区	宇和原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	36	316	3.7	2 (ポンプ槽) 2.25m ³	北部
	母袋ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	36.5	540	3.7	2 (ポンプ槽) 2.25m ³	北部
	戸隠ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	85	288	5.5	2 (ポンプ槽) 2.25m ³	北部
	市野瀬ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	119	345	7.5	2 (ポンプ槽) 3.0m ³	北部
鬼無里地区	品沢ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	144	230	11.0	2 (ポンプ槽) 10m ³	北部
	蒲田ポンプ場(上平)	多段渦巻ポンプ	40	100	100	5.5	2 (ポンプ槽) 6.25m ³	北部
鬼無里地区	蒲田ポンプ場(萩之峯)	多段渦巻ポンプ	40	150	115	3.0	2 (ポンプ槽) 4.8m ³	北部
	たたら第1ポンプ場	水中モーターポンプ	40	128	122.4	7.5	2 (ポンプ槽) 6.0m ³	西部
大岡地区	聖北ポンプ場	加圧給水ポンプ	32	27	150.0	1.1	2 (ポンプ槽) 9.0m ³	西部
	下川ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	170	432.0	19	2 (ポンプ槽) 4.2m ³	西部
信州新町地区	安用ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	220	259.2	15	2 (ポンプ槽) 2.9m ³	西部
	千原田ポンプ場	加圧給水ポンプ	32	18	138.2	0.75	1 (ポンプ槽) 13.2m ³	西部
信州新町地区	竹房ポンプ場	水中モーターポンプ	40	42	381.6	3.7	1 (ポンプ槽) 6.0m ³	西部
	水中モーターポンプ	多段渦巻ポンプ	40	71	388.8	5.5	2 (ポンプ槽) 4.2m ³	西部
信州新町地区	琵琶水ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	90	50.4	1.1	2 (ポンプ槽) 2.9m ³	西部
	天神坂ポンプ場	多段渦巻ポンプ	50	117	432.0	11	1 (ポンプ槽) 6.0m ³	西部
信州新町地区	西日時ポンプ場	立型渦巻ポンプ	25	130	30.2	2.2	2 (ポンプ槽) 48m ³ ×2池 (旧配水池)	西部
	石畑ポンプ場	自吸遠心ポンプ	30	押 2 揚 6	136.8	0.2	1 (ポンプ槽) 6.5m ³	西部
信州新町地区	明賀ポンプ場	水中モーターポンプ	30	120	201.6	5.5	2 (ポンプ槽) 1.6m ³	西部
	切久保ポンプ場	自吸遠心ポンプ	30	2	86.4	0.215	1 (ポンプ槽) 3.97m ³	西部
信州新町地区	山秋ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	100	61.9	2.2	2 (ポンプ槽) 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽	西部
	道祖神ポンプ場	自吸遠心ポンプ	40	3	360.0	0.75	1 (ポンプ槽) 18m ³ (旧配水池)	西部
信州新町地区	牧北ポンプ場	立型渦巻ポンプ	32	76	69.1	2.2	2 (ポンプ槽) 12.6m ³	西部
	伊切ポンプ場	水中モーターポンプ	50	55	360.0	5.5	1 (ポンプ槽) 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽	西部
信州新町地区	高萩ポンプ場	多段渦巻ポンプ	25	80	25.9	1.5	2 (ポンプ槽) 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
	牧田中ポンプ場	自吸遠心ポンプ	30	押 1 揚 6	136.8	0.2	1 (ポンプ槽) 3.71m ³	西部
信州新町地区	直路ポンプ場	立型渦巻ポンプ	30	120	69.1	2.2	2 (ポンプ槽) 3.97m ³	西部
	日名ポンプ場	水中モーターポンプ	40	72	360.0	5.5	1 (ポンプ槽) 容量 0.1～0.36ℓ/時間 2台 貯蔵槽 1000ℓ/1槽	西部
信州新町地区	置原ポンプ場	多段渦巻ポンプ	30	39.4	201.6	2.2	2 (ポンプ槽) 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
	橋木ポンプ場	水中モーターポンプ	40	75	288.0	5.5	1 (ポンプ槽) 3.97m ³	西部
中条地区	下五十里ポンプ場	多段渦巻ポンプ (戸沼配水池系)	40	150	86.4	7.5	2 (ポンプ槽) 56m ³	西部
	長井ポンプ場	多段渦巻ポンプ (栗林配水池系)	40	175	86.4	11	2 (ポンプ槽) 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	清水ポンプ場	加圧給水ポンプ	40	57	374.4	5.5	1 (ポンプ槽) 56m ³	西部
	角井ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	190	172.8	11	2 (ポンプ槽) 測定範囲 0～2mg/ℓ 1台	西部
中条地区	木郷ポンプ場	多段渦巻ポンプ	40	240	172.8	11	1 (ポンプ槽) 6.25m ³	西部
		立型渦巻ポンプ	40	145	108.0	7.5	2 (ポンプ槽) 9.0m ³	西部
中条地区		多段渦巻ポンプ	25	200	86.4	7.5	2 (ポンプ槽) 9.0m ³	西部
		多段渦巻ポンプ	40	141	158.4	7.5	2 (ポンプ槽) 9.0m ³	西部

(8) 消火栓数

(R 7. 3. 31現在)

地区名 \ 種別	地 上 式	地 下 式	合 計
長 野 地 区	1,890	1,304	3,194
松 代 地 区	366	95	461
若 穂 地 区	365	38	403
西 山 地 区	245	1	246
豊 野 地 区	285	11	296
戸 隠 地 区	444	2	446
鬼 無 里 地 区	290	2	292
大 岡 地 区	281	1	282
信 州 新 町 地 区	346	3	349
中 条 地 区	271	9	280
合 計	4,783	1,466	6,249

(9) ダムの概要

	裾 花 ダ ム	奥 裾 花 ダ ム	大 町 ダ ム	戸 隠 水 源 池 ダ ム
位 置	長野市大字小鍋字神白沖	長 野 市 鬼 無 里	長野県大町市大字平地先	長 野 市 戸 隠
総事業費	3,289,568千円	7,575,000千円	47,471,173千円	820千円
工 期	昭和40年度～昭和44年度	昭和47年度～昭和54年度	昭和49年度～昭和60年度	大正元年度～大正 5 年度
	ダ ム	ダ ム	ダ ム	ダ ム
型 式	アーチ式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	ア ー ス フ ィ ル ダ ム
堤 頂 高	563m	873m	906m	1,119.95m
堤 高	83m	59m	107m	17.143m
堤 頂 長	211.16m	170m	338m	357.0m
堤 頂 巾	4m	4m	7m	5m
堤 体 積	119,864 m ³	152,000 m ³	765,000 m ³	195,000 m ³
放 流 設 備	鋼製圧着ローラーゲート 幅5.36m×高4.351m 2 門 鋼製テンダーゲート 幅9.0m×高6.8m 3 門	摺動式高圧ラジアルゲート 幅3.6m×高3.6m 1 門 鋼製ラジアルゲート 幅5.5m×高8.0m 2 門	ラジアルゲート 幅9.5m×高11.15m 2 門 高圧ラジアルゲート 幅3.4m×高2.85m 2 門	クレスト自由越流 幅55.0m×高1.2m 1 門
計画高水流量	1,180 m ³ /S	410 m ³ /S	1,500 m ³ /S	21 m ³ /S
計画放流量	520 m ³ /S	190 m ³ /S	400 m ³ /S	—
調節流量	660 m ³ /S	220 m ³ /S	1,100 m ³ /S	—
	貯 水 池	貯 水 池	貯 水 池	貯 水 池
集水面積	250km ²	65km ²	193km ²	4.1km ²
湛水面積	0.578km ²	0.3km ²	1.1km ²	0.046km ²
総貯水容量	15,000,000 m ³	5,400,000 m ³	33,900,000 m ³	225,100 m ³
有効貯水容量	10,000,000 m ³	3,300,000 m ³	28,900,000 m ³	217,900 m ³
水道用水容量	300,000 m ³	600,000 m ³	1,800,000 m ³	217,900 m ³
	費 用 配 分	費 用 配 分	費 用 配 分	費 用 配 分
治 水	88.6%	90.8%	89.9%	0 %
上 水 道	2.7% 22,000 m ³ /日	8.1% 長野市上水道 32,788 m ³ /日	5.6% 長野市上水道 100,000 m ³ /日	100% 長野市上水道 5,800 m ³ /日
発 電	8.7%	1.1%	4.5%	0 %

① 水源開発費（ダム負担金）とその財源

1) 裾花ダム

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金 費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
40	※1,004,123	2.7	31,000			31,000	
41	454,000						
42	627,000		29,000	1,466		27,500	34
43	998,000		23,000	1,163		21,800	37
44	206,446		5,775	303		5,400	72
計	3,289,569	2.7	88,775	2,932		85,700	143

※37年度 39,739,318
38年度 37,460,000
39年度 233,923,542 含む

1. 事業概要

- 1) 事業主体 長野県
2) 工事場所 長野市
3) ダム 多目的ダム 高さ83 m 長さ211.16 m
貯水量15,000,000 m³
4) 工期 昭和40年度～44年度
5) 総工事費 3,289,568,394 円

6) 建設負担金費用配分

- (1) 長野県（河川管理者） $\frac{886}{1,000}$
(2) 企業局（電気事業者） $\frac{87}{1,000}$
(3) 長野市（水道事業者） $\frac{27}{1,000}$
取水量 22,000 m³/日

2) 奥裾花ダム関係

(単位 千円)

年度	ダム事業費	建設負担金 費用配分	ダム負担金	財源			
				国庫補助金	県補助金	起債	その他
47	113,000	7.96708	12,786	909	2,557.2	9,300	19.8
48	330,000		13,770	1,119	2,754	9,800	97
49	411,000		46,229	3,756	9,245.8	33,200	27.2
50	661,000		48,196	4,406	7,882	35,900	8
51	1,400,000		117,048	39,016	14,046	63,900	86
52	2,114,000		172,128	57,376	20,655	94,000	97
53	1,986,000		154,424	51,474	18,531	84,400	19
54	492,000		38,925	12,975	4,671	21,200	79
計	7,575,000	7.96708	603,506	171,031	80,342	351,700	433

1. 事業概要

- 1) 事業主体 長野県 取水量 32,788m³/日
2) 工事場所 長野市鬼無里
3) ダム 多目的ダム 高さ59 m
長さ170 m 貯水量5,400,000 m³
4) 工期 昭和47年度～54年度
5) 総工事費 7,575,000 千円（計画7,600,000 千円）

6) 建設負担金費用配分

- (1) 長野県（河川管理者） $\frac{908}{1,000}$
(2) 企業局（電気事業者） $\frac{11}{1,000}$
(3) 長野市（水道事業者） $\frac{81}{1,000}$

3) 大町ダム関係

(単位 千円)

年度	ダ ム 事 業 費	建設負担金 費 用 配 分	ダム負担金	財 源			
				国庫補助金	県 補 助 金	起 債	そ の 他
49	※ 744,108	5.6	44,230	7,701	8,846	27,600	83
50	1,286,637		85,836	16,463	12,487	56,800	86
51	2,383,850		149,484	49,828	17,938	81,700	18
52	4,136,203		188,516	62,838	22,622	103,000	56
53	4,501,384		265,808	88,602	31,897	145,300	9
54	4,829,133		270,454	90,151	32,454	147,800	出資金 49
55	5,854,649		321,010	107,003	38,521	175,400	↓ 86
56	5,680,898		320,344	106,781	38,441	143,100	32,000 22
57	6,083,917		343,944	114,648	41,273	154,000	34,000 23
58	6,049,932		340,544	96,487	43,930	171,100	29,000 27
59	3,644,497		223,200	74,400	26,784	99,700	22,300 16
60	※2,275,965		105,016	35,005	12,601	46,900	10,500 10
計	47,471,173	5.6	2,658,386	849,907	327,794	1,352,400	127,800 485

※ 49年度ダム事業費は、47年度103,811 千円、48年度221,995 千円、49年度418,302 千円の合計額
60年度 “ 60年度2,227,103 千円、61年度49,199 千円、62年度△337 千円の合計額

1. 事業概要

1) 事業主体 国土交通省

2) 工事場所 大町市

3) ダ ム 多目的ダム 高さ107 m
長さ338 m 貯水量33,900,000 m³

4) 工 期 昭和47年度～60年度

5) 総工事費 47,471,173 千円

6) 建設負担金費用配分

(1) 国土交通省（河川管理者） $\frac{88.9}{100}$

(2) 東京電力㈱（電気事業者） $\frac{4.5}{100}$

(3) 長野市・高瀬広域水道企業団（大町市、池田町、松川村）（水道事業者） $\frac{6.6}{100}$

	取 水 量	水量比	全体事業費に対する割合	水道用水容量
長 野 市	100,000m ³ /日	84.7%	5.6 (0.847×6.6)	1,130,000m ³
※高瀬企業団	18,000 “	15.3%	1.0 (0.153×6.6)	670,000m ³
計	118,000 “	100 %	6.6	1,800,000m ³

※平成22年度～26年度 高瀬企業団分を国土交通省が補填

国土交通省（河川管理者） 89.9/100

東京電力㈱（電気事業者） 4.5/100

長 野 市（水道事業者） 5.6/100

5 経営状況

(1) 財 務 状 況

① 水道事業決算報告書

1) 収益的収入及び支出

収 入

(税込み) (単位：円)

区 分	予 算 額				決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第 24条第3項の規定 による支出額に係 る財源充当額	合 計			
第1款 水道事業収益	7,176,700,000	0	0	7,176,700,000	7,356,967,952	180,267,952	
第1項 営業収益	6,515,083,000	0	0	6,515,083,000	6,691,331,979	176,248,979	(注1)
第2項 営業外収益	661,616,000	0	0	661,616,000	665,635,973	4,019,973	(注2)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000	

(注1) 営業収益の決算額は、損益計算書の決算額6,086,050,176円に仮受消費税及び地方消費税605,281,803円を加えた額である。

(注2) 営業外収益の決算額は、損益計算書の決算額659,039,578円に仮受消費税及び地方消費税6,836,246円を加え、不納欠損に係る消費税及び地方消費税239,851円を除いた額である。

支 出

(税込み) (単位：円)

区 分	予 算 額								決 算 額	地方公営企業法第26条第2項の規定による 繰越額	不 用 額	備 考
	当初 予算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小 計	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合 計				
第1款 水道事業費用	6,516,900,000	0	0	0	0	6,516,900,000	0	6,516,900,000	5,948,796,935	0	568,103,065	
第1項 営業費用	5,945,642,000	0	0	0	0	5,945,642,000	0	5,945,642,000	5,471,156,709	0	474,485,291	(注1)
第2項 営業外費用	571,258,000	0	0	0	0	571,258,000	0	571,258,000	477,640,226	0	93,617,774	(注2)

(注1) 営業費用の決算額は、損益計算書の決算額5,303,055,882円に仮払消費税及び地方消費税168,100,827円を加えた額である。

(注2) 営業外費用の決算額は、損益計算書の決算額367,453,459円に仮払消費税及び地方消費税417,454円並びに消費税及び地方消費税111,950,200円を加え、非課税売上に係る消費税及び地方消費税等2,180,887円を除いた額である。

2) 資本的収入及び支出

収 入

(税込み)(単位:円)

区 分	予 算 額						決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額	合 計			
第1款 資本的収入	1,926,600,000		1,926,600,000	924,505,000	0	2,851,105,000	1,697,815,361	△1,153,289,639	
第1項 企業債	1,274,800,000	0	1,274,800,000	768,400,000	0	2,043,200,000	1,212,100,000	△ 831,100,000	
第2項 国庫補助金	46,870,000		46,870,000	38,926,000	0	85,796,000	22,140,000	△ 63,656,000	
第3項 工事負担金	232,099,000	0	232,099,000	34,626,000	0	266,725,000	90,157,320	△ 176,567,680	(注1)
第4項 受託建設収入	1,164,000	0	1,164,000	0	0	1,164,000	1,852,151	688,151	(注2)
第5項 出 資 金	371,666,000		371,666,000	82,553,000	0	454,219,000	371,550,000	△ 82,669,000	
第6項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	1,000	15,890	14,890	

(注1) うち、仮受消費税及び地方消費税2,038,400円

(注2) うち、仮受消費税及び地方消費税168,373円

支 出

(税込み)(単位:円)

区 分	予 算 額							決 算 額	翌年度繰越額			不 用 額	備 考
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合 計		
第1款 資本的支出	6,633,700,000	0	0	6,633,700,000	2,105,697,400	0	8,739,397,400	5,636,577,941	2,515,425,192	0	2,515,425,192	587,394,267	
第1項 建設改良費	4,862,675,000	0	0	4,862,675,000	2,105,697,400	0	6,968,372,400	3,865,601,487	2,515,425,192	0	2,515,425,192	587,345,721	(注)
第2項 企業債償還金	1,771,025,000	0	0	1,771,025,000	0	0	1,771,025,000	1,770,976,454	0	0	0	48,546	

(注) 決算額のうち、仮払消費税及び地方消費税は333,157,209円である。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,938,762,580円(1,697,815,361円-5,636,577,941円)は、減債積立金759,541,769円、過年度分損益勘定留保資金2,850,451,089円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額328,769,722円で補填した。

② 損益計算書

(税抜き)(単位:円)

勘 定 科 目	金 額		
1 営業収益			
(1) 給水収益	6,051,912,625		
(2) その他営業収益	34,137,551	6,086,050,176	
2 営業費用			
(1) 原水費	200,715,810		
(2) 浄水費	948,242,055		
(3) 配水及び給水費	827,515,345		
(4) 量水器管理費	132,666,173		
(5) 業務費	184,785,773		
(6) 総係費	258,340,589		
(7) 減価償却費	2,732,374,395		
(8) 資産減耗費	18,415,742	5,303,055,882	
営業利益			782,994,294
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	14,192,636		
(2) 他会計負担金	104,692,000		
(3) 加入金	65,154,400		
(4) 長期前受金戻入	455,219,084		
(5) 雑収	19,781,458	659,039,578	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	356,052,742		
(2) 雑支出	11,400,717	367,453,459	291,586,119
経常利益			1,074,580,413
当年度純利益			1,074,580,413
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			759,541,769
当年度未処分利益剰余金			1,834,122,182

③ 貸借対照表

(税抜き)(単位:円)

資 産 の 部			
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		2,317,616,061	
ロ 立木		1,840,665	
ハ 建物	2,693,273,190		
減価償却累計額	△ 1,216,583,037	1,476,690,153	
ニ 構築物	107,336,865,387		
減価償却累計額	△ 55,791,777,773	51,545,087,614	
ホ 機械及び装置	19,674,199,397		
減価償却累計額	△ 13,514,897,865	6,159,301,532	
ヘ 車両運搬具	166,552,504		
減価償却累計額	△ 136,310,311	30,242,193	
ト 工具器具及び備品	316,650,889		
減価償却累計額	△ 261,048,793	55,602,096	
チ 建設仮勘定		6,757,783,375	
有形固定資産合計			68,344,163,689
(2) 無形固定資産			
イ 施設利用権		954,439,041	
無形固定資産合計			954,439,041
固定資産合計			69,298,602,730
2 流動資産			
(1) 現金預金		14,652,930,639	
(2) 未収金	657,991,344		
(3) 貸倒引当金	△ 5,861,254	652,130,090	
(4) 貯蔵品		36,013,538	
(5) 前払金		394,790,092	
(6) 仮払金		710,724	
流動資産合計			15,736,575,083
資産合計			85,035,177,813

負債の部			
3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	27,007,569,618	27,007,569,618	
企業債合計			
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	666,662,338		
ロ 修繕引当金	1,375,090,535		
引当金合計		2,041,752,873	
固定負債合計			29,049,322,491
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,887,749,354		
企業債合計		1,887,749,354	
(2) 未払金		1,241,592,461	
(3) 預り金		19,469,198	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	67,426,917		
ロ 法定福利費引当金	14,004,332		
引当金合計		81,431,249	
流動負債合計			3,230,242,262
5 繰延収益			
(1) 長期前受金			
イ 受贈財産評価額	2,205,928,218		
収益化累計額	△ 1,355,597,736	850,330,482	
ロ 建設改良補助金	4,433,762,197		
収益化累計額	△ 2,652,906,370	1,780,855,827	
ハ 工事負担金	17,009,071,288		
収益化累計額	△ 10,271,851,842	6,737,219,446	
ニ 他会計負担金	4,284,576		
収益化累計額	△ 3,897,817	386,759	
ホ その他資本剰余金	520,967		
収益化累計額	△ 451,615	69,352	
ヘ 建設仮勘定		397,538,219	
繰延収益合計			9,766,400,085
負債合計			42,045,964,838
資本の部			
6 資本金			
(1) 自己資本金		37,642,869,851	
資本金合計			37,642,869,851
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	7,844,092		
ロ 建設改良補助金	56,376,850		
資本剰余金合計		64,220,942	
(2) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	3,448,000,000		
ロ 当年度未処分利益剰余金	1,834,122,182		
利益剰余金合計		5,282,122,182	
剰余金合計			5,346,343,124
資本合計			42,989,212,975
負債資本合計			85,035,177,813

④ 水道事業固定資産明細書

1) 有形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末償却 未済高
					当年度増加額	当年度減少額	累計	
土地	2,315,261,490	2,370,461	15,890	2,317,616,061	—	—	—	2,317,616,061
施設用地	2,313,250,507	2,370,461	15,890	2,315,605,078	—	—	—	2,315,605,078
その他用地	2,010,983	0	0	2,010,983	—	—	—	2,010,983
立木	1,840,665	0	0	1,840,665	—	—	—	1,840,665
建物	2,590,007,157	103,266,033	0	2,693,273,190	53,535,141	0	1,216,583,037	1,476,690,153
事務所用建物	164,227,001	0	0	164,227,001	3,942,628	0	114,142,712	50,084,289
施設用建物	2,314,167,950	103,266,033	0	2,417,433,983	47,077,331	0	1,020,596,846	1,396,837,137
倉庫車庫用建物	102,253,844	0	0	102,253,844	2,496,282	0	73,103,817	29,150,027
その他建物	9,358,362	0	0	9,358,362	18,900	0	8,739,662	618,700
構築物	104,942,319,156	2,461,709,592	67,163,361	107,336,865,387	2,003,759,336	55,936,028	55,791,777,773	51,545,087,614
原水及び浄水施設	15,742,225,189	125,841,074	0	15,868,066,263	274,147,062	0	8,746,036,857	7,122,029,406
配水施設	88,028,400,240	2,315,474,946	67,163,361	90,276,711,825	1,707,110,461	55,936,028	46,239,243,212	44,037,468,613
その他構築物	1,171,693,727	20,393,572	0	1,192,087,299	22,501,813	0	806,497,704	385,589,595
機械及び装置	19,302,861,502	459,606,926	88,269,031	19,674,199,397	587,585,121	82,073,941	13,514,897,865	6,159,301,532
電気設備	5,819,654,071	204,104,227	0	6,023,758,298	104,287,017	0	4,709,838,467	1,313,919,831
ポンプ設備	4,439,116,981	54,687,644	12,245,157	4,481,559,468	172,497,491	9,851,262	2,739,925,017	1,741,634,451
滅菌設備	2,810,126,661	0	0	2,810,126,661	145,662,771	0	1,824,455,639	985,671,022
計量設備	1,337,746,736	99,568,360	25,868,390	1,411,446,706	63,191,912	24,574,970	929,831,869	481,614,837
量水器	569,360,291	3,001,430	0	572,361,721	1,495,048	0	283,562,510	288,799,211
その他機械装置	4,326,856,762	98,245,265	50,155,484	4,374,946,543	100,450,882	47,647,709	3,027,284,363	1,347,662,180
車両運搬具	162,456,937	6,350,297	2,254,730	166,552,504	7,065,388	2,141,993	136,310,311	30,242,193
自動車	130,134,977	6,350,297	2,254,730	134,230,544	6,081,211	2,141,993	111,936,150	22,294,394
その他車両運搬具	32,321,960	0	0	32,321,960	984,177	0	24,374,161	7,947,799
工具器具及び備品	344,858,514	4,046,425	32,254,050	316,650,889	15,251,819	30,250,207	261,048,793	55,602,096
小計	129,659,605,421	3,037,349,734	189,957,062	132,506,998,093	2,667,196,805	170,402,169	70,920,617,779	61,586,380,314
建設仮勘定	6,249,680,944	1,615,747,542	1,107,645,111	6,757,783,375	—	—	—	6,757,783,375
合計	135,909,286,365	4,653,097,276	1,297,602,173	139,264,781,468	2,667,196,805	170,402,169	70,920,617,779	68,344,163,689

2) 無形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	耐用 年数	当 年 度 減価償却高	年 度 末 現 在 高	備 考
施設利用権	104,900,308	0	0	55年	11,466,614	93,433,694	奥裾花ダム使用権(旧上水道)
	791,451,897	0	0	55年	50,509,328	740,942,569	大町ダム使用権
	41,021,098	0	0	60年	1,717,634	39,303,464	市庁舎建設負担金(第2庁舎)
	7,533,691	0	0	60年	291,739	7,241,952	市庁舎建設負担金(松代若穂)
	1,845,476	0	0	55年	173,428	1,672,048	奥裾花ダム使用権(旧簡易水道)
	5,482,899	0	0	55年	106,192	5,376,707	令和4年度裾花ダム管理費負担金
	33,823,989	0	0	55年	655,102	33,168,887	令和4年度奥裾花ダム管理費負担金
	7,757,273	0	0	55年	147,388	7,609,885	令和5年度裾花ダム管理費負担金
	5,798,182	0	0	55年	110,165	5,688,017	令和5年度奥裾花ダム管理費負担金
		10,294,545	0	55年	0	10,294,545	令和6年度裾花ダム管理費負担金
		9,707,273	0	55年	0	9,707,273	令和6年度奥裾花ダム管理費負担金
計	999,614,813	20,001,818	0		65,177,590	954,439,041	

⑤ 収益費用構成

1) 収益構成

(税抜き)(単位：円、%)

区 分	令 和 5 年 度		令 和 6 年 度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
営 業 収 益	6,036,262,684	89.3	6,086,050,176	90.2	49,787,492	0.8
給 水 収 益	5,991,433,977	88.6	6,051,912,625	89.7	60,478,648	1.0
その他営業収益	44,828,707	0.7	34,137,551	0.5	△ 10,691,156	△ 23.8
営 業 外 収 益	700,438,802	10.3	659,039,578	9.8	△ 41,399,224	△ 5.9
受取利息及び配当金	11,505,542	0.2	14,192,636	0.2	2,687,094	23.4
他会計負担金	132,651,000	1.9	104,692,000	1.6	△ 27,959,000	△ 21.1
加 入 金	65,888,800	1.0	65,154,400	1.0	△ 734,400	△ 1.1
長期前受金戻入	465,679,042	6.9	455,219,084	6.7	△ 10,459,958	△ 2.2
雑 収 益	24,714,418	0.3	19,781,458	0.3	△ 4,932,960	△ 20.0
特 別 利 益	24,812,646	0.4	0	0.0	△ 24,812,646	皆減
その他特別利益	24,812,646	0.4	0	0.0	△ 24,812,646	皆減
合 計	6,761,514,132	100.0	6,745,089,754	100.0	△ 16,424,378	△ 0.2

2) 費用構成

(税抜き)(単位：円、%)

区 分	令 和 5 年 度		令 和 6 年 度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
営 業 費 用	5,275,532,672	93.0	5,303,055,882	93.5	27,523,210	0.5
原 水 費	327,916,736	5.8	200,715,810	3.5	△ 127,200,926	△ 38.8
浄 水 費	876,905,255	15.4	948,242,055	16.7	71,336,800	8.1
配水及び給水費	781,027,662	13.8	827,515,345	14.6	46,487,683	6.0
量水器管理費	142,277,781	2.5	132,666,173	2.3	△ 9,611,608	△ 6.8
業 務 費	175,706,690	3.1	184,785,773	3.3	9,079,083	5.2
総 係 費	195,048,997	3.4	258,340,589	4.6	63,291,592	32.4
減 価 償 却 費	2,770,638,480	48.9	2,732,374,395	48.2	△ 38,264,085	△ 1.4
資 産 減 耗 費	6,011,071	0.1	18,415,742	0.3	12,404,671	206.4
営 業 外 費 用	395,439,691	7.0	367,453,459	6.5	△ 27,986,232	△ 7.1
支払利息及び企業債取扱い諸費	379,355,960	6.7	356,052,742	6.3	△ 23,303,218	△ 6.1
雑 支 出	16,083,731	0.3	11,400,717	0.2	△ 4,683,014	△ 29.1
合 計	5,670,972,363	100.0	5,670,509,341	100.0	△ 463,022	0.0

3) 性質別費用構成

(税抜き)(単位:円、%)

区 分	令 和 5 年 度		令 和 6 年 度		前年度との比較	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	増 減	伸び率
職 員 給 与 費	713,716,698	12.6	815,985,930	14.4	102,269,232	14.3
給 料	358,541,691	6.3	385,851,563	6.8	27,309,872	7.6
手 当 等	179,752,541	3.2	203,474,633	3.6	23,722,092	13.2
賞与引当金繰入額	45,802,000	0.8	50,861,000	0.9	5,059,000	11.0
退 職 給 付 費	14,448,871	0.2	52,738,967	0.9	38,290,096	265.0
法 定 福 利 費	105,565,595	1.9	112,214,767	2	6,649,172	6.3
法定福利費引当金繰入額	9,606,000	0.2	10,845,000	0.2	1,239,000	12.9
備 消 品 費	16,163,483	0.3	17,541,956	0.3	1,378,473	8.5
通 信 運 搬 費	12,306,233	0.2	10,696,985	0.2	△ 1,609,248	△ 13.1
委 託 料	924,420,993	16.3	970,873,265	17.1	46,452,272	5.0
光 熱 水 費	13,047,576	0.2	14,837,769	0.3	1,790,193	13.7
賃 借 料	44,709,684	0.8	44,741,474	0.8	31,790	0.1
修 繕 費	118,912,132	2.1	95,594,373	1.7	△ 23,317,759	△ 19.6
工 事 請 負 費	47,689,000	0.9	39,731,000	0.7	△ 7,958,000	△ 16.7
動 力 費	313,433,593	5.5	349,025,767	6.2	35,592,174	11.4
薬 品 費	53,550,515	0.9	53,173,041	0.9	△ 377,474	△ 0.7
材 料 費	18,154,977	0.3	22,785,717	0.4	4,630,740	25.5
負 担 金	192,291,714	3.4	84,692,344	1.5	△ 107,599,370	△ 56.0
貸倒引当金繰入額	0	0	1,912,124	0.0	1,912,124	皆増
減 価 償 却 費	2,770,638,480	48.9	2,732,374,395	48.2	△ 38,264,085	△ 1.4
固定資産除却費	6,011,071	0.1	18,415,742	0.3	12,404,671	206.4
燃 料 費	8,127,373	0.1	7,822,476	0.1	△ 304,897	△ 3.8
企 業 債 利 息	379,355,960	6.7	356,052,742	6.3	△ 23,303,218	△ 6.1
そ の 他 物 件 費	38,442,881	0.7	34,252,241	0.6	△ 4,190,640	△ 10.9
合 計	5,670,972,363	100.0	5,670,509,341	100.0	△ 463,022	0.0

⑥ 経営状況の推移

(税抜き) (単位：千円、%)

項目 \ 年度	2		3		4		5		6	
	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率
総 収 益 (A)	6,935,024	△ 2.0	6,946,734	0.2	6,838,017	△ 1.6	6,761,515	△ 1.1	6,745,090	△ 0.2
経 常 収 益 (B)	6,932,576	△ 0.8	6,929,050	△ 0.1	6,838,017	△ 1.3	6,736,702	△ 1.5	6,745,090	0.1
営 業 収 益	6,058,533	△ 0.3	6,081,173	0.4	6,046,129	△ 0.6	6,036,263	△ 0.2	6,086,050	0.8
うち { 給 水 収 益	6,002,839	△ 0.6	6,043,832	0.7	6,006,027	△ 0.6	5,991,434	△ 0.2	6,051,913	1.0
受託工事収益	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
他 会 計 負 担 金	264,201	△ 3.6	232,365	△ 12.0	213,378	△ 8.2	132,651	△ 37.8	104,692	△ 21.1
総 費 用 (C)	5,517,293	△ 5.2	5,728,217	3.8	5,615,994	△ 2.0	5,670,963	1.0	5,670,509	△ 0.0
経 常 費 用 (D)	5,517,293	△ 3.8	5,692,287	3.2	5,615,994	△ 1.3	5,670,963	1.0	5,670,509	△ 0.0
営 業 費 用	5,048,210	△ 3.4	5,260,311	4.2	5,208,149	△ 1.0	5,275,533	1.3	5,303,056	0.5
うち { 人 件 費	721,883	△ 1.4	732,741	1.5	753,868	2.9	713,815	△ 5.3	816,273	14.4
減価償却費等	2,886,577	△ 0.1	2,888,657	0.1	2,805,316	△ 2.9	2,776,650	△ 1.0	2,750,790	△ 0.9
支 払 利 息 等	452,154	△ 6.9	422,874	△ 6.5	398,075	△ 5.9	379,356	△ 4.7	356,053	△ 6.1
経 常 損 (△) 益	1,415,283	12.6	1,236,763	△ 12.6	1,222,023	△ 1.2	1,065,729	△ 12.8	1,074,580	0.8
純 損 (△) 益	1,417,731	13.1	1,218,518	△ 14.1	1,222,023	0.3	1,090,542	△ 10.8	1,074,580	△ 1.5
累 積 欠 損 金	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
不 良 債 務	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
経 常 収 支 比 率 (B)/(D)	125.7	3.1	121.7	△ 3.2	121.8	0.1	118.8	△ 2.5	119.0	0.1
総 収 支 比 率 (A)/(C)	125.7	3.5	121.3	△ 3.5	121.8	0.4	119.2	△ 2.1	119.0	△ 0.2

⑦ 資本的支出とその財源の推移

(税込み) (単位：千円、%)

項 目 \ 年 度		2	3	4	5	6	対前年 増減率
資本的支出	建 設 改 良 費	4,498,157	3,704,133	4,600,886	2,585,105	3,865,601	49.5
	企 業 債 償 還 金	1,715,960	1,708,338	1,740,159	1,744,999	1,770,976	1.5
	そ の 他	0	0	0	0	0	—
	計	6,214,117	5,412,471	6,341,045	4,330,104	5,636,578	0.0
同 上 財 源	企 業 債	1,775,500	1,877,400	1,447,900	762,200	1,212,100	59.0
	国 庫 補 助 金	110,199	18,780	34,795	21,895	22,140	1.1
	他 会 計 出 資 金	377,299	198,083	276,117	237,123	371,550	56.7
	工 事 負 担 金	116,403	82,260	152,747	101,020	90,157	△ 10.8
	受 託 建 設 収 入	1,033	842	1,336	1,142	1,852	62.2
	そ の 他	52	0	14	3	16	433.3
	損益勘定留保資金等	3,445,964	2,920,239	4,035,063	2,997,727	3,609,993	20.4
	消費税資本的収支調整額	387,667	314,867	393,073	208,994	328,770	57.3
	計	6,214,117	5,412,471	6,341,045	4,330,104	5,636,578	30.2

(注) 財源のその他＝固定資産売却代金

⑧ 費目別原価構成

(単位：円)

科目		年度		2		3		4		5		6	
		有収水量		28,542,826 m³		28,523,729 m³		28,149,496 m³		28,149,496 m³		28,074,334 m³	
		経費		金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費
営業費用	原 水 費	216,813,389	7.60	230,371,409	8.18	230,371,409	8.18	327,916,736	11.74	200,715,810	7.15		
	浄 水 費	756,704,129	26.51	851,421,212	30.25	851,421,212	30.25	876,905,255	31.40	948,242,055	33.78		
	配水及び給水費	738,010,769	25.86	724,886,924	25.75	724,886,924	25.75	781,027,662	27.97	827,515,345	29.48		
	量水器管理費	87,132,881	3.05	176,908,798	6.28	176,908,798	6.28	142,277,781	5.09	132,666,173	4.73		
	業 務 費	182,049,651	6.38	177,442,409	6.30	177,442,409	6.30	175,706,690	6.29	184,785,773	6.58		
	総 係 費	180,922,294	6.34	210,623,881	7.48	210,623,881	7.48	195,048,997	6.98	258,340,589	9.20		
	減 価 償 却 費	2,796,151,374	97.96	2,858,639,992	101.55	2,858,639,992	101.55	2,770,638,480	99.20	2,732,374,395	97.33		
	資 産 減 耗 費	90,425,695	3.17	30,016,760	1.07	30,016,760	1.07	6,011,071	0.22	18,415,742	0.66		
	小 計	5,048,210,182	176.87	5,260,311,385	186.86	5,260,311,385	186.86	5,275,532,672	188.89	5,303,055,882	188.91		
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	452,154,380	15.84	422,874,253	15.02	422,874,253	15.02	379,355,960	13.58	356,052,742	12.68		
	雑 支 出	16,928,045	0.59	9,101,183	0.32	9,101,183	0.32	16,083,731	0.58	11,400,717	0.41		
	小 計	469,082,425	16.43	431,975,436	15.34	431,975,436	15.34	395,439,691	14.16	367,453,459	13.09		
合 計		5,517,292,607	193.30	5,692,286,821	202.20	5,692,286,821	202.20	5,670,972,363	203.05	5,670,509,341	202.00		
供 給 単 価		210.31		211.89		211.89		214.53		215.57			

⑨ 性質別原価構成

(単位：円)

科目		年度		2		3		4		5		6	
		有収水量		28,542,826 m³		28,523,729 m³		28,149,496 m³		28,149,496 m³		28,074,334 m³	
		経費		金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費	金 額	1 m³当 り経費
職員給与費	給 料	348,419,683	12.20	349,045,410	12.40	354,201,459	12.62	358,541,691	12.77	385,851,563	13.74		
	手 当 等	164,392,062	5.76	170,174,315	6.05	179,637,988	6.40	179,752,541	6.40	203,474,633	7.25		
	賞与引当金繰入額	48,508,793	5.76	42,715,646	6.05	46,731,103	1.66	45,802,000	1.63	50,861,000	1.81		
	法 定 福 利 費	106,483,841	5.76	105,931,994	6.05	108,093,967	3.85	105,565,595	3.76	112,214,767	4.00		
	法 定 福 利 費 引当金繰入額	9,524,354	5.76	8,384,509	6.05	9,078,985	0.32	9,606,000	0.34	10,845,000	0.39		
	賃 金	0	5.76	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00		
	退 職 給 付 費	44,455,767	1.56	56,209,296	2.00	55,865,517	1.99	14,448,871	0.51	52,738,967	1.88		
	小 計	721,784,500	42.56	681,361,015	38.60	753,609,019	26.84	713,716,698	25.41	815,985,930	29.07		
旅被備燃光印通委賃修動薬材負担福減資支そ	旅 費	77,060	0.00	340,590	0.01	1,027,161	0.04	1,038,852	0.04	1,654,987	0.06		
	被 服 費	1,184,841	0.04	1,378,930	0.05	1,402,790	0.05	1,453,590	0.05	1,633,620	0.06		
	備 消 品 費	14,456,305	0.51	14,918,406	0.53	14,904,678	0.53	16,163,483	0.58	17,541,956	0.62		
	燃 料 費	7,994,985	0.28	7,089,040	0.25	7,226,752	0.26	8,127,373	0.29	7,822,476	0.28		
	光 熱 水 費	12,217,380	0.43	13,712,434	0.49	15,561,747	0.55	13,047,576	0.46	14,837,769	0.53		
	印 刷 製 本 費	1,335,460	0.05	1,132,725	0.04	1,863,844	0.07	1,512,740	0.05	2,802,722	0.10		
	通 信 運 搬 費	14,369,470	0.50	13,834,685	0.48	12,883,023	0.46	12,306,233	0.44	10,696,985	0.38		
	委 託 料	682,798,434	23.92	731,202,450	25.98	889,919,580	31.70	924,420,993	32.93	970,873,265	34.58		
	賃 借 料	42,855,436	1.50	43,820,055	1.56	42,435,907	1.51	44,709,684	1.59	44,741,474	1.59		
	修 繕 費	139,283,677	4.88	181,931,465	6.46	104,508,244	3.72	118,912,132	4.24	95,594,373	3.41		
	動 力 費	250,851,913	8.79	280,557,415	9.97	368,251,956	13.12	313,433,593	11.16	349,025,767	12.43		
	薬 品 費	39,661,524	1.39	43,295,012	1.54	46,206,456	1.65	53,550,515	1.91	53,173,041	1.89		
	材 料 費	4,454,308	0.16	5,601,810	0.20	4,532,118	0.16	18,154,977	0.65	22,785,717	0.81		
	負 担 金	105,210,222	3.69	105,114,116	3.72	82,282,925	2.93	192,291,714	6.85	84,692,344	3.02		
	福 利 厚 生 費	2,292,281	0.08	2,215,122	0.08	2,141,525	0.08	2,203,819	0.08	2,162,000	0.08		
	減 価 償 却 費	2,796,151,374	97.96	2,858,639,992	101.55	2,769,537,772	98.65	2,770,638,480	98.69	2,732,374,395	97.33		
	資 産 減 耗 費	90,425,695	3.17	30,016,760	1.07	35,778,144	1.27	6,011,071	0.21	18,415,742	0.66		
	支 払 利 息	452,154,380	15.84	422,874,253	15.01	398,075,260	14.18	379,355,960	13.51	356,052,742	12.68		
	そ の 他	137,733,362	6.86	202,150,391	9.00	63,845,225	2.27	79,922,880	2.85	67,642,036	2.41		
合 計		5,692,286,821	193.30	5,692,286,821	202.20	5,615,994,126	200.04	5,670,972,363	201.99	5,670,509,341	201.99		
供 給 単 価		210.31		211.89		211.89		214.53		215.57			

⑩ 供給単価と給水原価の推移

年度 項目		2			3			4			5			6		
		金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年増減率(%)
供給単価		210.31	—	△ 1.0	211.89	—	△ 1.0	213.36	—	0.7	214.53	—	0.5	215.57	—	0.5
給水原価	資本費	113.80	64.8	△ 2.6	115.05	63.1	△ 2.6	112.53	61.7	△ 2.2	112.78	60.5	0.2	110.01	59.2	△ 2.5
	人件費	23.26	13.2	△ 2.1	23.89	13.1	△ 2.1	24.79	13.6	3.8	23.58	12.7	△ 4.9	26.87	14.5	14.0
	その他	38.67	22.0	△ 9.9	43.39	23.8	△ 9.9	45.11	24.7	4.0	50.02	26.8	10.9	48.89	26.3	△ 2.3
	計	175.73	100.0	△ 4.2	182.33	100.0	△ 4.2	182.43	100.0	0.1	186.38	100.0	2.2	185.77	100.0	△ 0.3
年間総有収水量 m³		28,542,826			28,523,729			28,149,496			27,928,746			28,074,334		
給水収益 千円		6,002,839			6,043,832			6,006,027			5,991,434			6,051,913		
費用合計 千円		5,015,893			5,200,755			5,135,276			5,205,293			5,215,290		

- (注) 1. 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量
2. 給水原価＝費用合計÷年間総有収水量
3. 資本費＝（支払利息＋減価償却費）÷年間総有収水量
4. 費用合計＝経常費用－（受託工事費＋材料売却原価＋長期前受金戻入）

⑪ 経常収益と料金収入の推移

（税抜き）（単位：千円、％）

年度 項目	経常収益		料金収入		経常収益に占める料金収入 $\frac{(B)}{(A)}$	料金改定	
	金額 (A)	対前年増減率	金額 (B)	対前年増減率		年 月 日	平均改定率
18	6,013,247	△ 0.5	5,665,864	△ 0.9	94.2		
19	5,989,417	△ 0.4	5,629,178	△ 0.6	94.0		
20	5,729,644	△ 4.3	5,412,214	△ 3.9	94.5		
21	5,857,554	2.2	5,447,908	0.7	93.0		
22	6,246,322	6.6	5,836,617	7.1	93.4	H 22. 6. 1	7.71
23	6,487,347	3.9	5,811,323	△ 0.4	89.6		
24	6,507,452	0.3	5,808,181	△ 0.1	89.3		
25	6,651,476	2.2	6,042,520	4.0	90.8	H 25. 6. 1	7.86
26	7,047,460	6.0	5,893,979	△ 2.5	83.6		
27	7,164,917	1.7	5,872,259	△ 0.4	82.0		
28	7,147,551	△ 0.2	5,877,229	0.1	82.2		
29	7,117,281	△ 0.4	6,101,255	3.8	85.7	H 29. 6. 1	5.49
30	7,127,839	0.1	6,186,958	1.4	86.8		
元	6,989,265	△ 1.9	6,040,027	△ 2.4	86.4		
2	6,932,576	△ 0.8	6,002,839	△ 0.6	86.6		
3	6,929,050	△ 0.1	6,043,832	0.7	87.2		
4	6,838,017	△ 1.3	6,006,027	△ 0.6	87.8		
5	6,736,701	△ 1.5	5,991,434	△ 0.2	88.9		
6	6,745,090	0.1	6,051,913	1.0	89.7		

⑫ 一般会計繰入金の推移

(単位：千円、%)

年 度				2 決算額 (対前年増減率)	3 決算額 (対前年増減率)	4 決算額 (対前年増減率)	5 決算額 (対前年増減率)	6 決算額 (対前年増減率)	備 考	
一般会計からの繰入金	収益勘定繰入金	営 業 収 益	基準内繰入金	13,036 (99.9)	9,251 (△29.0)	9,894 (7.0)	15,911 (60.8)	9,300 (△41.5)	消火栓維持管理費負担金	9,300
			基準外繰入金	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)		
		営業外 収 益	基準内繰入金	190,931 (1.7)	184,666 (△3.3)	169,094 (△8.4)	132,603 (△21.6)	104,157 (△21.5)	児童手当 旧簡水建設改良（利息） 旧簡水建設改良（臨時措置分利息） 旧簡水建設改良（統合後実施分利息） 旧簡水高料金対策	8,631 23,844 3,387 1,902 66,393
			基準外繰入金	73,270 (△15.1)	47,699 (△34.9)	44,284 (△7.2)	48 (△99.9)	535 (1014.6)	上水道化工事（利息） 寄付金（企業版ふるさと納税）	35 500
			計 (A)	277,237 (△1.2)	241,616 (△12.8)	223,272 (△7.6)	148,562 (△33.5)	113,992 (△23.3)		
	資本勘定繰入金	資 本 的 収 入	基準内繰入金	397,732 (33.7)	207,125 (△47.9)	286,420 (38.3)	242,611 (△15.3)	377,632 (△55.7)	消火栓設置負担金 災害・安全対策事業 脱炭素化事業 旧簡水建設改良（元金） 旧簡水建設改良（臨時措置分元金） 旧簡水建設改良（臨時措置分元金令和3年度以降同意分）	6,570 188,421 19,928 145,494 14,091 3,128
			基準外繰入金	440 (2.6)	452 (2.7)	464 (2.7)	476 (2.6)	488 (2.5)		
		計 (B)	398,172 (33.7)	207,577 (△47.9)	286,884 (38.2)	243,087 (△15.3)	378,120 (△55.5)			
	繰 入 金 合 計 (C)			675,409 (16.8)	449,193 (△33.5)	510,156 (13.6)	391,649 (△23.2)	492,112 (△25.7)		
	水道事業会計	収 益 的 収 入 (D)			6,935,024 (△2.0)	6,946,734 (0.2)	6,838,017 (△1.6)	6,761,514 (△1.1)	6,745,090 (△0.2)	
資 本 的 収 入 (E)			2,380,486 (27.3)	2,177,365 (△8.5)	1,912,909 (△12.1)	1,123,383 (△41.3)	1,697,815 (51.1)			
収 入 合 計 (F)			9,315,510 (4.2)	9,124,099 (△2.1)	8,750,926 (△4.1)	7,884,897 (△9.9)	8,442,905 (7.1)			
繰入率	収益的収入に対する率 $\frac{(A)}{(D)}$			4.0	3.5	3.3	2.2	1.7		
	資本的収入に対する率 $\frac{(B)}{(E)}$			16.7	9.5	15.0	21.6	22.3		
	総収入に対する率 $\frac{(C)}{(F)}$			7.3	4.9	5.8	5.0	5.8		

(注) 総務省「地方公営企業決算の状況」による区分

⑬ 企業債の状況

1) 現況

(単位：円、件、%)

項目	区分	企 業 債		前 年 度 末 未 償 還 高	当年度発行額	当年度償還額	当年度末未償還高	
		発行総額	件数				現 在 高	構成比
1. 政 府 資 金 財 務 省 理 財 局	14,953,900,000	66	4,996,444,921	0	687,065,618	4,309,379,303	14.9	
	14,953,900,000	66	4,996,444,921	0	687,065,618	4,309,379,303	14.9	
2. 機 構 資 金 地方公共団体金融機構	33,620,000,000	111	24,346,156,863	1,068,800,000	1,082,217,194	24,332,739,669	84.2	
	33,620,000,000	111	24,346,156,863	1,068,800,000	1,082,217,194	24,332,739,669	84.2	
3. 民 間 資 金 市 中 銀 行 等	279,500,000	5	111,593,642	143,300,000	1,693,642	253,200,000	0.9	
	279,500,000	5	111,593,642	143,300,000	1,693,642	253,200,000	0.9	
計	48,853,400,000	182	29,454,195,426	1,212,100,000	1,770,976,454	28,895,318,972	100.0	

(注) 借換債を含む。
企業債のうち、9 件は当年度で償還終了となった。

2) 企業債の推移

(単位：円、%)

年度 項目		2		3		4		5		6	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
借入	財 務 省 理 財 局	36400000	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	地方公共団体 金 融 機 構	1,739,100,000	97.9	1,877,400,000	100.0	1,447,900,000	100.0	652,300,000	85.6	1,068,800,000	88.2
	市中銀行等	0	0.0	0	0.0	0	0.0	109,900,000	14.4	143,300,000	11.8
	計	1,775,500,000	100.0	1,877,400,000	100.0	1,447,900,000	100.0	762,200,000	100.0	1,212,100,000	100.0
償還	利 息	452,154,380	20.9	422,874,253	19.8	398,075,260	18.6	379,355,960	17.9	356,052,814	16.7
	元 金	1,715,960,161	79.1	1,708,337,812	80.2	1,740,159,114	81.4	1,744,998,513	82.1	1,770,976,454	83.3
	計	2,168,114,541	100.0	2,131,212,065	100.0	2,138,234,374	100.0	2,124,354,473	100.0	2,127,029,268	100.0
年度末未償還高		30,560,190,865	—	30,729,253,053	—	30,436,993,939	—	29,454,195,426	—	28,895,318,972	—

3) 企業債借入先別・利率別未償還残高表

R 7. 3. 31現在 (単位: 件、円)

利 率 %	財務省理財局		地方公共団体金融機構		市中銀行等		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
0.001	0	0	1	1,438,665	0	0	1	1,438,665
0.040	2	27,310,916	0	0	0	0	2	27,310,916
0.100	1	5,087,865	0	0	0	0	1	5,087,865
0.150	0	0	1	645,017	0	0	1	645,017
0.200	0	0	2	45,709,263	0	0	2	45,709,263
0.300	0	0	2	1,472,900,000	0	0	2	1,472,900,000
0.400	1	5,305,241	1	67,400,000	0	0	2	72,705,241
0.500	1	6,430,237	8	4,873,837,523	0	0	9	4,880,267,760
0.535	0	0	0	0	1	109,900,000	1	109,900,000
0.550	0	0	2	2,814,464	0	0	2	2,814,464
0.600	0	0	8	3,403,391,856	0	0	8	3,403,391,856
0.700	0	0	3	1,827,000,000	0	0	3	1,827,000,000
0.900	3	107,383,810	2	6,914,938	0	0	5	114,298,748
0.950	0	0	1	1,354,722	0	0	1	1,354,722
0.989	0	0	0	0	2	0	2	0
1.000	0	0	1	3,428,819	0	0	1	3,428,819
1.100	0	0	0	0	2	143,300,000	2	143,300,000
1.200	1	5,543,235	4	1,422,135,564	0	0	5	1,427,678,799
1.300	0	0	6	1,546,083,312	0	0	6	1,546,083,312
1.350	0	0	1	1,719,212	0	0	1	1,719,212
1.400	0	0	8	2,155,278,599	0	0	8	2,155,278,599
1.500	0	0	5	1,300,724,408	0	0	5	1,300,724,408
1.600	3	277,552,483	0	0	0	0	3	277,552,483
1.650	0	0	1	127,360,416	0	0	1	127,360,416
1.700	2	230,231,512	4	1,493,818,116	0	0	6	1,724,049,628
1.900	5	931,853,263	11	1,345,039,149	0	0	16	2,276,892,412
2.000	15	1,114,700,566	7	1,438,160,600	0	0	22	2,552,861,166
2.050	0	0	2	313,819,514	0	0	2	313,819,514
2.100	14	1,327,813,086	17	1,276,537,237	0	0	31	2,604,350,323
2.150	0	0	4	35,806,800	0	0	4	35,806,800
2.200	3	50,907,163	6	159,279,711	0	0	9	210,186,874
2.300	1	14,250,333	1	10,141,764	0	0	2	24,392,097
2.600	3	113,922,131	0	0	0	0	3	113,922,131
2.700	1	8,691,091	0	0	0	0	1	8,691,091
2.850	0	0	1	0	0	0	1	0
2.900	0	0	1	0	0	0	1	0
3.150	2	24,243,797	0	0	0	0	2	24,243,797
3.400	3	58,152,574	0	0	0	0	3	58,152,574
3.850	2	0	0	0	0	0	2	0
4.200	1	0	0	0	0	0	1	0
4.650	2	0	0	0	0	0	2	0
計	66	4,309,379,303	111	24,332,739,669	5	253,200,000	182	28,895,318,972

4) 建設投資額に占める企業債比率の推移

(税込み) (単位: 千円、%)

項目 年度	建設投資額 ①		企業債 ②		建設投資額に占める 企業債の比率②/①
	金額	対前年増減率	金額	対前年増減率	
17	1,738,114	12.5	953,600	54.9	54.9
18	2,370,164	36.4	1,428,600	49.8	60.3
19	1,656,953	△30.1	946,100	△33.8	57.1
20	2,350,054	41.8	1,450,000	53.3	61.7
21	2,626,223	11.8	1,883,000	29.9	71.7
22	2,332,251	△11.2	1,404,300	△25.4	60.2
23	3,061,313	31.3	2,061,200	46.8	67.3
24	2,875,320	△6.1	1,719,300	△16.6	59.8
25	3,069,221	6.7	1,900,600	10.5	61.9
26	3,414,017	11.2	1,727,600	△9.1	50.6
27	3,629,257	6.3	1,802,300	4.3	49.7
28	3,285,502	△9.5	1,660,300	△7.9	50.5
29	3,903,536	18.8	2,085,000	25.6	53.4
30	3,847,903	△ 1.4	1,709,200	△ 18.0	44.4
元	3,051,513	△ 20.7	1,472,900	△ 13.8	48.3
2	4,498,157	47.4	1,775,500	20.5	39.5
3	3,704,133	△ 17.7	1,877,400	5.7	50.7
4	4,600,886	24.2	1,447,900	△ 22.9	31.5
5	2,585,105	△ 43.8	762,200	△ 47.4	29.5
6	3,865,601	49.5	1,212,100	59.0	31.4

(注) 建設投資額＝建設改良費総額－受託建設費
企業債に借換債を含まない。

⑭ 経営比較分析

(注) ()内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項 目		算 出 方 法	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	6 年 度基礎数値
自己資本構成比率 (%)		$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}}{\text{負債}+\text{資本合計}} \times 100$	59.10	59.19	59.70	61.06	62.04	$\frac{37,642,870\text{千円}+5,346,343\text{千円}+9,766,400\text{千円}}{85,035,178\text{千円}} \times 100$
普 及 率 (%)		$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$	72.00	71.96	71.90	72.54	71.87	$\frac{259,125\text{人}}{360,540\text{人}} \times 100$
経 営 の 健 全 性 ・ 効 率 性	経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	(112.36) 125.65	(112.26) 121.73	(110.04) 121.76	(109.57) 118.79	118.95	$\frac{6,745,090\text{千円}}{5,670,509\text{千円}} \times 100$
	累積欠損金比率 (%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	(0.29) 0.00	(0.25) 0.00	(0.13) 0.00	(0.00) 0.00	0.00	$\frac{0\text{円}}{6,086,050\text{千円}} \times 100$
	流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	(306.08) 569.62	(306.15) 529.39	(297.54) 467.04	(289.44) 509.53	487.16	$\frac{15,736,575\text{千円}}{3,230,242\text{千円}} \times 100$
	企業債残高対 給水収益比率 (%)	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{給水収益}} \times 100$	(294.66) 509.10	(285.27) 508.44	(294.73) 506.77	(301.23) 491.61	477.46	$\frac{28,895,319\text{千円}}{6,051,913\text{千円}} \times 100$
	料 金 回 収 率 (%)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{経常費用}-\text{長期前受金戻入}} \times 100$	(103.75) 119.68	(105.30) 116.21	(102.34) 116.96	(101.11) 115.10	116.04	$\frac{6,051,913\text{千円}}{5,215,290\text{千円}} \times 100$
	給 水 原 価 (円)	$\frac{\text{経常費用}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	(159.93) 175.73	(162.77) 182.33	(170.87) 182.43	(171.09) 186.38	185.77	$\frac{5,215,290\text{千円}}{28,074,334\text{m}^3}$
	施 設 利 用 率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	63.12 55.21	(62.57) 55.24	(61.56) 47.43	(60.84) 46.98	47.29	$\frac{90,110\text{m}^3}{190,548\text{m}^3} \times 100$
老 朽 化 の 状 況	有形固定資産 減 価 償 却 率 (%)	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却資産}} \times 100$	(50.31) 50.27	(50.74) 51.44	(51.48) 52.40	(51.94) 53.73	54.48	$\frac{70,920,618\text{千円}}{130,187,541\text{千円}} \times 100$
	管路経年化率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(21.34) 22.90	(23.27) 24.75	(25.18) 27.44	(26.52) 30.23	32.58	$\frac{811.09\text{km}}{2,489.64\text{km}} \times 100$
	管 路 更 新 率 (%)	$\frac{\text{当該年度に更新した導送配水管延長}}{\text{導送配水管延長}} \times 100$	(0.69) 0.79	(0.69) 0.55	(0.67) 0.25	(0.61) 0.18	0.25	$\frac{6.13\text{km}}{2,489.64\text{km}} \times 100$

※普及率については、行政区域内に県営水道事業区域が存在するため、同事業区域を除いた給水区域内人口で算出すると99.83%になる。

(参 考)

項 目		算 出 方 法	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	6 年 度基礎数値
耐 震 化 の 状 況	管路の耐震管率 (%)	$\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	14.4	15.8	16.2	16.4	16.8	$\frac{417.63\text{km}}{2,489.64\text{km}} \times 100$
	基幹管路の耐震管率 (%)	$\frac{\text{基幹管路のうち耐震管延長}}{\text{基幹管路延長}} \times 100$	41.5	43.2	43.8	44.0	44.5	$\frac{160.51\text{km}}{361.01\text{km}} \times 100$

⑮ 経 営 分 析

(注) ()内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項 目		算 出 方 法	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	6 年 度基礎数値
負 荷 率 (%)		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	(88.2) 91.7	(91.5) 91.1	(87.8) 90.2	(91.6) 93.9	94.0	$\frac{90,110\text{m}^3}{95,836\text{m}^3} \times 100$
最大稼働率 (%)		$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	(71.6) 60.2	(68.4) 60.6	(70.1) 52.6	(66.4) 50.0	50.3	$\frac{95,836\text{m}^3}{190,548\text{m}^3} \times 100$
有 効 率 (%)		$\frac{\text{年間総有効水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	89.6	88.9	88.2	88.2	88.2	$\frac{29,009,958\text{m}^3}{32,890,166\text{m}^3} \times 100$
配水管使用効率 (m^3/m)		$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	(18.9) 13.5	(18.9) 13.4	(18.6) 13.3	(18.4) 131.5	132.1	$\frac{32,890,166\text{m}^3}{248,964\text{m}}$
配水管と給水人口 (人/km)		$\frac{\text{給水人口}}{\text{導送配水管延長}}$	(159.3) 108.5	(160.6) 107.4	(159.2) 106.2	(157.8) 106.0	104.1	$\frac{259,125\text{人}}{2,489.64\text{km}}$
供 給 単 価 (円)		$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有効水量}}$	(165.94) 210.31	(171.39) 211.89	(169.88) 213.36	(172.99) 214.53	215.57	$\frac{6,051,913\text{千円}}{28,074,334\text{m}^3}$
職 員 一 人 当 たり	給 水 人 口 (人)	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	(3,292) 2,850	(3,326) 2,830	(3,269) 2,804	(3,247) 2,717	2,566	$\frac{259,125\text{人}}{101\text{人}}$
	給 水 量 (m^3)	$\frac{\text{年間総有効水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	(351,591) 303,647	(353,219) 303,444	(343,113) 299,463	(339,160) 287,925	277,964	$\frac{28,074,334\text{m}^3}{101\text{人}}$
	営 業 収 益 (千円)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	(61,008) 64,452	(63,277) 64,693	(61,227) 64,321	(61,843) 62,230	60,258	$\frac{6,086,060\text{千円}}{101\text{人}}$
	有形固定資産 (千円)	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益・資本勘定所属職員数}}$	(463,396) 539,394	(472,481) 553,171	(478,128) 560,594	(486,557) 548,662	542,414	$\frac{68,344,164\text{千円}}{126\text{人}}$

※職員数については、令和2年度から会計年度任用職員を含める。

⑯ 財 務 分 析

(注) ()内は給水人口15万人以上30万人未満の都市平均

項 目		算 出 方 法	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	6 年 度基礎数値 (単位：千円)
固 定 資 産 構 成 比 率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	(87.6) 81.8	(87.7) 80.8	(87.9) 81.2	(88.2) 81.0	81.5	$\frac{69,298,603}{85,035,178} \times 100$
固 定 負 債 構 成 比 率 (%)		$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	(25.6) 37.7	(25.1) 37.2	(24.7) 36.3	(25.1) 35.2	34.2	$\frac{29,049,322}{85,035,178} \times 100$
固定資産対 長期資本比率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	(91.3) 84.5	(90.7) 83.9	(91.6) 84.6	(91.9) 84.1	84.7	$\frac{69,298,603}{81,804,935} \times 100$
固 定 比 率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	(124.6) 138.4	(122.5) 136.5	(123.4) 136.0	(124.6) 132.7	131.4	$\frac{69,298,603}{52,755,613} \times 100$
当 座 比 率 (%)		$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	(290.2) 567.0	(290.5) 528.3	(281.6) 466.1	(272.9) 487.7	473.8	$\frac{15,305,061}{3,230,242} \times 100$
現 金 比 率 (%)		$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	(258.8) 542.3	(260.0) 510.0	(251.5) 446.4	(241.4) 469.6	453.6	$\frac{14,652,931}{3,230,242} \times 100$
総収支比率 (%)		$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	(112.6) 125.7	(112.2) 121.3	(110.1) 121.8	(109.6) 119.2	119.0	$\frac{6,745,090}{5,670,509} \times 100$
営業収支比率 (%)		$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	(102.2) 120.0	(103.3) 115.6	(97.9) 116.1	(99.1) 114.4	114.8	$\frac{6,086,050}{5,303,056} \times 100$
利子負担率 (%)		$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金等} + \text{固定負債 (企業債)} + \text{流動負債 (企業債)}} \times 100$	(1.5) 1.5	(1.4) 1.4	(1.3) 1.3	(1.2) 1.3	1.2	$\frac{356,053}{28,895,319} \times 100$
企業債償還元金対 減価償却額比率 (%)		$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	(72.8) 74.8	(72.4) 72.2	(71.9) 76.0	(69.9) 75.7	77.8	$\frac{1,770,976}{2,277,155} \times 100$
企業債利息対 料金収入比率 (%)		$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	(4.5) 7.5	(4.0) 7.0	(3.8) 6.6	(3.6) 6.3	5.9	$\frac{356,053}{6,051,913} \times 100$
企業債元利償還元 対料金収入比率 (%)		$\frac{\text{企業債元利償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$	(25.7) 36.1	(25.1) 35.3	(25.9) 35.6	(25.4) 35.5	35.1	$\frac{2,127,029}{6,051,913} \times 100$

(2) 水道料金

① 用途別使用水量及び料金調定状況（税抜き）

区分 用途	年度	給 水 件 数		有 収 水 量		調 定 金 額		備 考	
		件数（件）	対前年比（%）	水 量（m ³ ）	対前年比（%）	料 金（円）	対前年比（%）	供給単価（円）	対前年比（%）
一般家事用	2	125,443	100.9	21,494,008	103.7	4,220,982,571	102.8	196.38	99.1
	3	126,709	101.0	21,205,283	98.7	4,193,769,564	99.4	197.77	100.7
	4	127,088	100.3	20,802,999	98.1	4,147,377,209	98.9	199.36	100.8
	5	127,410	100.3	20,426,845	98.2	4,092,691,096	98.7	200.36	100.5
	6	128,071	100.5	20,244,893	99.1	4,070,818,159	99.5	201.08	100.4
業 務 用	2	10,294	99.9	7,000,320	91.4	1,764,285,006	92.0	252.03	100.6
	3	10,219	99.3	7,267,701	103.8	1,831,530,575	103.8	252.01	100.0
	4	10,249	100.3	7,291,232	100.3	1,839,142,237	100.4	252.24	100.1
	5	10,186	99.4	7,446,156	102.1	1,880,182,149	102.2	252.50	100.1
	6	10,145	99.6	7,772,044	104.4	1,961,844,495	104.3	252.42	100.0
公衆浴場用	2	10	100.0	20,599	97.1	1,177,379	97.8	57.16	100.7
	3	10	100.0	19,467	94.5	1,129,832	96.0	58.04	101.5
	4	10	100.0	17,996	92.4	1,068,051	94.5	59.35	102.3
	5	10	100.0	20,959	116.5	1,192,497	111.7	56.90	95.9
	6	10	100.0	19,930	95.1	1,149,276	96.4	57.67	101.4
別 荘 地 用	2	279	98.6	27,899	115.8	16,394,198	107.4	587.63	92.8
	3	272	97.5	31,278	112.1	17,401,601	106.1	556.35	94.7
	4	267	98.2	37,269	119.2	18,439,543	106.0	494.77	88.9
	5	259	97.0	34,786	93.3	17,368,235	94.2	499.29	100.9
	6	258	99.6	37,467	107.7	18,100,695	104.2	483.11	96.8
合 計	2	136,026	100.8	28,542,826	100.4	6,002,839,154	99.4	210.31	99.0
	3	137,210	100.9	28,523,729	99.9	6,043,831,572	100.7	211.89	100.8
	4	137,614	100.3	28,149,496	98.7	6,006,027,040	99.4	213.36	100.7
	5	137,865	100.2	27,928,746	99.2	5,991,433,977	99.8	214.53	100.5
	6	138,484	100.5	28,074,334	100.5	6,051,912,625	101.0	215.57	100.5

注）件数は年度末の給水件数

② 1戸当たり1ヵ月平均使用水量及び水道料金（税込み）

（単位：m³・円）

年 度	一 般 家 事 用		業 務 用		公 衆 浴 場 用		別 荘 地 用		平 均	
	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金	水 量	料 金
2	14.4	3,108	55.6	15,417	171.7	10,793	6.7	4,345	17.6	4,066
3	14.1	3,062	58.1	16,108	162.2	10,357	7.5	4,560	17.4	4,064
4	13.7	3,006	58.5	16,222	150.0	9,790	8.9	4,857	17.1	4,012
5	13.4	2,958	59.9	16,624	174.7	10,931	8.7	4,764	16.9	3,993
6	13.3	2,934	62.7	17,404	166.1	10,535	9.4	5,005	17.0	4,024

注) (1) 1ヵ月の使用水量 = $\frac{\text{総使用水量}}{\text{調定延件数}} \div 2$ （小数点第2位四捨五入）

(2) 1ヵ月の料金 = $\frac{\text{総水道料金}}{\text{調定延件数}} \div 2$ （円未満の端数は四捨五入）

③ 水道料金の徴収方法（隔月徴収）

（単位：件・％）

項目 年度	納 付 制		口 座 振 替 制		計	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比
2	33,403	24.7	101,953	75.3	135,356	100.0
3	34,012	25.0	102,280	75.0	136,292	100.0
4	34,685	25.3	102,948	74.7	137,183	100.0
5	35,330	25.7	102,244	74.3	137,574	100.0
6	35,830	26.0	102,054	74.0	137,884	100.0

注) (1) 年間の平均値で掲載。

(2) 口座振替制については領収書は交付しない。但し、振替後の検針時に配布している。
『使用水量のお知らせ』に「上・下水道料金振替済のお知らせ」として記載している。

④ 水道料金収納状況（税込み）

（R 7. 3. 31現在）（単位：件・円・％）

年 度	調 定		収 入		未 収		収納率（金額比）	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	R 7. 3 月末	各年度の翌年度5月末
2	811,953	6,603,123,069	811,926	6,601,480,224	27	1,642,845	99.98	99.60
3	818,009	6,648,214,743	817,670	6,646,241,790	339	1,972,953	99.97	99.64
4	823,342	6,606,629,762	822,578	6,601,118,649	764	5,511,113	99.92	99.58
5	825,252	6,590,577,695	824,213	6,584,080,084	1,039	6,497,611	99.90	99.64
6	827,203	6,657,104,171	750,054	6,121,981,037	77,149	535,123,134	91.96	99.69

⑤ 検針件数（隔月検針）

（単位：件）

年 度	上水道メーター	井戸メーター	減算メーター	合 計	3月の検針員数 (人)	検針員1人当りの 1ヶ月平均検針数
2	156,201	748	25	156,974	64	1,225
3	157,074	742	23	157,839	59	1,337
4	157,775	732	22	158,529	59	1,343
5	158,522	704	20	159,246	56	1,421
6	159,607	681	23	160,311	50	1,603

※ 件数は年度末の件数（2月、3月の合計）

※ 篠ノ井・川中島・更北地区は県企業局委託法人で検針（本表に含まない）

※ 井戸メーター・減算メーターは、地区にかかわらず全て市上下水道局委託法人で検針

※ 集合住宅：764棟 20,169件（市給水地区内、集中検針対象件数 R7. 3月現在）

⑥ 旧上水道事業・旧簡易水道事業別調定内訳（税込み）

（単位：件・m³・円）

年度	件 数			料 金 水 量			水 道 料 金		
	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計	旧上水	旧簡水	合 計
2	777,333	34,620	811,953	27,601,183	941,643	28,542,826	6,371,177,933	231,945,136	6,603,123,069
3	783,745	34,264	818,009	27,604,437	919,292	28,523,729	6,420,888,213	227,326,530	6,648,214,743
4	789,482	33,860	823,342	27,224,970	924,526	28,149,496	6,376,863,344	229,766,418	6,606,629,762
5	791,823	33,429	825,252	27,041,891	886,855	27,928,746	6,369,155,888	221,421,807	6,590,577,695
6	794,344	32,859	827,203	27,192,593	881,741	28,074,334	6,436,024,593	221,079,578	6,657,104,171

⑦ 水道料金表

(1 カ月につき)

用 途		メーターの口径 (ミリメートル)	基 本 料 金		水 量 料 金	
			使用水量	料 金 (円)	使用水量 (立方メートル)	料 金 (円)
一 般 用		13		1,199	1～ 10	1 立方メートル につき 68.2
		20		1,650	11～ 20	174.9
		25		2,112	21～ 30	189.2
		30		2,552	31～ 50	215.6
					51～100	250.8
					101以上	269.5
		40		4,367	1～ 50	204.6
		50		8,602	51～100	265.1
		75		17,776	101以上	269.5
		100		33,440		
		150		86,636		
		200		171,732		
		350		697,719		
公 衆 浴 場 用		13		1,023		
		20		1,408		
		25		1,793	1～1,200	46.2
		30		2,167	1,201以上	103.4
		40		3,674		
		50		7,238		
別 荘 用	飯 綱 高 原 地 区		10立方メー トルまで	3,905	11～ 20	203.5
					21～ 40	231
					41～100	264
					101以上	297
	飯 綱 高 原 地 区 以 外 の 地 区		10立方メー トルまで	2,255	11以上	192.5

注) 水道料金は上記表に基づき算出した基本料金と水量料金の合算額とする。(円未満切り捨て)

総額表示(税込み)

平成25年6月1日施行 改定率 平均7.86%

平成26年4月1日施行 (消費税5%→8%に伴う改定)

平成29年6月1日施行 改定率 平均5.49%

令和元年10月1日施行 (消費税8%→10%に伴う改定)

(参 考) 県営水道料金表

(1 カ月につき)

メーターの口径	基 本 水 量	料 金	超 過 料 金
13 ミリメートル	10 立方メートルまで	1,413円	基本水量を超える 1 立方メートルについて 190円
20	20	3,313	
25	25	4,263	
30	40	7,113	
40	60	10,913	
50	100	18,513	
75	200	37,513	
100	300	56,513	
125	400	75,513	
150	600	113,513	
200	1,000	189,513	

メーター口径20ミリメートルで基本水量に満たない場合

使用水量	料 金
10立方メートル以下	2,373
10立方メートルを超え15立方メートル以下	2,843

(3) 審議会（長野市上下水道事業経営審議会）

① 概 要

- 1) 根拠条例 長野市上下水道事業経営審議会条例（平成6年長野市条例第19号）
（平成19年4月1日に長野市水道料金等審議会条例を改正し施行）
- 2) 設置目的 水道事業及び下水道事業の経営に関し、必要な事項を審議するため。
- 3) 任 務 上下水道事業管理者の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査及び審議する。
 - ・水道事業及び下水道事業の経営に関する重要な事項
 - ・水道料金及び下水道使用料に関すること
 - ・その他上下水道事業管理者が必要と認める事項
- 4) 構 成 委員20人以内で組織し、任期3年
- 5) 委 員（令和7年3月31日現在）

氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 等		備 考
廣 瀬 純 夫	国立大学法人信州大学	経法学部長	会 長
伊 藤 隆 三	長野商工会議所	副会頭	副 会 長
山 本 恭 子	長野県弁護士会	会員	
竹 内 健 司	国立大学法人信州大学	准教授	
衣 川 修 平	長野県立大学	准教授	
吉 村 侑 祐	日本公認会計士協会東京会長野県会	幹事	
北 沢 陽 二 郎	長野市公衆浴場組合	組合長	
伊 藤 秀 樹	長野市ホテル旅館組合	常務理事	
樋 口 達 夫	長野県クリーニング生活衛生同業組合	理事	
傳 田 か お 里	長野県豆腐商工業協同組合	組合員	
柳 原 静 子	長野市地域女性ネットワーク	会長	
竹 内 俊 子	長野市食生活改善推進協議会	理事	
中 村 志 保 美	信州新町味噌製造加工グループ	会員	
川 浦 俊 樹	長野市建設業協会	副会長	
坂 井 有 一	公募委員		
宮 澤 弘 明	公募委員		
池 田 雅 次	公募委員		

敬称略、順不同

② 開催状況

回	期 日	場 所	主 な 審 議 内 容
1	令和6年 5月31日(金)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 会長選出 (2) 諮問「水道事業経営戦略及び水道料金について」 (3) 6年度の審議会の開催予定 (4) 過去の答申経過について (5) 水道料金の体系について (6) 水道事業の広域化について

回	期 日	場 所	主 な 審 議 内 容
2	7月26日(金)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 長野市水道事業経営戦略の改定方針について (2) 水道料金について (3) 水道事業広域化について
3	9月30日(月)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 水道ビジョンについて (2) 水道ビジョン・水道経営戦略の改定(素案)について (3) 財政推計・今後50年間の経営見通しについて (4) 水道事業広域化について(報告) (5) 川新田水源地周辺における地下水調査について(報告)
4	11月8日(金)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 水道事業広域化について (2) 水道ビジョン・水道事業経営戦略の改定(素案)及び水道料金について
5	12月17日(火)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 答申〔水道事業経営戦略、水道料金について〕 (2) 長野市水道ビジョン・水道経営戦略(案)に対する市民意見の募集 (3) 水道事業広域化について
6	令和7年 3月26日(水)	市役所第二庁舎 8階282会議室	(1) 水道事業広域化の検討状況について (2) 川合新田水源における今後の対応について (3) 下水道管渠等の緊急点検報告について

③ 過去の答申内容(長野市水道料金等審議会時を含む)

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
S 47. 1. 22	S 47. 3. 13 7回開催	(1) S 47～50年度の資金不足額2,644,537千円を解消するため、料金改定の必要を認める。 (2) 改定は隔年とし、S 47年度約70%、S 49年度約19%が妥当 ○附帯意見 ① 業務用中、官公署の料金は、20%程度の増額が適当。この増収分は、一般家事用等の調整財源とし、上げ幅の抑えを配慮のこと。
S 48. 5. 17 飯綱高原別荘地区の料金について 諮問	S 48. 6. 6 4回開催	(1) 飯綱別荘地区は、S 43年に設定されたままであること、利用が季節的であること等の特殊性により、一般料金と適切な格差をもって設定されることが望ましく、経営比率を基本として算定した料金が妥当である。 (2) 改定は約214%とし、永住者及びこれに準ずる者を除き個々適用とする。 ○附帯意見 ① 料金体系、業種別については、S 49年度一般料金の改定と併せて配慮のこと。
S 49. 12. 24	S 50. 2. 21 6回開催	(1) S 49年度からの6期拡張等の計画実施のために生ずる資金不足額 1,794,607千円を解消するため、改定の必要を認める。 (2) S 50年度に75.1%の値上げを必要とするが、一時にこれを実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S 50年度50%、S 51年度33%が適当 ○附帯意見 ① 私立福祉施設(保育、幼稚園含む)、地区公民館、集会所、公衆浴場等については、別に考慮 ② 一層の企業努力でS 51年度の値上げを極力抑えること。 ③ 答申を尊重のこと。
S 50. 12. 25	S 51. 2. 9 5回開催	(1) 当局の企業努力等もあり、S 51年度約27.2%の値上げは適当と認める。ただし、条例第24条第2項の条項は、廃止のこと。 ○附帯意見 ① 一層の企業努力によりS 52年度値上げを極力抑えること。

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
S 55. 7. 25	S 55. 8. 27 7 回開催	(1) S 49年度からの 6 期拡張計画等の実施のために生ずる資金不足額3,104,091千円を解消するため、改定の必要を認める。 (2) 料金体系は、基本料金に口径別の考えを取り入れ、従量料金は、現行の体系による併用型を採用することが適当。 (3) S 55年度53.1%の値上げを必要とするが、一時に実行することは、市民生活に重大な影響があるので、S 55年度（11月から）約38%、S 57年度約26.1%の値上げが適当。
S 56. 12. 24	S 57. 2. 13 7 回開催	(1) 当局の企業努力等もあり S 57年度総体平均20.06%（一般分平均20.25%、別荘地特別分 5.36%）の値上げが適当と認める。 ○附帯意見 ① 業務用料金については、将来生活関連企業の料金を抑える一方、大口使用者の料金通増制についても検討すること。 ② 別荘地料金については、今後極力料金を抑えるよう努力すること。 ③ 今後の改定に当たっては、一時に大幅な値上げを行わず、小差改定に努めること。 ④ 私立福祉施設（保育園及び幼稚園含む。）及び公衆浴場等については、別に考慮すること。
S 62. 11. 27	S 63. 1. 22 3 回開催	(1) 安定した給水体制を確保するための施設整備等に必要な資金のため、S 63年度平均11.5%の引き上げは、やむを得ないものと認める。 なお、別荘料金については、据置きを認める。 ○附帯意見 ① 現行の料金体系（口径別及び用途別の併用型料金体系）のうち用途別による料金格差の緩和を図るため、一般家事用への影響を考慮の上、全国的に採用の多い口径別料金体系への逐次移行について、今後検討を進めること。 なお、公衆浴場の料金体系については、今後とも別途配慮すること。 ② 水道事業の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げ率の抑制に努めること。 ③ 市民サービスの向上については、水道事業運営の基本に据え、各種施策を進めること。
H 元. 2. 28	H 元. 2. 28 1 回開催	(1) 安定した健全経営を維持するため、平成元年 4 月 1 日からの 3 %の引上げは、やむを得ないものと認める。 ○附帯意見 ① 水道料金等に消費税が導入されることについて、委員の一部に反対の意見もあった。 ② 水道の運営に当たっては、なお一層の企業努力を推進し、今後の改定に際しては、極力値上げの抑制に努めること。 ③ 水道料金等に10円未満の端数が生じたときは、納入の利便を図るため、当該金額を切り捨てるものとする。 ④ 水道料金等に消費税が導入されるに伴う料金改定について、市民に十分理解が得られるような措置を講ずる必要がある。
H 6. 10. 3	H 7. 1. 18 4 回開催	(1) 料金算定期間は、平成 7 年度から平成 9 年度までの 3 か年間とする。 (2) 料金体系については、次のとおりとする。 ① 一般家事用及び業務用の用途区分を廃止し、口径別料金体系に改める。 ② 別荘地用及び共用栓用以外の基本料金に係る使用水量を廃止する。 ③ 「超過料金」の名称を「水量料金」に改める。 ④ 一般用及び公衆浴場用の水量料金に係る使用水量区分を改める。 (3) 水道料金を平均8.62%引き上げる。 (4) 改定後の料金は、平成 7 年 5 月 1 日使用分から適用するものとする。

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		○附帯意見 ① 大口使用者と小口使用者との料金格差を縮小するよう努めること。 ② 物価上昇や水道財政を考慮し、概ね３年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅改定を避けるように努めること。 ③ 公営企業の経営原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。 ④ 料金改定について住民の理解を深めるよう、ＰＲ等に努めること。 ⑤ 限りある水資源を無駄なく大切に使うこと等の必要性についてＰＲ活動を強化すること。
(H 9.10. 7)	(H 9.10. 7)	水道料金等審議会を開催し、平成10年度から平成12年度までの３か年を料金算定期間とした経営状況を報告し、水道料金を据え置きとした。(諮問なし)
H13. 1. 30	H13. 1. 30 1 回開催	(1) 料金算定期間は、平成13年度から平成15年度までの３か年間とする。 (2) 水道料金は、据え置きとする。
H15.11. 5	H15.12. 25 3 回開催	(1) 料金算定期間は、平成16年度から平成18年度までの３か年間とする。 (2) 水道料金は、据え置きとする。
H18. 6. 26	H18.11. 24 3 回開催	(1) 料金算定期間は、平成19年度から平成21年度までの３か年間とする。 (2) 水道料金は、据え置きとする。 ○附帯意見 現状の通増料金体系において一部に不公平感が生じており、累進度の緩和を含め料金体系の在り方についての検討が必要である。
H21.11. 6	H22. 1. 7 4 回開催	(1) 料金算定期間は、平成22年度から平成24年度までの３年間とする。 (2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.5パーセントとする。 (3) 水道料金を平均9.73パーセント引き上げる。 (4) 改定後の料金は、平成22年 6 月 1 日使用分から適用するものとする。 ○附帯意見 ① 公営企業として独立採算の原則を基本とし、業務の見直しを積極的に推進すること。 ② 経済情勢や水道経営状況に鑑み、概ね３年ごとに料金の見直しを行うこととし、料金の大幅な改定を避けるよう努めること。 ③ 料金改定について、水道使用者に周知するとともに、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行い、事業に対する理解が更に深まるよう努めること。 ④ 料金体系における累進度の緩和については、使用者間の負担の公平性を高め、大口使用者の需要を促すため、今後も引続き緩和に努めること。 ※市議会建設企業委員会からの意見により、平均7.71%の引き上げとした。
H24. 8. 27	H25. 1. 9 7 回開催	(1) 料金算定期間は、平成25年度から平成28年度までの４年間とする。 (2) 上記の期間における資産維持費の算定に用いる資産維持率は、1.0パーセントとする。 (3) 水道料金を平均7.86パーセント引き上げる。 (4) 改定後の料金は、平成25年 6 月 1 日使用分から適用するものとする。 (5) 共用給水装置による料金種別を廃止する。 ○附帯意見 ① 業務の見直しを積極的に推進し、一層のコスト削減を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。 ② 今後の水道料金及び下水道使用料の見直しについては、利用者負担を勘案し、概ね５年以内とすること。 ③ 料金改定について利用者に周知するとともに、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の概要及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		④ 水需要の変化や負担の公平性の観点から、通増制料金及び別荘用料金のあり方について検討すること。
H28. 7. 27	H29. 1. 17 7 回開催	(1) 料金算定期間は、平成29年度から平成32年度までの4年間とする。 (2) 資産維持費の算定に用いる資産維持率を年0.50パーセントとする。 (3) 基本料金を改定し、水道料金に占める基本料金の構成割合を36パーセントとする。 (4) 水道料金を平均5.49パーセント引き上げる。 (5) 公衆浴場用水道料金については、公衆浴場の経営実態を勘案し、現行料金を据え置きとする。 (6) 別荘用水道料金のうち飯綱高原地区については、現行料金を据え置きとし、それ以外の地区については、一般用料金改定の例により引き上げるものとする。 (7) 改定後の料金は、平成29年6月1日使用分からの適用とする。 (8) 別荘用水道については、使用しない場合であっても基本料金を納付することとしているが、一般用水道と同様に、使用中止を認める取扱とすることが適当である。 ○附帯意見 ① 水道事業経営戦略に基づき、より一層の経営効率化を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。 ② 今後の給水人口減少を見据え、将来世代の負担を軽減するため、企業債借入額の抑制を図るよう努めること。 ③ 今回作成した経営見通しの事後検証を実施し、安定的な事業運営が見込めない場合には、必要に応じて水道料金の見直しを行うこと。 ④ 利用者への料金改定の周知に当たっては、水道事業に対する理解が更に深まるよう、水道事業の施設更新計画及び経営状況についても積極的に情報提供を行うこと。
R 3. 7. 29	R 3. 12. 21 6 回開催	(1) 料金算定期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間とする。 (2) 水道料金は、据え置きとする。 ○附帯意見 ① 長野市水道事業経営戦略に基づき、より一層の経営効率化と経費削減を図り、適正かつ健全な経営の継続に努めること。 ② 将来世代の負担を軽減するため、借入金利の動向も勘案しながら、企業債借入額の抑制に努めること。 ③ 今回作成した経営見通しの事後検証を実施し、定期的に水道料金の見直しを行うこと。 ④ 人口減少社会においても持続可能な水道事業経営とするため、基盤強化に向けた広域化、広域連携について引き続き検討を進めること。
R 6. 5. 31	R 6. 12. 17 6 回開催	1 水道事業経営戦略について (1) 別紙「長野市水道ビジョン・水道事業経営戦略（案）」を適当と認める 2 水道料金について (1) 料金算定期間は、令和7年度から令和10年度までの4年間とする。 (2) 水道料金は据え置きとする。 3 附帯意見 (1) 市民生活で重要なインフラである水道施設を守るため、大規模地震への備えとして耐震化をより一層効率的かつ積極的に進めること。 (2) 長野市水道ビジョン・水道事業経営戦略（案）に定めた取組や指標に関する達成度について定期的に検証・評価するとともに、将来にわたる安定的な事業運営を目指して定期的な水道料金の見直しを行うこと。

諮問年月日	答申年月日	答 申 内 容 概 略
		(3) 水道料金の見直し際は、将来世代に負担を先送りにしないよう、資産維持率の引き上げ及び基本料金割合の引き上げの検討を引き続き行うこと。 (4) 基盤強化を図り、持続可能な水道事業を維持するためには、事業統合による広域化が有効な方策と考えられることから、その実現に向けた協議を進めていくこと。なお、協議にあたっては広域化の趣旨等について市民への周知を十分に図るとともに、水道事業が統合した場合の下水道事業について、関係の県・市町と引き続き検討を行うこと。

令和２年度は水道料金見直し年であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活への影響や水需要への影響が見通せないこと、審議会における十分な審議時間の確保が困難であることが見込まれることから、水道料金見直しを令和３年度に先送りすることとした。

(4) 主な委託業務（主として100万円以上）

(単位：円)

区 分	委 託 業 務 内 容	委 託 料	備 考
浄 水 関 係	犀川・夏日ヶ原浄水場等運転管理業務	292,622,000	
	機械点検業務	63,125,480	
	浄水汚泥搬出業務	37,948,614	数量単価契約
	旧簡易水道地区水質検査	15,816,020	
	給水栓水採水業務	5,720,000	
	沈砂池浚渫・清掃業務	1,870,000	
	犀川浄水場ろ過池アンスラサイト補充業務委託	16,500,000	
	水質検査機器点検業務委託	5,206,300	
	戸隠浄水場膜ろ過設備保守点検委託	19,030,000	
	中条三ヶ野浄水場保守点検業務委託	16,500,000	
	信州新町南部浄水場ほか膜ろ過装置保守点検業務委託	1,705,000	
	新町穂刈浄水場紫外線照射装置保守点検業務委託	1,001,000	
配水・給水関係	公道分修繕業務	152,625,000	
	機械点検業務	17,734,200	
	漏水調査業務	27,379,000	
	配水池等清掃業務	11,994,400	
	維持管理道路除雪業務	7,599,179	
	信更地区送水管緊急仮設配管業務委託	6,351,986	
料 金 関 係	検針・料金徴収業務	138,996,750	
	水道料金システム処理業務	10,814,451	
	コンビニ収納業務	6,725,761	数量単価契約
そ の 他	宿日直業務	36,964,488	
	施設草刈・剪定・伐採業務	22,670,850	
	水道GIS上水道配管図更新業務	4,785,000	
	令和6年度 長野市上下水道局会計システムセグメント統合対応業務委託	1,380,500	
	安茂里ほか未利用地草刈業務委託	1,047,200	

長野市上下水道局
イメージキャラクター
みずなちゃん



この資料は再生紙を使用しています